

第九十回帝國議會  
衆議院

# 臨時物資需給調整法案會議錄(速記)第八回

## 付託議案

臨時物資需給調整法案(政府提出)  
商工協同組合法案(政府提出)

昭和二十一年九月十三日(金曜日)午前  
十二時三十分開議

## 出席委員

委員長 竹田 肇一君

理事加藤 一雄君 理事小島 徹三君

理事塚田十一郎君 理事原 健三郎君

理事前田榮之助君 理事石原 榮一君

理事足田 敏男君 理事福田 繁芳君

安部 俊吾君 井田 方平君

西村 久之君 厚東 常吉君

小野 孝君 田中源三郎君

田中 實司君 瀧澤 脩作君

磯崎 貞序君 金光 義邦君

鈴木周次郎君 鈴木 明良君

坪川 信三君 寺田 榮吉君

川崎 秀二君 田村 定一君

金子益太郎君 加藤 敏造君

竹谷源太郎君 中崎 敏君

山口 靜江君 加藤 勤十君

大宮伍三郎君 稻田 健治君

三木 武夫君 伊藤 恭一君

小坂善太郎君 戸叶 里子君

布 利秋君

## 出席政府委員

物價廳次長 工藤昭四郎君

農林事務官 山添 利作君

商工事務官 吉田 健二郎君

商工事務官 池田 欽三郎君

商工事務官 玉置 敬三君

運輸事務次官 松田 正一君

## 本日ノ會議ニ付シテ議案

臨時物資需給調整法案(政府提出)

○竹田委員長 會議ヲ開キマス。原君

○原(健)委員 農林關係ノコトヲ御質

問シマスガ、モウ今日デ質問ヲ打切

ルサウデスカラ、成ベク簡單ニ要點

ヲ御尋ネ致シタイト思フノデアリ

マス。肥料ノコトデアリマスガ、今日

此ノ重要ナル肥料ノ生産ヲ、生

産ノ方ハ商工省デヤツテ居リ、配

給ノ方ハ農林省デハ非常ニ不便

ナルト思フノデ、肥料ノ行政ヲ一

元化スベキデアルト私共ハ考ヘ

ルノデアリマスガ、ソレヲヤル意

思ガアルカナイカ、大體内閣直屬

ノ假ニ名前ヲ附スルナラバ肥料

廳ト云フヤウナモノデモ置イ

料會社ナルモノヲ作ツテ、斯

クフモノニ配給セシムル必要

ガアルト御考ヘデアアルカド

ウカ、此ノ點一ツ御伺ヒシ

タイノデアリマス

○山添政府委員 肥料ノ行政機

構ハ農林、商工ニ跨ツテ居リ

マシテ、只今御述ベニナリ

マシタヤウニ配給ハ農林

省、生産ハ商工省ト、ソレ程

モ實ハハツキリシテ居ナイ

點ガアリマシテ、是ハ急速

ニ肥料ノ増産ヲ圖ツテ行ク

ト云フ上ニ於テ非常ニ不便

ナルデアリマス、又業者ノ方

ニモ非常ニ迷惑ヲ掛ケテ居

ルデアリマス、此ノ行政ノ調

整ニ付キマシテハ、目下政府

部内デ協議ヲ致シテ居リ

マス。又日本肥料ト云フ會社

ヲ作ツテ、配給ヲ行フノ

點ハ、現ニ日本肥料ト云フ

會社ヲ作ツテ、配給ヲ行フ

ノ點ハ、現ニ日本肥料ト云

フ會社ヲ作ツテ、配給ヲ行

フノ點ハ、現ニ日本肥料ト

云フ會社ヲ作ツテ、配給ヲ

行フノ點ハ、現ニ日本肥料

ト云フ會社ヲ作ツテ、配給

ヲ行フノ點ハ、現ニ日本肥

料ト云フ會社ヲ作ツテ、配

給ヲ行フノ點ハ、現ニ日本

肥料ト云フ會社ヲ作ツテ、

配給ヲ行フノ點ハ、現ニ

日本肥料ト云フ會社ヲ作

ツテ、配給ヲ行フノ點ハ、

現ニ日本肥料ト云フ會社

ヲ作ツテ、配給ヲ行フノ

點ハ、現ニ日本肥料ト云

フ會社ヲ作ツテ、配給ヲ

マスガ、其ノ組合法ヲ作ル

上ニモ御考ニモシテ戴キ

タイシ、又我々ノ希望ヲ申

述ベタイノデアリマス、ソ

レハ今日農林省ト云フモノ

ハ非常ニ色々議論ノ中心

ニナツテ居リマス、善イ

面モアルガ、惡イ面モアル

ガ、改良スベキ點モ多ク

アルト云フコトハ輿論ト

ナツテ居リマス、ソレデ

モ我々ガ考ヘルハ、ドウ

モ農林省ノ指導部面ト

經濟部面トガ、一緒ニ

ナツテ居ル所ニ非常ニ

問題ガ複雑シテ居ル

ト思フノデアリマス、

御承知ノヤウニ農

業會ノ本當ノ仕事ト云

フノハ、指導部面

ニ

アル

ト

思

フ

ノ

デ

ア

リ

マ

ス

ガ

、

其

ノ

組

合

法

ヲ

作

ルモノデアリマス、ソレカラサウ云フコトハ別言シテ見ルト、最近ハ農業會ハ本業ノ使命ノ仕事カラ逸脱シマシテ、例ヘバ一般ノ藥品ヲ賣ツテ居ルトカ、壘ノ表マデ世話スル、或ハ雜誌ノコトヲヤルカ、農業會ガ農機具ノ生産、或ハ農業生産ニ直接關係アルコトヲヤルコトカラ逸脱シテ、サウ云フヤウナニル仕事マデモ抱ヘ込シテ、而シテ一般ノ人ノ不便モ顧ミズ、自分ノ仕事ヲ殖エルト、及ビ普通ノ言葉ヲ言ヘバ、儲カルヤウナ仕事ヲ、アレモコレモ必要以上ニ抱ヘ込シテ居ルノハ、我々ハ甚ダ遺憾デアルト考ヘテ居ルガ、此ノ點ニ付テ所見ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス

○山添政府委員 農業會ノ仕事ハ、指導部面ト經濟部面トガ團體結合ニ依リマシテ合體致シタ結果、今日ノ形ニナツテ居ルノデゴザイマスガ、之ヲ元ノヤウニ分ケタラドウカト云フ御意見デゴザイマス、併シナガラハ合體致シマス前ノ歴史ヲ見マシテモ明カナル如ク、指導部面ト經濟部面カラ分ケマシテモ、其ノ間農村ニ於テ非常ナ對立ヲ來タシマスノミナラズ、又指導部面ダケヲヤツテ居リマス、其ノ指導モ強力ニ出來ナイ、斯ウ云フノガ帝國農會ノ時分ニ於ケル實情デゴザイマシタ、ソコデ農村ノ仕事ト申シマシテモ、是ハ御話ノヤウニ技術ノ改善向上ト云フコトニ力ヲ注グベキコトハ勿論デゴザイマスガ、ソレト同時ニ農業生産物ノ販賣、又農業必需品ノ購入、又農業金融ト云フヤウナ方面ニモ十分力ヲ盡スベキデアリマシテ、兩々ノ機能ヲ一ツノ團體ガ致シマスコトニ依リマシテ、調和アル事業ノ運営ガ出來ルノデアリマシテ、ソレヲ切離スト云フコ

トニナリマスレバ、結局昔ノヤウナ狀態ニ立直ツテ、決シテ今御述べニナリマシタヤウナ指導部面ガ強化サレルト云フコトニハナラナイト思ヒマス、尤モ指導部面ハ今後一層力ヲ入レナケレバナラス、而モ今ハ物資等ノ不足或ハ供出ト云フヤウナ部面デ、ソチヲノ方ニ力ガ殆ド取ラレテ居ル云フコトハ事實デゴザイマスガ、今後指導部面ヲ強化スル、特ニ農業會ヲ改組致シマシテ、下部ノ實行組合又町村ノ組合ト云フモノニ付キマシテハ、之ヲ生産ノ協同體トシテ、活潑ナル民主的ノ部面ニ於ケル活動ヲ致シマスヤウニ仕向ケテ參ルコトガ必要デアリマスシ、又政府ト致シマシテモ技術振興施設ト云フ形ヲ、以テマシテ、ソレ等ノ下部ニ於ケル團體ノ技術的向上ニ對スル發展指導ト云フコトニ付テ努メテ居ルノデゴザイマス、今後ハ此ノ形デ其ノ方ハ進メテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、又農業會ガ色々ナ仕事ヲ、何モ彼モ取込シマシマツテ却テ其ノ能率ガ上ラナイ、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ、私共ト致シマシテモ同様ナ感じヲ持ツテ居リマス、併シナガラハ是ハ戰爭中、又現在ノ物資窮乏局面ニ於ケマシテ、凡ソ小サナモノマデモ統制ヲサレテ居ル、斯ウ云フ現實ノ必要ニ基キテサウ云フコトニナツテ居ルノデゴザイマスカラ、ソレ等ノコトニ付キマシテモ農業會以外ノ、例ヘバ藥品等ニ付キマシテ、組合ノ業者ヲ活用スルト云フヤウナ方途モ、農業會ノ構成ノ中ニ講ジテ居ルノデゴザイマスガ、將來ノ方向ト致シマシテハ、之ヲ重點的ノ部面ニ力ヲ入レテ、十分農業會ノ持ツテ居ル使命ヲ果ス——即チ農業用資材ダトカ、肥料、農機具、農藥、サウ云フヤ

ウナ部面ニ、集約的ニ力ヲ盡スベキ方向ニ行クベキモノダト考ヘテ居リマス○原(健)委員 先程言ヒマシタノハ、昔ノヤウニ農業會ヲ解散シテシマヘト云フコトヲ言ツタノデアリマセヌ、誤解ガアルトイケマセヌガ、私ノ言ヒタイコトハ、農業會本來ノ使命デアル指導部面ヲ主トシテ、經濟部面ハ從ト言ツテハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、何ト云フコトヲ強調シテ置キタイノデアリマス、モウ一ツ一例ヲ以テ言ヘバ、農業會ガ色々ナコトヲヤツテ居ルコトニ對シテ、戰爭中ナラバ已マラ得マセヌガ、是カラノ見透シトシテハ、何モ彼モ撻擻シテヤルコトニ付テハ少シ檢討シナケレバナラヌト云フ、農政局長ノ御意見ノ通りヤツテ戴キタイト思ヒマス、一例ヲ取ツテ申上ゲマス、農工品ニハ蠶、桑、以ナドガアリマス、私ハ最近ハ是ノ増産ニ付テ研究シタノデアリマスガ、此ノ農工品ガ必要ナコトハ、今更莫々スルマデモナイノデアリマス、昭和十六年ニ蠶、桑、以ナドノ合計ハ、枚數單位デ四億五千萬貫デアツタノガ、昨年ハ六分ノ一位ニナツテ居ル、ソレカラ又聯合國ニ引渡スベキ物資ガ、千數百萬「トン」ト見積リマシテモ、之ニ要スルモノハ枚數單位ニシテ約三億貫要ルノデアリマス、二箇年計蠶デ之ヲ實行シテモ、一箇年一億五千萬貫要ルノデアリマシテ、非常ナ不足ヲ致シテ居リマス、斯ウ云フモノヲ今農業會ガ大體主トシテヤツテ居リマスガ、之ヲ其ノ總數置スルト、斯様ナモノニ依ツテ日本ノ生産ヲ輸送ガ、非常ニ阻マレルコトヲ心配スルノデアリマス、不足ニナツタ原因トシテハ色々アリマスガ、最大ノ原因ト云フモノ

ハ、ヤハリ統制機關ノ不適格ト機構ノ不備ト云フコトニアラウト思フノデアリマス、ソレデ今マデノヤウナ農業會中心ヨリモ、是カラ適當ノ業者ガ段々出テ來ルノデアリマスカラ、斯ウ云フ仕事ハ宜シク業者ニ任セテヤラシタガ宜イト思フノデアリマス、例ヘバ仲買人ヲシテ集荷シメ、府縣ニ集メ、更ニ中央聯合會ニ集メル、又配給ノ面ニ致シマス、官民合同ノ全國需給協議會ヲ作ツテ、ソコヲ中心ニシテヤレト云フヤウニ、農業會カラ離シタ方ガ、能率モ上ルシ、能ク集マルシ、需要ニ應ズルコトモ出來ルト考ヘルノデアリマス、最近私ノ聞ク所ニ依リマス、農林省ハ農工品ノ必要ナコトヲ非常ニ痛感サレマシテ、唯值段々上レバ直グ是ノ増産ガ出來ルト云フ意思表示ヲシタト云フコトヲ聞イテ居リマス、農林省ノ意見ニ依ルト價格ヲ倍額、或ハ物ニ依ツテハ三倍マデ引上ゲタラ、直チニ生産ガ増強サレルト云フコトヲ言ウテ居ルサウデアリマスガ、價格ヲ二倍、三倍ニ上ゲルコトハ「インフレ」ヲ助長スルダケアル、私ハ生産費ヲ償フ程度ノ價格ダケニ上レバ宜イト思フノデアリマス、是ハ戰爭中ナラ一「手」ニ凡ソモノヲヤルノモ宜イノデアリマスガ、最早戰爭モ濟ンダシ、是等各業者ハ「エキスパート」モアルシ、老舗モアルシ、熟練技能ナ人モアルノデアリマスカラ、斯ウ云フ半官僚的ニナツテ居ル、農業會ニ、總テノコトヲヤラスト云フコトハドウカト考ヘルノデアリマシテ、其ノ農工品ニ付テノ所見ヲ承リタイノデアリマス

○山添政府委員 農工品ハ色々ナ原因カラ非常ニ減リマシテ、各方面ニ非常ニ影響ヲ及ボシテ居ルノデアリマス、ソコデ農林省ト致シマシテハ、肥料ヤ鹽ヲ特配致シマストカシテ、夏季増産ト云フ特別ノ増産運動ヲ展開シテ參ツタノデアリマスガ、何シロ昨年度ノ凶作ニ依リ蠶ノ少カツタコト、或ハ肥料不足、或ハ農村ニ於テ斯ウ云フ細カイモノデ金ノ收入ノ圓ルト云フ氣分ガ稍薄ライデ居ル、斯ウ云フ色々ノ原因カラ難カシイ點ガアルノデアリマシテ、是ハ今後特別ニ考ヘテ行ク必要ガアルト思ツテ居リマス、今御述べニナリマシタヤウナ事情ニ付キマシテハ、業者ノ人達ガ市町村ノ末端デ農家ヲ刺戟シ、農工品ノ生産、集荷ノ面ニ活躍シテ實コトハ非常ニ必要デアルト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ現在ノ統制機構ヲ根本的ニ變ヘマシテ、新シク農業會系統、然ラザル系統ト云フガ如キ二元化スルト云フコトハ避ケマシテ、現在ノ統制形態ヲ根幹トシテ、其ノ內部ニ於テ舊業者ノ人達ノ協力、活躍ヲ御願ヒ致シタイ、又其ノ爲ニハ業者ノ團體ノ人ト、農業會ノ人トノ交互ヒノ協力關係ガ必要デアリマシテ、農業會自身ニ於テモサウ云フ積リニナリ、又サウ云フコトノ爲ニ必要ナ豫算モ計上致シテ居リマス、又我々サウ云フ部面ニ關係シテ居ル者モ其ノ中ニ入リマシテ相談致シテ、サウ云フ方向デヤルヤウニ現ニ致シテ居ルノデアリマス、此ノ統制形態ヲ根本的ニ變ヘテシマフト云フコトハ、現在考ヘテ居リマセヌ

○原(健)委員 御考ヘニナツテ居ナイト云フコトデアリマスガ、農業會ハ既ニ半役人的ニナツテ來テ居リマシテ、能率モ低下シ、不親切デ、農家自身モ相當反感ヲ持ツテ居ルヤウナ點モ多分ニアルノデアリマシテ、私ハ農業會ノ發展ノ爲ニモ農業會關係ノ職員ノ

ハ、ヤハリ統制機關ノ不適格ト機構ノ不備ト云フコトニアラウト思フノデアリマス、ソレデ今マデノヤウナ農業會中心ヨリモ、是カラ適當ノ業者ガ段々出テ來ルノデアリマスカラ、斯ウ云フ仕事ハ宜シク業者ニ任セテヤラシタガ宜イト思フノデアリマス、例ヘバ仲買人ヲシテ集荷シメ、府縣ニ集メ、更ニ中央聯合會ニ集メル、又配給ノ面ニ致シマス、官民合同ノ全國需給協議會ヲ作ツテ、ソコヲ中心ニシテヤレト云フヤウニ、農業會カラ離シタ方ガ、能率モ上ルシ、能ク集マルシ、需要ニ應ズルコトモ出來ルト考ヘルノデアリマス、最近私ノ聞ク所ニ依リマス、農林省ハ農工品ノ必要ナコトヲ非常ニ痛感サレマシテ、唯值段々上レバ直グ是ノ増産ガ出來ルト云フ意思表示ヲシタト云フコトヲ聞イテ居リマス、農林省ノ意見ニ依ルト價格ヲ倍額、或ハ物ニ依ツテハ三倍マデ引上ゲタラ、直チニ生産ガ増強サレルト云フコトヲ言ウテ居ルサウデアリマスガ、價格ヲ二倍、三倍ニ上ゲルコトハ「インフレ」ヲ助長スルダケアル、私ハ生産費ヲ償フ程度ノ價格ダケニ上レバ宜イト思フノデアリマス、是ハ戰爭中ナラ一「手」ニ凡ソモノヲヤルノモ宜イノデアリマスガ、最早戰爭モ濟ンダシ、是等各業者ハ「エキスパート」モアルシ、老舗モアルシ、熟練技能ナ人モアルノデアリマスカラ、斯ウ云フ半官僚的ニナツテ居ル、農業會ニ、總テノコトヲヤラスト云フコトハドウカト考ヘルノデアリマシテ、其ノ農工品ニ付テノ所見ヲ承リタイノデアリマス

○山添政府委員 農工品ハ色々ナ原因カラ非常ニ減リマシテ、各方面ニ非常ニ影響ヲ及ボシテ居ルノデアリマス、ソコデ農林省ト致シマシテハ、肥料ヤ鹽ヲ特配致シマストカシテ、夏季増産ト云フ特別ノ増産運動ヲ展開シテ參ツタノデアリマスガ、何シロ昨年度ノ凶作ニ依リ蠶ノ少カツタコト、或ハ肥料不足、或ハ農村ニ於テ斯ウ云フ細カイモノデ金ノ收入ノ圓ルト云フ氣分ガ稍薄ライデ居ル、斯ウ云フ色々ノ原因カラ難カシイ點ガアルノデアリマシテ、是ハ今後特別ニ考ヘテ行ク必要ガアルト思ツテ居リマス、今御述べニナリマシタヤウナ事情ニ付キマシテハ、業者ノ人達ガ市町村ノ末端デ農家ヲ刺戟シ、農工品ノ生産、集荷ノ面ニ活躍シテ實コトハ非常ニ必要デアルト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ現在ノ統制機構ヲ根本的ニ變ヘマシテ、新シク農業會系統、然ラザル系統ト云フガ如キ二元化スルト云フコトハ避ケマシテ、現在ノ統制形態ヲ根幹トシテ、其ノ內部ニ於テ舊業者ノ人達ノ協力、活躍ヲ御願ヒ致シタイ、又其ノ爲ニハ業者ノ團體ノ人ト、農業會ノ人トノ交互ヒノ協力關係ガ必要デアリマシテ、農業會自身ニ於テモサウ云フ積リニナリ、又サウ云フコトノ爲ニ必要ナ豫算モ計上致シテ居リマス、又我々サウ云フ部面ニ關係シテ居ル者モ其ノ中ニ入リマシテ相談致シテ、サウ云フ方向デヤルヤウニ現ニ致シテ居ルノデアリマス、此ノ統制形態ヲ根本的ニ變ヘテシマフト云フコトハ、現在考ヘテ居リマセヌ

○原(健)委員 御考ヘニナツテ居ナイト云フコトデアリマスガ、農業會ハ既ニ半役人的ニナツテ來テ居リマシテ、能率モ低下シ、不親切デ、農家自身モ相當反感ヲ持ツテ居ルヤウナ點モ多分ニアルノデアリマシテ、私ハ農業會ノ發展ノ爲ニモ農業會關係ノ職員ノ

人達ハ、大イニ反省シナケレバナラヌ  
點ガ多キアルト考ヘマス、ソレハソレ  
ト致シマシテ、斯ウ云フ小サイ藥品  
ノヤウナモノヲ、何モ農業會ガ抱ヘ込  
ンデ居ナクテモ、業者ニ之ヲヤラセタ  
方ガ宜イト思ヒマスガ、其ノ點一ツ御  
考慮ヲ御願ヒシタイノデアリマス

○山添政府委員 業者ノ人ニ活躍ヲシ  
テ實フコトガ増進ノ刺戟ニナルト云フ  
コトハ十分分ツテ居リ、其ノ方向デ參  
リタイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、  
一般ニ集荷シ、且ツ之ヲ配給スル責任  
主體トシテ問題ト致シマシテハ、ソ  
レハ農業會ノ系統ノ責任ト云フコトニ  
致シテ置キマスコトガ、適當デアルト  
考ヘテ居ルノデアリマスシテ、之ヲ二元  
的ナ組織ニ致シマス其ノ間ニ又色々  
問題ガ發生シ、特ニ現在ノヤウニ非常  
ニ數量ガ少クナツテ居ルト云フ事態ニ  
於テハ、其ノ配給ノ部面ガ巧ク行カナ  
イノデヤナイカト云フコトモ心配ヲ致  
ス次第デアリマス、本統制ノ機關トシ  
テハ現在ノ形態ニ依ル、而シテ其ノ運  
用ニ於テ十分業者ノ人ニ活躍シテ實  
ヲ、斯ウ云フ形デ進ミタイト云フ考ヘ  
デ居ルノデアリマス

○原(健)委員 御趣旨ハ能ク分ルノデ  
アリマスガ、二元的ニセズシテ、私ノ  
言フノハ業者ダケニ其ノ末端カラ中央  
ノ集荷マデ全部ヤラス、ソレカラ配給  
ノ方ハ量ガ少イノデアリマスカラ、其  
ノ配給ノ方法ニ付テハ官民合同ノ全國  
需給協議會ト云フモノヲ作ツテ其處デ  
ヤル、サウシテ農業會トハ別個ニ手ヲ  
放シテ是ダケデヤラシテ行ク方ガ能率  
モ上ルシ、餘計ニ増進モ出來ルシ、是  
カラ先ノ見透シカラ行キマシテモ此ノ  
方ガ將來性ガアルト思ヒマスガ、モウ  
一度所見ヲ御伺ヒ致シマス

○山添政府委員 只今ノ狀況ニ於キマ  
シテハ左様ニ考ヘテ居リマセヌ  
○竹田委員長 中崎君、大藏大臣ノ御  
都合ガアリマスノデ、恐レ入リマスケ  
レドモ、或ベク簡單ニ願ヒマス  
○中崎委員 私人質問ハ二三時間位御  
願ヒシタイト思ヒマスガ、時間ノ都合  
デ一二ノ點シカ質問出來マセヌガ、何  
レ又後日ノ機會ニ大藏大臣ニ對シテハ  
色々質問シタイト思ヒマス

經濟再建ノ上ニ於キマシテハ財政ノ  
根本的整理ト申シマスガ、徹底的ニ此  
ノ方面ニ「メス」ヲ加ヘラレテ行キマセ  
ヌケレバ、到底此ノ「インフレ」ノ問題  
ニ付テモ解決ガ付キマセヌ、更ニ又今  
後ノ計畫ノ上ニ於テモ、大キナル支障  
ヲ來スモノト考ヘル譯デアリマスガ、  
先ヅ來年度ノ新規事業ニ振リ向ケラレ  
ル所ノ財源ハドウ云フヤウニサレ  
ルカ、或ハ又租稅ヲ増徴サレル意向ガア  
ルカドウカト云フコトヲ御聽キシタイ  
ノデアリマス

○石橋國務大臣 來年度ハ屢々申上デ  
マシタヤウニ先ヅ歲出ニ於テ思ヒ切ツタ  
整理ヲ行フ積リデアリマス、是ハモウ  
ドウシテモソレヲヤラナケレバナラナ  
イデアリマスカラ、ソレヲヤル、歲  
入ノ方ハ大體私ノ今ノ希望トシテハ稅  
制ノ改正ヲ急イデアリマス、是ハ政府  
ダケデナク、是モ屢々申上デマシタヤ  
ウニ、今其ノ法制ヲ立案シテ居リマス  
ガ、稅制、財政ノ全般ヲ調査會、ソレ  
カラハハ財政ノ中ニハ地方財政モ含メ  
テ考ヘテ戴カウト思ヒマス、稅制調査  
會、是ハ無論地方稅ガ關聯ガアリマ  
ス、ソレカラモウ一ツハ金融機關ニモ  
色々問題ガアリマスガ、此ノ三ツガ差  
詰大キナ問題デアリマスカラ、之ニ付  
テハ特ニ衆議院ノ方ヲ中心ニシテ調

査會ヲ作ツテ、今御尋ネノ稅制ノ問  
題ニ付テハ——我々ノ意見モ述べマス  
ガ、調査會ヲ中心ニシテ纏メテ戴キタ  
イ、其ノ上デ其ノ全般ガ果シテ政府ニ  
ヤレルカヤレヌカ、是ハ分リマセヌ  
ガ、ソレヲ戴キマシテ其ノ上ニ來年度  
ノ稅制ヲ考ヘテ行ク、私ノ希望ハサウ  
云フ譯デアリマスカラ、稅制ヲ相當ニ  
減稅シナケレバナラヌモノアルシ、  
或ハ稅率ヲ變ヘナケレバナラヌモノ  
アリマスカラ、一語ニ増稅ト云フ言葉  
デハ合ハナイノデアリマス、併シサウ  
云フ風ニシテ出來ルダケ歲入ヲ殖ヤス  
工夫ヲスル、ソレカラ今ノ見透シデハ  
經濟界ノ將來ノ生産ガドウナルカト云  
フ不安狀態モアリマスガ、豫期ノ如ク  
農作物モ良シ、ソレニ刺戟サレテ他ノ  
生産モ起ツテ來ルト云フコトデアレ  
バ、現在ノ稅制ニ於テモ私ハ相當收入  
アルモノ、斯ウ考ヘテ居リマス、普通  
歲入ト歲出ト成ベク「バランス」サセ  
タイ、アトハ今ノ生産ニ當リタルカ  
何トカ、危險ノナイ程度デ必要ガアレバ  
公債モ發行スル、斯ウ云フ所謂健全財  
政主義デ行キタイト思ツテ今計畫致シ  
テ居リマス

○中崎委員 其ノ點ニ付テハ疑問ガ多  
クアリマスガ、時間ノ關係上、次ノ質  
問ニ移リマス、我が黨ノ主張スル如  
ク、戰時公債ヲ拂引スルノデナケレ  
バ、此ノ財政ノ整理ハ到底出來ナイト  
考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付  
テハ豫ネ「大藏大臣ノ説明ヲ聞イテ  
居リマスガ、之ニ付テ納得出來ナイ點  
ガ多キアリマス、ソレハ姑ク預カリト  
致シマシテ、先ヅ公債ノ利下ノ問題ニ  
付テ御伺ヒシテ見タイト思ヒマス、今  
會計年度末ニハ、公債ハ二千億ヲ突  
破セントシ、其ノ金利ハ七十五億ニ垂

ントシテ居ル、之ヲ思切ツテ利下スル  
コトニ依ツテ、此ノ整理ヲナスベキデ  
アル、世上ニ於テハ一般の二分ニ金  
利ヲ引下グルベシト聞イテ居リマス  
ガ、私は是ト同ジヤウナ構想觀念ノ下  
ニ、公債ノ利下ヲ思切ツテヤルベキデ  
ハナイカ、大藏大臣ハ、此ノ公債利下  
ヲヤレバ、一般金利水準ニ觸レルカ  
ラ、此ノ公債利下ダケハ考ヘラレナイ  
ト言ツテ居リマスガ、一般金利水準ニ  
觸レテ惡イカト云フ問題ニ付テ、一應  
大藏大臣ノ説明ヲ御聽キタイ、言ヒ換  
レバ一般預金ノ利子ヲ引下ゲテモ宜イデ  
ハナイカ、或ハ之ニ準ジテ貸金ノ「レ  
ト」ヲ下ゲルコトニ依ツテ產業ノ振  
興モ出來ルト考ヘラレルノデ、全般ノ  
際ニ合セラシテ、一面ニ金融機關ヲ成  
立セルド共ニ、實際ニ此ノ公債ノ利  
拂ノ整理、財政ノ整理モ行ハレ、同時  
ニ產業界ニ於テ是等ノ貸金利ノ引下  
ニ依ツテ事業ノ刺戟ニナル、斯ウ考ヘマ  
スガ、此ノ點ニ付テ大藏大臣ノ御説明  
ヲ聽キタイ

○石橋國務大臣 金利ノ問題ハ、理論  
的ニモ實際的ニモ、非常ニムツカシイ  
事柄デアリマシテ、中々容易ノモノデ  
ハナイノデアリマスガ、要スルニ日本  
ノ現状及ビ近キ將來ニ於テドレ程ノ金  
利デアツタナラバ、資本蓄積ガ出來ル  
カ、斯ウ云フコトダト思ヒマス、無論  
「ソ」聯ナドガヤツテ居リマスヤウニ、  
資本ノ蓄積ヲ租稅ノ形デヤレバ又別問  
題ニナラウカト思ヒマスガ、兎角現在  
ノ大體ノ經濟組織デ行クストスレバ、各  
個人ガ資本ヲドレダケ貯蓄スル、預金  
スルカ、斯ウ云フ問題デアリマスガ  
ラ、ソレニ障礙ヲ來サナイダケノ金利  
ハヤハリ與ヘル必要ガアルノデハナイ  
カ、斯ウ考ヘマス、モウ一ツハ是ハス

グノ問題デアリマセヌガ、屢々話ノ  
出ル所謂「クレデット」ト云フヤウナ  
コトニナルト、海外トノ關係ニ於テモ  
又金利ヲ考ヘナケレバナラヌ、是ハド  
ウセ斯ウ云フ所ニ、東洋方面、殊ニ敗  
戰後ノ日本ニ投資スルコト云フコトハ危  
險ヲ伴フノデアリマスカラ、自然金利  
ハ高カルベキデアリマス、但シ米英ノ  
金利ガドウナルカ、今ノ所デハ低イノ  
デアリスカラ、向カラ「クレデット」ヲ  
入レルニシテモ、非常ニ金利ヲ騰貴サ  
セナケレバナラヌト云フコトモナイカ  
モ知レマセヌガ、サウ云フコトヲ勘案  
シテ今後ノ金利政策ヲ考ヘナケレバナ  
ラヌト存ジマス、隨テ私ノ、普通ノ考  
ヘ方デアレバ、金利ハドウモ暫ク高ク  
ナケレバナラヌノデハナイカト云フヤ  
ウナ感ゾヲ持ツテ居リマス、隨テ今後  
公債ヲ發行スレバヤハリソレニ繋ガリ  
ヲ持ツ過去ノ公債ノ金利ダケヲ下グル  
ト云フコトニナルト、詰リ公債ニ二重  
ノ公債ガ出來ル、是ハ英國アタリノヤ  
ウニ、公債ヲ資產家ガ世襲財產ノヤウ  
ニ持ツテ呉レル「コンソル」見タイナモ  
ノデアレバ、無論一般金利水準ト關聯  
スルコトデアリマスガ、比較的低位金  
利デモ、個人ガ持ツテ居テ呉レルト云  
フコトデアリマス、處理ガ易シイノ  
デアリマスガ、以前ノ日本ニ於テハ個  
人ガ持ツ公債ト云フノハ非常ニ少イノ  
デアリマス、隨ツテ過去ノ公債ノ利子  
ヲ下グルト云フコトニナリマス、寧  
ろ其ノ場合ニハ公債ノ總額ヲ「カット」  
スル方ガ弊害ガ少イノデハナイカト思  
ヒマス、併シ「カット」スルトナルト、  
何時モ申上ゲルヤウニ難カシイ問題ガ  
起ルノデアリマス、私ノ今ノ考ヘデハ  
ハ現狀ニ於テ固メテ行クノガ一番宜イ

第六類第二十三號 臨時物資供給調整法案委員會會議錄 第八回 昭和二十一年九月十三日

一五

ノデハナイカト思ツテ居リマス、デスカラ私ニ若シ公債ヲドウスルカト御尋ネ下サレバ、公債ニハ手ヲ付ケナイ方針ヲ申上ゲル以外ニハアリマセヌガ、是モ財政全般ノ問題デアリマスカラ、尙ホ一ツ財政調査會等デ、十分是等ノ點ノ利害得失ヲ檢討シテ戴キタイト考ヘテ居リマス

○中崎委員 現ニ差迫ツタ問題ハ來年度カラ既ニ七十五億ノ利拂ヒヲシナケレバナラヌト云フ大問題ガアリマス、是ハ成程今言ハレマシタヤウニ、國際金利ノ問題トモ關聯シテ考ヘルコトモ一應ハ出來ルカモ知レマセヌケレドモ、其ノ國際金利ニ對スル所ノ日本ノ金融ノ結び付キト云フモノガ、如何ナル所ニ於テ實際ニ行ハレテ居ルデアルカ、又ドレ程日本ノ現在ノ苦シイ狀態ガ打開サレルノデアアルカト云フヤウナコトニ付テ考ヘテ見テモ、此ノ問題ハ直チニ考慮ノ必要ハナイノデアアツテ、殊ニ大臣ガ先程言ハレマシタヤウニ、一般ノ蓄積ノ出來ル範圍ニ於テノ金利ヲ考ヘナケレバナラヌト云フモノハ各人ニ退藏サレテ居ツテ、金利ト云フモノハ問題ニサレテ居ラナイ、ソレヨリモ之ヲ何トカサレルノデハナイカト云フ不安ガアル爲ニ、殆ド此ノ金ト云フモノハ、金利トハ無關係ニ、實際ニ於テ退藏サレテ居ル狀態考ヘテ見テモ、金利ト云フモノハ問題デハナイ、金ヲ預ケル人ハ唯要スルニ自分ノ持ツテ居ル金ガ安全ニ銀行或ハ政府ニ於テ保證サレルナラバ、喜ンデ預入ヲスルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フ意味ニ於テ、現時ノ差迫ツタ狀態ニ於テ、唯サウ云フ風ヲ將來ノ國際金融ト云フヤウナ場面マデ考ヘテ處理スルヨ

リモ、寧ロ此ノ公債ノ根本的整理、更ニ七十五億ノ金利ノ整理ト云フ問題ニ重點ヲ置クベキモノダト考ヘテ居リマス、此ノ點ニ付テ再度大臣ノ説明ヲ御願ヒシマス

○石橋國務大臣 國際金融ヘ結び付クカドウカト云フコトハ無論今豫言ハ出來マセヌガ、一般ニ信セラレ、或ハ希望セラレテ居ル如ク、講和條約ノ出來ルノモサウ長イ將來デナイト致シマスレバ、同時ニ「ブレトン・ウッズ」協定ニモ參加ガ出來ルト云フ時期モ來ルノデハナイカト思ヒマス、案外ソレハ早イ、明年度豫算ヲ實行シテ居ル間ニサウ云フ事態モ現レルノデハナイカト思ヒマスカラ、御説ノ如ク今直グト云フ問題デハゴザイマセヌガ、ヤハリ是モ考慮サレテ置ク必要ガアルノデハナイカト考ヘテ居リマス、ソレカラ蓄積ノ問題デアリマスガ、是ハモウ仰シヤル通り現狀ニ於テハ私モ其ノ通りニ思ヒ、又其ノ通りニ申シテ居リマス、併シ是ハ非常ニ變態デアリマシテ、幸ヒニ現在ノ整理其ノ他ノ關係デ金融機關モ安定シ、經濟ノ前途ニ對スル或ル程度ノ見透シガ付クヤウニナリマス、ヤハリ金利ガ相當モノヲ言フテ參ルト思ヒマス、又貸出ノ方ノ問題モゴザイマシテ、現ニ貸出ノ方ハ相當金利ガ上コトト睨ミ合セマシテ、金利ノ問題ハ尙ホ慎重ニ考慮シタイト考ヘテ居リマス

○中崎委員 今ノ御回答ニ對シテハ極メテ満足デアリマスガ、時間ガアリマセヌノデ是レ以上此ノ問題ニ付テノ檢討ヲ續ケヨウトハ思ヒマセヌ、次ニ財界前途ノ見透シニ付テ質問致シマスガ、國民ハ焦燥ノ念ヲ以テ財界ノ前途

ニ大キナ關心ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、大藏大臣ノ見透シニ依リマス、食糧品ノ價格モ下リ、物價モ大體天井ヲ打ツタト、斯ウ云フ風ニ言ツテ居ラレマス、私モ一般ノ人ガ考ヘルヤウニ通貨ノ増發ガ直チニ惡性ノ「インフレーション」ヲ齎スモノトハ考ヘマセヌ、ソレハ最終後ニ於キマシテハ小切手トカ手形トカ云フ流通手段ガ、殆ド實際ニ行ハレマセヌデ、貨幣一本ニ依テ行ハレルト云フヤウナ狀態ニ於キマスレバ、平常ノ狀態ヨリモ通貨ノ量ガ相當多ク市場ニアツテモ、決シテ妨ゲナイト云フヤウナコト、或ハ又多額ノ新圓ガ退藏ノ形ニ於テ第三國人、或ハ農漁村ニ於テ、或ハ都會ニ於ケル一部ノ人々ニ於テ保有サレテ居ルト云フ現狀ガ、惡性「インフレーション」ノ大キナ淵滑材ヲナシテ居ルト云フコトモ考ヘラレマス、現在ノ見透シニ於テハ必ズシモ惡性「インフレーション」ヲ廣ラストハ考ヘマセヌガ、今後政府ニ於テ數百億増發サレルレール紙幣ニ付テ、言ヒ換ヘレバ本年末ニ於テ九百五十億乃至一千億ニ及ブデアラウト想像スル所ノ通貨ニ對シテ、何等大藏大臣トシテノ説明ヲ聞キ得ナイ譯デアリマス、現在ニ於テハ成程或ル安定ノ見透シガ一應ハ付クトシテモ、今後ニ於テ殆ド生産ト關係ナクシテ出サレル所ノ三百五十億、或ハ四百億近イ所ノ通貨ニ對スル作用ニ付テ、ドウ云フ風ニナルカト云フ見透シヲ御聽キンタイト思ヒマス

○石橋國務大臣 紙幣ノ増發ハ、現在ノヤウニ金融機關ニマダ不安ガ殘ツテ居リマス間ハ、中々退藏サレタ物が回流シテ來ナイト思ヒマス、ドウシテモ金融機關ニ國民一般ガ信頼ヲ持ツヤウニ仕向ケル必要ガアルト考ヘテ、

現在其ノ措置ヲ執リツ、アル譯デアリマス、是ハ最近ノ極ク僅カナコトデアリマスガ、日本銀行カラノ報告ニ依リマス、日本銀行ノ若シハ日本銀行支店長ノ責任トシテ、新圓ニ付テハ安心ダ、決シテ之ヲ又ドウススルト云フコトハナイト信ズルカラ、出來ルダケ一ツ預金ヲシテ呉レト、何ト云ヒマス、宣傳ト云フ程デハナイカモ知レマセヌガ、サウ云フ意向ヲ各地方ニ傳ヘマシタ所ガ、相當其ノ反響ガアツテ新圓預金モ殖エル傾向ガアルト云フ報告ヲツイ數日前ニ受ケマシタ、左様ナ譯デ何ト云フテモ色々點デ不安ヲ懷ク、其ノ不安ガアルモノデスカラ其ノ不安カラ「デマ」ナドガ起リマシテ、ドウシテモ回收ガ旨ク行カナイノデアリマスガ、是ハ出來ルダケ早イ機會ニ左様ニ「デマ」ナドガ出ナイヤウニ、又「デマ」バカリデナク實際ニ安心ガ出來ルヤウナ狀態ヲ作り上ゲテ行キタイ、サウスレバ新シイ紙幣ノ増發モ斯様ニ殖エモシマセヌシ、又一旦出タ紙幣モ回收サレルト考ヘマス、ソレカラ根本ハ何處ニアルカト申セバ、御話ノヤウニ財政デアリマス、財政カラ通貨ノ増發ガ止メ度ナシニ出ルト云フコトデアレバ、無論「インフレーション」ハ防止出來マセヌ、ソレカラ財政カラサウ云フモノガ出ナイト云フコトニナリマスレバ、必ズ「インフレーション」ハ防止出來ル信ジマス、是ハ唯信ズルバカリデナク過去ノ歷史ノ事實ガ示シテ居リマス、ソコデ財政ノ問題デアリマスガ、本年度ノ財政ハ御承知ノヤウニ決シテ十分健全ナルモノトハ言ヘマセヌ、私ガ本會議デモ申上ゲタヤウニ、財産稅ヲ使フト云フコトハ、全部デハアリマセヌガ、或ル意味ニ於テ赤字公債ヲ出スノト同ジ

ニナルト云フコトヲ申シマシタヤウニ、サウ云フ點ガアル、但シ私ハ實ハ其ノ點ヲアノ際ニハ強調シ過ギタカモ知レマセヌ、ガ同時ニ詰リ所得稅ヲ取ツタリナドデ以テ、政府ノ經費ヲ支辨スル場合トハ影響ガ違ヒマスケレドモ、其ノ影響ガ違フト云フコトヲ私ハ強調シテ、實ハ私自ラ戒メ、又國民諸君ニモ財政ニ危險ガアルト云フコトヲ知ツテ戴キタイ、斯ウ云フ色々ノ含ミヲ持ツテ居ツタ譯デアリマスガ、ソレガ財産稅デアツテモ之ヲ取ツテ、ソレヲ見返リニシテ紙幣ヲ出シマシテ、政府ノ財政ニ使フ場合デモ、行キナリ赤字公債ヲ出スノトハ、非常ニ影響ガ違フト存ジマス、財産稅ガドレ程ニナルカト云フコトハ、今數字ハ私カラ申上ゲ兼ネマスケレドモ、兎ニ角第一次ニ於テハ、其ノ財産稅ヲ納ムル方ガ預金ナリ何ナリヲ持ツテ居レバ、其ノ預金デ出シテ買フト云フコト、ソレカラ公債ヲ出シテ買フ、物の不動產ヲ出シテ買フト云フヤウナ順序ニナル譯デアリマス、デスカラ預金デ收納サレルモノモ相當ノ額ニ達スルと思ヒマス、ソレカラ其ノ他有價證券モアリマセウ、ソレカラ不動產デ出サレルモノモ、其ノ不動產ノ種類ニモ依リマスケレドモ、大體收益ガアルモノデアリマセウシ、又收益ガソレ程デナクとも、兎ニ角自分ノ財産ヲソレデ出シタノダト云フ心理的影響モアリマスルカラ、私ハソレ等ノ納稅者ノ消費ハヤハリ減ルト思ヒマス、イキナリ其ノ所得ヲ懐ロカラ取ツテ使フ程ニハ影響ガナイカモ知レナイガ、相當ノ影響ハアルト思ヒマス、本年度ノ財政ハ、繰返シテ申シマセヌ、普通歳入デ悉ク之ヲ支辨スルコトガ出來ナイト云フ點ニ缺陷ハア

リマスルガ、鬼二角財産税が見返リニナルト云、點デ、單ナル赤字ヲ出スコトハ影響ガ遠フ斯ウ思ヒマス、ソレカラ蔵出ノ方モ、是モ最初申シマシタヤウニ、成程アノ中ニハ失業救済其ノ他ノモノガ含マレテ居リマス、ケレドモ是等モ出來ルダケ生産ニ寄與スルヤウニ、例ヘバ公共事業費ノ如キモ隨分喰シイ制限ヲ設ケテ、三箇月毎ニ其ノ實績ヲ調査シテ、實績ノ惡イモノハ廢メ、又ソレニ付テハ其ノ仕事ヲヤル場所ノ人、物等ノ存在ヲ十分見極メテヤルト云フ風ナ方法ヲ執ルコトニナツテ居リマスルカラ、蔵出モ私ハ無暗ニ通貨ダケガ飛ビ出スト云フコトハ、是モ勿論防ガナケレバナラヌシ、又其ノ手段ヲ執ツテ居リマス、ソナラ譯デアリマスカラ、本年度ノ財政ノ施行ガ非常ニ「インフレーション」惡化スルト云フコトハ恐ラクナイ、斯ウ云フヤウニ思フノデアリマス、モウ間モナク來年度ノ豫算デアリマシテ、來年度ノ財政ガドウナルカト云フコトガ或ル程度ハツキリシマス、第一ニ是ガ心理的ニ非常ナ影響ヲ齎シマス、デアルカラ勝負ハ來年度ノ財政デアル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマシテ、來年度ノ財政ハ先程申上ゲマシタヤウニ、是ハ極力健全主義ノ方ニ持ツテ行ク、斯ウ云フ風ニヤラザルヲ得ナイノデアルカラ、ドウシテモ是ハヤル、斯ウ云フ覺悟デ計畫ヲ致シテ居リマスノデ、私ハ先ヅ財政上カラ今後「インフレーション」ガ惡性ニナルト云フヤウナコトハ防ゲルノデハナイカ、又之ヲヤルヨリ外ニ行キヤウガナイノデアリマスルカラ、サウ云フ風ニシテ行ケバ、世間デ心配サレ「インフレーション」ガ何處マデモ行クト云フヤウナコトハ必ズ防ゲル、斯ウ云フ風ニ確信シテ居リ

マス、唯前ニ申上ゲマシタヤウニ、今ノ所デハ金融機關等ニ對スル信用ガ乏シイト云フヤウナコトカラ、通貨ハマダ暫ク出ルカモ知レマセヌ、幸ニ物價ハ通貨ノ増加トハ必ズシモ一致セズニ、天候ニモ惠マレマシテ、七月以來ハ實際物價ハ低落シツ、アルヤウナ譯デアリマス、此ノ勢ヒヲ外サズニ善處シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

マシテ大藏大臣ノ御答辯ヲ願ヒマス  
○石橋國務大臣 ソレハ大體或ル一面ハ其ノ通りナンデアリマス、デスカラ其ノ點ヲ私ハ警戒的ニ申シタノデアリマシテ、併シナガラ同時ニ、第一封鎖預金ハ言フマデモアリマセヌガ、第二封鎖預金ニ致シマシテモ、ソレヲ持ツテ居ル人ガ之ヲ持ツテ居ルト云フコトハ、自然色々ノ形デ流レ出ス譯ナデアリマス、デスカラ全然影響ガナイ譯デアナイ、ソレカラ公債ノ場合ハ、個人ガ持ツテ居ルノハ何時モ申上ゲルヤウニ非常ニ少ウゴザイマスカラ、是ハドレ程入ツテ來ルカ知レマセヌケレドモ、私ハ大シタモノデハナイノデハナイカト思フノデアリマス、公債ハ若シソレヲ出サレル人ガアルトスレバ、持ツテ居ル人ハ別段之ヲ擔保ニシテ金融致シテ居ル人モ餘リナイダラウト思ヒマスカラ、是ハ御話ノヤウニ一方ニ於テ公債ヲ回收シ、一方ニ於テ公債ヲ出スト云フヤウナ形ニナリマセウ、ソレカラ物の財産ノ方ハ先程申上ゲタ通り、又御承認ノ通りデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、本會議デ説明ノ時ニモ、財産税ニ依ツテ財政ヲ支辨スルト云フコトハ、決シテ全部デハナイケレドモ、所得稅ナドヲ徵ツテ使フノトハ非常ニ影響ガ遠フ、デ財産稅ヲ徵ツテ使フト云フコトハ、其ノ或ル部分ハ赤字公債ヲ出スト同ジコトニナルカラ、其ノ意味ニ於テ今年度ノ財政ハ確ニ危險ガアルト云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマス、ケレドモ、「ストリート」ニ、全部ヲ赤字公債デ出ストハ非常ニ影響ガ遠フト考ヘテ居リマス

○竹田委員長 成ベク簡單ニ願ヒマス、退藏サレタ通貨ノ回收方法ニ付テ、大藏大臣ハ何等具體的ナ策ガナイヤウデアリマス、更ニ今後増發サレル虞ノアル通貨ニ付テモ同様ニ考ヘラル譯デアリマス、私ハ此ノ退藏貨幣ガ、現在ハマダ恐ロシイ勢ヲ持ツテ居ナイケレドモ、丁度爆彈ヲアチコロチラニバラ撒イテ居ル如キモノデアツテ、何時モ是ガ爆發スルカモ知ラヌト云フヤウナ危險ヲ存デデアリマス、デ私ハ此ノ爆彈ハ宜シク火藥庫カ何カ入レテ、安全ナ方法ニシナケレバナラヌ譯デアルト思ヒマスルガ、此ノ點ニ付テノ私ノ具體策、或ハ大藏大臣ノ御意見ニ付テモ、具體的ニ能ク御聽キシタイト思フ譯デアリマスガ、時間ノ關係モアリマスノデ、十二分ニ此ノ點ヲ檢討出來マセヌ、唯現在多數ノ金ガ第三國人或ハ農山漁村ニ於ケル特殊ノ人々ニ集マツテ居ル譯デアリマスルガ、富ノ分配ヲ公平ニスル意味ニ於テ、或ハ又大眾購買力ガナクナツタ爲ニ、現在ノ物價ノ値上リモ或ル程度食止メラレルト云フ風ナ實情ニ鑑ミマシテモ、此ノ大眾ノ犧牲ニ於テ一部ノ人ノ持ツテ居ル所ノ紙幣ヲ平衡化スル意味ニ於テモ、新圓ノ再封鎖ト言ヒマスカ、或ハ引換ト言ヒマスカ、再整理ヲヤラレルコトガ一應考ヘラレル譯デアリマスガ、此ノ點ニ付テハ大藏大臣ハ再三之

ヲヤラナイト云フコトハ言明シテ居リマス、併シドウモ遺憾ナガラ我々ノ氣持ニ於テハ、ソレデヤリ切レルノカト云フ風ナ不安ヲ持ツテ居ル譯デアリマスノデ、此ノ點ニ付テハ大藏大臣ノ資格バカリデナク、所謂政府ヲ代表シタ所ノ意見ヲ以テ、是ガ間達ツタラ願フ切ルンダト云フ固イ信念ノ下ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、實ハ總理大臣ニモ其ノ點ガ御聽キシタイ譯ナンデゴザイマスケレドモ、丁度本日ハ見エテ居リマセヌシ、大藏大臣ニ於テ總理大臣ニ代ツテト云フ立場ニ於テ御回答ヲ御願ヒ致シマス

○石橋國務大臣 無論政府ハ新圓ニ付テハ現在執ツテ居リマス政策ヲ其ノ儘遂行スル次第デアリマシテ、御話ノヤウニ之ヲ回收スルト云フ考ヘハ毛頭持ツテ居リマセヌ、其ノ理由ハ屢々申上ゲマシタカラ繰返ス必要ハナイカト思ヒマスガ、少クモ現在ノ狀態ニ於テ、私ノ具體策ガナイト仰シヤイマスガ、一番大キナ具體策ヲ打ツテ居ルノデアリマシテ、先程カラ申上ゲマシタヤウニ、金融機關ニ自カラ是ガ回收サレル方法ヲ執ル以外ニハ根本策ハナイ、ソレヲ途中デ今ノ狀態デ追掛ケマシテ、假令今年ノ二月ノヤウナ處置ヲ執リマスレバ、是ハ通貨ニ對スル信用ヲ益々失墜スルト云フ弊害ヲ殘シ、サウシテ又半年モ經テバ同ジコトヲ繰返サナケレバナラヌト云フヤウニナル危險ガアリマスノデ、此ノ際ハサウ云フコトハ致サナイノガ適當デアル、斯様ニ現在政府ハ確信シテ居ル次第デアリマス

○中崎委員 ソレデハ私ノ質問ハ是デ打切りマス、又後日質問ノ機會ヲ與ヘラレニコトヲ御願ヒ致シマス

○竹田委員長 田村君ニ御願ヒ致シマ

スガ、先程申シマシヤウニ、加藤サンモ薩サンモ午後八都合ガ悪イサウデスカラ、ドウゾ十分ト云フコトデ……

○田村委員 承知シマシタ、農政局長ニ御尋ね致シマス、時間ガ制限サレテ居リマスカラ簡便ノ二箇單ニ質問致シ、説明ハ申上ゲマセヌ、本年度ノ收穫ハ五千九百萬石ト言ヒ、或ハ五千五百萬石ト言ヒ、色々ナ説ガアルノデアリマスガ、無論昨年ヨリカ可ナリ大福ナ主食ノ收穫デアルト思フデアリマス、政府ハソレニ依ツテ十一月ヨリ二合五勾ノ配給ヲ斷行スルト言ツテ居ラレルガ、其ノ通り二合五勾ノ配給ヲセラルカドウカ、御承知ノヤウニ日本ノ勤勞階級、所謂「サラリーマン」デモ、「一日ノ最低「カロリ」ハ千六百八十「カロリ」必要トシテ居リマス、ソレハ最低自分ノ體ヲ維持スルダケノ「カロリ」デナク、デリ貧ニナツテ行クヤウナ程度ノ最低「カロリ」デア

ル、其ノ千六百八十「カロリ」必要ナモノヲ、主食二合五勾ノ配給デハ御承知ノヤウニ二千二百五十「カロリ」、副食物ヲ二百「カロリ」トシテ千四百五十「カロリ」ト云フモノガ不足シテ來ルノデアリマス、サウスレバ千六百八十「カロリ」ニ於テスラデリ貧ニナツテ行ク、隨テ二百三十「カロリ」不足スルナラバ、體ハ相當衰弱シテ行ク狀態ニナルノデアリマス、二合五勾ニ於テスラサウデアリマスガ、サウシマスト日本人ノ體力ハ最低三合配給ヲ斷行シナケレバ維持シテ行ケナイト私ハ思フ、今日二合五勾ノ配給ガ假ニサレタトシテモ、恐ラク闇ノ根絶ハ出來ナイト思フ、ドウシテモ三合配給ヲ斷行スベキデアルト思フデアリマスガ、十一月

カラ二合五勾ノ配給ヲスルノダ、サウシテ又アト數箇月カ二、三箇月經ツテ三合配給ヲ斷行スル見込シガ付クカ付カナイカ、永久ニ此ノ程度デアるか、本年度ノ豐作ニ於テスラ此ノ程度デアルナラバ、日本人ノ體ハデリ貧ニ倒レテ行ク狀態ニナルノデアリマスガ、農林省トシテハドウ云フヤウナ御考ヘヲ持ツテ居ラレマスカ

○山添政府委員 二合五勾ニ増配スルト云フ問題ハ、最終ノ決マツタ譯デアリマセヌケレドモ、皆ガサウ云フ期待ヲ持ツテ居ル、サウ云フコト標準サレテ居リマス、ソコデ御話ノ三合配給マデ持ツテ行カナケレバ足リナイデヤナイカ、斯ウ云フコトデアリマス、大體昔ノ狀況デ考ヘマスト、只今千八百「カロリ」ト云フ話ガゴザイマシタガ、國民一般ノ平均トシマシテ二千「カロリ」、成年ノ中勞働者トシテハ二千四百「カロリ」、斯ウ云フモノガ所要量ニナツテ居リマスガ、其ノコトヲ考ヘテ見マスト、米デ播ツテ居リマシタ今マデノ割合ハ、大體六割見當ニナツテ居タカト思ヒマス、サウシテ其ノ當時ハ酒ヲ造ルノニ、米ニシテ四百萬石モ潰シテ、國民一人當リノ米ノ消費量ハ一石若シクハ一石一寸多イ位ノ見當デアッタノデアリマス、所ガ此ノ主食ガ増配ニナリマス同時ニ、其ノ他ノ野菜デアリマストカ魚ノ方面デアルトカ云フモノモ段々良クナツテ行ク、少クモ配給ト云フ點ニ於キマシテハ主食ガ緩和サレマスニ從ツテ、ソレ等ノ物ノ配給ト云フコトモ非常ニ「ル」トニ乘リ易イ譯デアリマス、サウ云フヤウナ事柄デ段々改善サレテ行ク、併シ三合配給ト云フハ此ノ前ノ選舉ノ時カラノ輿論デアルコト

ハモウ承知シテ居リマスケレドモ、倍テ此ノ三合配給ト云フコトハ、ハ數字ノニ、主食ヲ米ノミナラズ麥、芋ヲ入レマシテモ三合配給ニ持ツテ行クト云フコトハ出來ナイコトデアルト考ヘテ居リマス

○田村委員 サウスルト我々日本人ハ恐ラク本年度ハ最近ニ於ケル最モ豐作デアルト思ツテ居ルノデアリマスガ、我々國民トシテハ今後相當政府ノ計畫スル所ノ干折或ハ開墾ト云フモノヲ目指シテモ、恐ラク三合配給ト云フコトハ夢見ルコトガ出來ナイト云フ事態ニ考ヘラレルノデアリマスカ、如何デアリマスカ

○山添政府委員 是ハ今年非常ニ豐作デアリマシテ、六千萬石前後ト云フコトデゴザイマスガ、大體日本ノ食糧事情ト致シマシテハ、御承知ノヤウニ昭和ノ初メ頃カラズツト朝鮮臺灣ヲ入レマシテ一千万石モ移入シテ居タノデアリマス、又戰爭中ニ於テ段々此ノ方面ノ輸入ガ或ル程度縮減サレマシタガ、同時ニ外米ニ依存シテ居タコトモ相當ノ量デアリマシテ、南方米ヲ輸入シマシタコトモ、多イ年ニハ九百萬石カラ一千万石ニナツタ時期モアツタコトハ御承知ノ通りデアリマス、又滿洲カラ大豆ヲ初メト致シマシテ、其ノ他ノ雜穀等モ入レテ居タコトハ是レ亦御承知ノ通りデアリマス、隨テ今年六千萬石ノ收穫ガアルカラト云ヒマシテモ、相當多量ノ食糧ヲ「アメリカ」ニ仰ガナケレバナラス狀況ニアルコトモ是レ亦申スマデモナイノデアリマス、ソコデ此ノ當面何時ニナツタ所謂三合配給ガ出來ルカ、三合配給ト云フコトハ言換ヘテ見レバ統制セヌデ宜シイ、食糧ヲ自由ニ食ハシテ宜シイ、

斯ウ云フ時代デアルノデアリマスガ、ソレガ何時參ルカト云フコトハ、今明瞭ニ申上ゲル譯ニ行キマセヌ、併シ此ノ事柄ハ獨リ農業生産ダケニ依ツテ達成シ得ルト云フ風ニハ、又近イ將來ニサウ云フ時期ガ來ルト云フコトハ、我々如何ニ努力ヲ致シマシテモソレハ無理デアリマシテ、ドウシテモ海外カラ食糧ヲ入レルト云フコトガ續クノデアリマス、其ノ際ニ結局食糧ヲ豐富ニ入レヨウト思ヒマスレバ、ソレニ對スル見返リ物資ガ必要デアル、斯ウ云フ風ニ國全體トシテノ産業ノ回復ト云フコトガ前提ニナリマシテ、サウシテ出來ルダケ早イ機會ニ國內ニ於ケル増産ト相俟ツテ、價格統制ト云フ意味ニ於ケル統制ハ續キマシテモ、數量ノ消費ヲ規正スルト云フ意味ノ統制ハ、成ベク早イ機會ニ止メルコトガ望マシイ譯デアリマス、是ガ何時デアルト云フコトハ今非常ニ難カシイ時デアリマシテ、豫定ヲ付ケルコトハ出來ナイト思ヒマス

○田村委員 簡單ニ申シマスガ、御承知ノヤウニ産業界ニ於テモ増配ガナケレバ復興ガ出來ナイ、炭礦ニ於テモサウ云フコトヲ言ツテ居ル、産業ノ復興ト云フコトハ主食ノ増配ニアルノデアリマス、其ノ主食ノ増配ナクシテハ、恐ラク産業ノ復活ハ出來ナイ、併シナガラ産業ノ復活ガ出來ナケレバ、當然サウシテ見返リ物資モ出來ナケレバ、又將來日本ガ負擔シナケレバナラナイ所ノ賠償金、是等ニ對シテ日本ハドウスルノカ、サウスレバ實際ニ於テ日本國民ガ完全ナル體力「ナル」マデニ、聯合軍ヲ通ジテ相當ソレマデニ昨日金子君カラ申サレタト思フノデアリマスガ、總テノ物資、之ヲ政府ハ何トカシテ手ヲ打ツテ、日本人ガ安心シ

テ産業ニ從事スルダケノ食糧ヲ確保シナケレバナラヌ、主食ガソレ程足リナケレバ副食物ヲ以テスル、此ノ副食物ニ對スル所ノ政府ノ態度ハドウデアるか、ソレニ對スル所ノ「カロリ」ヲ補フダケノ計畫ヲ立テテ居ラレるか、漁業方面ニ於テモサウデアるか、色々ナ所シテモ從事スルコトガ出來ナイト云フヤウナ事態デアル、主食ガ足ラナケレバ當然副食物デ補ハナケレバナラナイ、其ノ計畫ガ殆ドナイト思フノデアリマスガ、仰言ツテモ日本ハ凡ニ爾負擔シナケレバナラナイ、其ノ負擔ヲ補フニハ無論聯合軍ノ相當ナ援助ヲ受ケナケレバナラナイ、ソレニ對シテ政府ハ積極的ニ今日輸入ノ件ニ付テ、相當ナ案ヲ立テテ居ラレト思フノデアリマスガ、ソレハヤハリ二合五勾程度ノ目標ニ運動シテ居ラレルノカ、聯合軍ニ日本ノ食糧ノ事情、サウシテ「カロリ」ノ問題、人體ニ及ボス影響ト云フコトヲ相當數字ノ二學ガテ頼メバ、又將來モサウシテ賠償問題等ヲ考ヘレバ、輸入モ出來ルノデアリナイカ、我々ハ永久ニ主食ヲ三合トカ、我々自由ニ賣ルト云フコトガ出來ナイト云フコトニナレバ、將來闇ト云フモノハ何時マデモ絶エヌ、其ノ見込ガ政府ニ付カナイ、或ハ三合配給ヲ斷行スルト云フコトハ、此處デ發表シテハ聯合軍トノ色々ナ關係ガアルト云フコトデアレバ別デアリマスケレドモ、サウ云フ見込シガナイト云フコトデアレバ、殆ド國民ハザリ貧倒レテ行クト云フ事態ニナル、聯合軍トノ色々ナ交渉狀況ガドノ程度マデ行ハレテ居ルカ、御聽キタイノデアリマス

○山添政府委員 其ノ點ニ付キマシテ

ハ、私自身ハ實ハ詳細ニ存ジテ居リマ  
セヌ、ト同時ニ又具體的ノ内容ヲ政府  
ト致シマシテハ、發表シニキ點ガア  
ルト思ヒマス、ソレニ致シマシテモ、  
「アメリカ當局ニ於キマシテハ、非常  
ニ熱心ニヤツテ實ヒ、ワザ／＼人ガ  
「ワシントン」マデ行カレマシタ、ワ  
「ワシントン」デハ御承知ノヤウニ、世界ノ  
食糧事情ヲ略テ居ル譯デアリマス、  
其ノ方面ト熱心ニ折衝サレタノデアリ  
マシテ、サウ云フ方ノ歸來ヲ待つテ、  
決定サレルト云フコトデアルト聞イテ  
居ルノデアリマス

（委員長 退席、小島委員長代理著  
席）

○田村委員 是デ質問ヲ止メマスガ、  
主食ガ足りナケレバ副食物デ補フト云  
フ計畫ヲ立テラレンコトヲ御願ヒ致シ  
マシテ打切りマス

本法律ノ性格ニ付キマシテハ、果シテ今  
日ノヤウナ民主化ノ時代ニ、何ガ根柢  
トナツテ斯ウ云フ法律ヲ必要トスル  
カ、聞ク所ニ依レバ、總動員法ガ今月  
一パイデ效力ヲ失フ、隨テ政府トシテ  
ハ尙ホ統制ヲ繼續スル必要ガアルガ故  
ニ、總動員法ニ代ル法律トシテ、此ノ  
法律ヲ制定シヨウト云フ御意向カトモ  
聞イテ居リマスガ、總動員法ニ依ル戰  
争中ノ統制經濟、是ハ名ハ統制經濟デ  
アツテモ、私共ノ立場カラ言フナラ  
バ、本格的ナ統制經濟デハナイ、唯戰  
争目ノニ關シニ集中シタ一箇ノ暴力法  
律デアル、斯ウ考ヘテ居リマス、同様  
ニサウ云フ法律ハ、戰爭ガ終ルト同時  
ニ當然廢止サレ、新シキ民主化ノ本質  
ニ則ツタ計畫的ナ統制經濟ヲ必要トス  
ル法案ガ、生レテ來ルコトガ必要デア  
リマス、唯單ニソレヲ繼承スルト云フ  
ヤウナ意味ニ於テ本法律制定サレルコ  
トハ、國民ニ取ツテモ非常ニ不愉快デ  
アリマスシ、且ツ國際的ニモ日本ニ尙  
且ツ此ノヤウナ獨裁的ナ委任法ガ制定  
サレルト云フコトハ、面白カラザル影  
響ヲ與ヘルモノト思フデアリマス  
ガ、先ヅ此ノ點ニ付テ本法律制定ヲ必要ト  
スル理由ト、ソレカラモウ一ツハ之ヲ  
現實ニドウ云フ場合ニ適用サレヤウ  
トスルノカ、法律ノ草案ノ條文ノ規定  
ニ依リマスレバ、安定本部デ決メタ基  
本ノ政策及ビ金融ノ實施ニ必要ナ場  
合、之ヲ確保スル爲メ主務大臣ガ命令  
ヲ發スル場合ニ適用スル、斯ウ云フコ  
トガ規定サレテ居ルヤウデアリマス  
ガ、ソレハ一箇ノ文章デアリマシテ、  
現實ニ此ノ法律ガ適用サレル場合ヲ御  
尋ネシタイト思ヒマス

○竹田委員長 加藤勸十君  
○加藤勸委員 昨日モ申上ゲマシタ  
ヤウニ、私ハ途中カ此ノ委員會ニ加  
ハリマシタノデ、私ノ質問シヨウトス  
ルコトハ既ニ同僚諸君ニ依ツテ御尋ネ  
ニナツタ點ガアリ、其ノ點ニ付テハ重  
複シテ御迷惑カトモ存ジマスルガ、併  
シ又質問者ノ立ッ立場ニ依ツテ、自ラ  
角度モ違ツテ來ルカト思ヒマスカラ、  
暫ク御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○星島國務大臣 一應法文ノ形カラ之  
ヲ見マスレバ、サウ云フ御觀察モ御尤  
ダト思ヒマス、既ニ度々本會議並ニ此  
ノ委員會ニ於テモ其ノ論議ガ出タノデ  
アリマシテ、私自身モ實ハ之ヲ草案致  
シマス場合ニモ、非常ニ消極的デアッ  
タコトハ、實際事實デアリマス、併シ  
從來此ノ戰時型ノ統制ハ、今回ヲ以テ  
愈々、打切ラナケレバナリマセヌ、故ニ  
全部野放シニシテ宜イカト言ヒマス  
ト、御承知ノ如ク此ノ物資ノ需給調整  
ト云フコトハ、野放シヲ許サナイ、ソ  
コデ已ムナク此ノ法案ヲ出スコトニナ  
ツタノデアリマスガ、併シソレニ致シ  
マシテモ、石炭ノ「ゴークス」法ヲ改正  
スルトカ、或ハ電氣事業法ヲ今度改正  
ヲ求メマシタ如ク、各品目々々ニ付  
テ、一々一定ノ法律ヲ作ツテ御協賛ヲ  
仰イデヤルノガ、私ハ本筋ダト思ヒマ  
ス、ソコデ用意ガ出來マスレバ、次カ  
ラ次ヘト致シタイノデアリマス、併シ  
中ニハ輸入ヲ仰グ物資モアリマシテ、  
ソレガ數量モ決マラヌシ、又品目ガ確  
定セヌト云フヤウナモノモアリマス  
シ、概括的ニ此ノヤウナ法案ヲ設ケル  
コトガ必要ニナツテ來タノデアリマシ  
テ、ソコデ戰時型ニナラナイヤウニ、  
指導者原理デ以テ押切ルコトガ出來ナ  
イヤウニ、兩方面カラ押詰メテ、是ガ  
形カラ言フト一寸總動員法ニ似タヤウ  
ナ點ガアルノデアリマスケレドモ、ア  
レトハ似テモ似付カナイ、只今モ仰セ  
ノヤウニ、上ノ方ニ於テ、安定本部會  
議ニ依ツテ、サウシテ總裁ガ最後ニ決  
定シタモノヲ以テ政策ト決メ、其ノ  
會議ノ中ニハ貴衆兩院議員ハ勿論ノコ  
ト、學識經驗者其ノ他モ入ッテ十分審  
議シテ最後ニ決メルト云フ風ニシテ、  
決シテ獨裁的ノコトガ出來ナイヤウニ

ハ、本法ノ性格ニ付テデアリマス、今  
日民主化ノ喧シク唱ヘラレテ居ル時、  
サウシテ又日本ハ民主主義的ニ進ム以  
外ニ途ガナイト云フコトハ、今日ノ日  
本ニ與ヘラレタ至ラ上命令デアルト思フ  
ノデス、此ノ民主化ノ時代ニ於テ、ソ  
レトハ著シク逆行スル、此ノヤウナ一  
言デ言ヘバ獨裁的ナ委任法、僅カ三  
條、四條ノ規定ニ依ツテ、國民生活ノ  
全般ヲ規定スルヤウナ、重要ナ内容ヲ  
持ツタ法律ガ制定サレル

ナツテ居ルノガ一點ト、ソレカラ愈々  
其ノ決マツタコトヲ實行スルニ付キマ  
シテノ割當、配當等ニ付キマシテハ、  
今度ハ自主的ナ、民主的ナ產業團體ヲ  
指定シテヤラシメルト云フヤウニ又押  
ヘテアリマスノデ、迎モサウ勝手ニハ  
出來得ラレナイヤウニナツテ居リマス  
カラ、法律ノ形式ハ一寸法三章のデア  
リ、如何ニモ委任立法ノヤウニナツテ  
居リマシテ、全體ヲ通ジテサウ云フ御  
疑念ノ出ルコトハ當然ト思フデアリ  
マスガ、此ノ法律ハ從來ノヤウナ弊ヲ  
除去シ、已ムナイ一ツノ法律トシテ御  
願ヒシ、サウシテ是ガ立法ヲ御協賛願  
ヒマシテモ、ソレ／＼ノ組織、  
「ム」ハ「ゴム」ト、次々ニ用意ヲ致シ  
タ省令ガ段々出來マズレバ、將來ニ於  
テ凡ソ當分ノ間——是ハ日本ノ經濟界  
ヲ見マシテ、已ムヲ得ヌ長期ニ亙ル  
思フモノガアリマスレバ、電氣ノ如  
ク、石炭ノ如ク、是ハ單行法ヲ總テ作  
リマスガ、併シ重モ角モ一、二年ヤツ  
テ見ヨウ、少クトモ一年ト云フノヲ、  
此ノ安定會議スラモ一應ハ一年ト云フ  
期限ガ附イテ居リマスカラ、是ハ單期  
間デヤツテ見ヨウ、安定會議ガ若シ延  
ビルヤウニナリマスレバ、其ノ期間ダ  
ケハ延ビルト云フヤウニナルト思ヒマ  
スガ、一應此ノ法律ヲ施行スルニ致シ  
マシテモ、此ノ一年ノ期限ガ済ミマシ  
タ時ニハ考ヘ直ス必要ガ起リマスカ  
ラ、前ノ總動員法ヤ其ノ他輸出等臨時  
措置法ヨリモ、餘程是ガ違ツテ居ル事  
實ダケハ御認メテ願ヒタイ、斯様ニ思  
ツテ立案シタヤウナ次第デアリマス  
○加藤（勸）委員 モウ一ツノ問題ノ本  
當ニ適用サレル場合ニ付テハ……

○星島國務大臣 例ヘバ一ツノ例ヲ以  
テシマスレバ、今後應々三十四萬「ト  
ン」ナラ三十四萬「トン」ノ棉ガ輸入サ  
レルカラ、ソレヲドウ云フ風ニシテ仕  
事ヲサスカト云フコトニナリマス場  
合、茲ニ本法ノ適用ヲ御願ヒ致シマシ  
テ、サウシテ組織ニ關スル一ツノ調整  
法規ヲ省令デヤリタイト思ヒマス、ソ  
レヲ安定會議ニ掛ケマシテ、サウシテ  
會議デ決マツテ、斯ウ云フ方式デ先ヅ  
組織ノ方ニ段々流シテ行ク、其ノ下部  
組織ノ中ニ民主的ナ產業團體ガ出來テ  
居リマスカラ、ソレヲ指定シテ、或ハ  
生産ヲ割當テル、或ハ配給ヲセシメル  
ト云フヤウニ、何レ個々ノコトガ出來  
ルト思ヒマスガ、サウ云フ省令ナリ命  
令ガ必要ニナツテ來タ場合ニハ、必ズ  
安定本部ノ御諒解ヲ得、決議ヲ得テヤ  
ルコトニ相違ナイト思ヒマス、ダカラ  
ラ、上ニ於キマシテハ只今申シタヤウ  
ナ安定本部會議ノ決議ヲ得、下部組織  
ニ於テハソレ／＼出來マシタ民主的團體  
ヲ指定致シマシテ、其ノ方ニ向ツテ  
割當、或ハ仕事ヲセシメル、肥料ノ例  
ヲ以テ言ヒマスレバ、或ル場合ニハ、  
甲ノ會社デハ能率ガ惡イ、乙ノ會社ニ  
モツト増産セシメル爲メニハ、甲ノ會社  
ノ設備ヲコチラニ譲ル必要ガアルト云  
フコトガ、若シ起ツテ來マスレバ、此  
ノ法律ノ適用ヲ受ケテソコニ譲渡ガ起  
ツテ來ルト云フコトガ出來ル譯デアリ  
マスガ、大體其ノ適用ノ品目ハ、先般  
御配リシマシタ品目ガ商工省限リノモ  
ハトシテハアリマス、農林省關係ニモ  
アラウト思ヒマスガ、御手許ノ方ニ差  
上ゲテアリマスカラ、ソレヲ御覽願ヒ  
タイト思ヒマス

○加藤（勸）委員 私共ハ、今日ノ日本  
ノ經濟再建ニ付キマシテハ、名稱ガ經濟

第六類第二十三號 臨時物資需給調整法案委員會會議錄 第八回 昭和二十一年九月十三日

安定本部付ケラレルカ、經濟參謀本部付ケラレルカ、免モ角一個ノ計畫性ヲ持ツタ經濟復興ノ基礎的ナモノガ考ヘラレナクバナラズト云フコトニ付テハ、同様ニ考ヘテ居リマス、唯斯ウ云フハ法律ガサウ云フ場合ニ果シテ必要デアラカドウカト云フ點デアリマスガ、私ハ今御説明ヲ御伺ヒマシテ此處デ賛否ノ意見ヲ述ベヨウトハ思ハナイノデアリマシテ、唯疑義ヲ疑義トシテ御尋ネスル程度ニ止メテ置キマス、時間ノ關係モアリマスカラ其ノ點ハ止メマシテ、次ニ此ノ法律ノ運用ニ依ツテ、唯形式デハナク、本當ニ日本ノ經濟ガ復興出來ルト信ジテオイデニナルカドウカ、之ヲ私ハ一番眼目トシテ御伺ヒシタイト思ヒマス

○星島國務大臣 今日ノ基礎産業ノ部面ハ、少クトモ此ノ法案ノ運用ニ依ラナケレバ私ハ皆行カヌコト思ヒマス、先ヅ第一ガ石炭ガサウデス、是ハモウドシテモ需要供給ノ關係カラ言ヒマスレバ非常ニ不足ナシデスカラ、ソレヲ重點的ニ配給ヲ致シマス爲ニハ、今回出シマシタ石炭「ゴークス」ノ法律案ノ改正ヲ御願ヒスルト同ジヤウニ、肥料ニ關シマシテ特別法規ヲ實ハ此ノ議會ニ提出シテ御協賛ヲ願ヒタイト思ツタノデスカレドモ、ドウシテモマダ準備ガ出來マセヌ、ソコデ、此ノ九月一パイデ從來ノ法規ガナクナリマスノデ、サウ云フモノヲ補ハス爲ニハ、ドウシテモ此ノ法律ニ依ツテヤラナクバナラナイ、肥料ノ一種ノ國家管理ニ近イヤウナ方式ヲヤリマス其ノ原動力ハ、此ノ法律ニ依ツテ裏付シナケレバナラナイ、先程申シマシタ纖維ノ如キモサウデアリマス、纖維ガ日本ノ見返リ物資トシテノ最大ノモノデアアル、今

後ノ中小工業ト云ヒマスカ、全體カラ見マシテモ生産デアツテ、例ヘバ今年五十五億圓前後ノモノヲ出シマスガ、此ノ中三十億圓以上ハ纖維デアリマスカラ、サウ云フモノヲ規正シテ行キマシテハ、是ハ國內ノ民需ニ充テ、是ハ國外ニ出スノモノト云フコトヲ決メタリマス、其ノ基本ノモノヲ何處デヤルカト云フト、之ニ依ツテヤラナケレバナラズ、私共ドウモ斯ウ云フ法律ハ嫌ヒナシデアリマスアレドモ、ドウシテモ是ハ必要デ已ムヲ得ナイシタト云フ確信ヲ以テ、實ハ提案致シタ次第デアリマス

○加藤(勸)委員 只今ノ御説明デハ、日本ノ工業生産ノ復興ニ付テ、石炭ト力纖維トカ云フモノノ例ヲ御舉ゲニナリマシタガ、ソレデケデハ日本經濟全體ノ復興ニ關スル政府ノ確信ノ程ヲ御伺ヒスルコトハ出來ナイト思ヒマス、勿論非常ニ煩多ニ互リマスル、而モ相互ニ交錯シテ居ル——昨日モドナタカ同僚ノ方ガ重點主義ト云フコトガ間違ヒデアツタト云ハレマシタガ、無論何處ノ國デモサウデスガ、經濟ハ全般的ニ相關聯シテ居ル性質ヲ持ツテ居リマスカラ、基本的ニハ固ヨリ産業ノ基礎トナル基本産業ガ根柢ニナリマスアレドモ、其ノ重要基本産業ノ根柢ノ上ニ、更ニ生産計畫ト云フモノガ明確ニ定メラレテ、其ノ定メラレタ計畫ガ實際ニ行ハレル、唯單ニ數字ノ羅列デハ私ハ復興ヲ確信スルト云フコトニナラズト思ヒマス、色々昨日來政府カラ資料ヲ戴キマシタガ、之ヲ綿密ニ調査致シマシテモ、是ダケノ數字カラハ、政府ニ日本ノ生産復興ニ關スル確信ノ程ヲ御伺ヒスルコトガ出來ヌノデアリマス、私ノ希望致シマシタ經濟安定本部

ノ基本政策ヲ、其ノ計畫ノ全貌ヲ示シテ戴クコトガ出來レバ、ソレノ全貌ガ實現ノ可能性アリヤ否ヤト云フコトガ審議サレテ、初メテ可能性アルト云フコトニナツテ、確信ヲ持ツデアリデニナルト云フコトヲ知ルコトガ出來ルノデアリマスアレドモ、遺憾ナガラソレハ海外カラ原料ヲ輸入シナケレバナラズ關係デ、サウ云フモノノ具體的ナモノガ發表出來ヌ、隨テ具體的ナ計畫ノ全貌ヲ知ルコトガ出來ヌト云フコトガ、併シナガラ私ハ本當ヲ言ヘバ、經濟安定本部カラ日本ノ現實ノ經濟思想ノ全貌ヲ我々ニ示シテ戴キマシテ、之ヲ斯ウレバ實行ガ出來ル、日本ノ總テヲ舉ゲテハ一大缺陷ハ、殊ニ目標ヲ示シ、目標ニ到達スル過程ガ何時デモ拔ケ勝タノデス、我々ハ手數ヲ拔キニシタ目標ト云フモノハ、唯單ナル一箇ノ机上ノモノニ過ギスと思ヒマス、是ハ單リ政府ノ態度バカリデハナク、我々ノ間ニ於テモ過去ニ於テサウシタ多クハ缺陷ヲ持ツテ居リマシタ、常ニ何時デモ現實的デアアル、現實的デアルト云フコトハ、常ニ何時デモ手段ガ一番大キク寫サレテ行ク、其ノ手段ヲ通ジテ目標ガ實現サレルト云フコトデナケレバナラズト思フノデアリマシテ、サウ云フ願カラ行ケバ、經濟ノ全貌ガ明カニサレナイト云フコト、隨テソレニ對シデドウソレヲ實現スルカト云フ手段ニ付テモ、何等示サレテ居リマセヌト云フコトカラ、唯單ニ此ノ法律ヲ實施シナケレバ、總テノコトガ出來ナイト云フ今ノ商工大臣ノ御説明ハ、一應心持ノ上ニ於テハ能ク分ルノデアリマス、併シソレデカラト云ツテ、ソレデ日本經濟ノ復興ニ付テ政府

ガ確信ヲ持ツテ居ルト云フコトニハドウシテモ受取り難イノデアリマスガ、是モ是レ以上私ハ突込シテ議論シヨウト云フ氣ハ一ツモ今日ハアリマセヌカラ止メテ置キマス

次ノ質問、ソレハ今ノ關係デアリマスアレドモ、工業生産ノ復興ガ、實際ノ計畫ハ立テラレテ居ルガ、手段ニ缺ケル所ガアル爲ニ出來ニクイト云フコトハ、是ハ朝野ヲ舉ゲテ總テノ人が認メナケレバナラズ現實ダト思フデス、ソコデ其ノ困難ナ理由ガ一體ドウコナアルノカ、復興ヲ困難ナラシムル理由ガ明カニサレマシテ、之ヲ除ク具體的方策ヲ立テラレルナラバ、隨テ生産復興ハ可能デアルト云フコトニナルノデアリマスガ、日本ノ工業生産ノ復興ヲ困難ナラシメテ居ル原因ガドウコナアルト御認メニナツテ居リマスガ、ソレヲ御伺ヒシタイト思ヒマス、是ハ綜合的ナモノデスカラ、臆サンカラ御伺ヒシタイト思ヒマス

○勝田國務大臣 日本ノ工業ヲ再建復興シマス上ニ於テ、ドウ云フ點ガ困難デアルカ、是ハ産業ノ一々ニ付テ見マシテモ其ノ困難ノ事情ハ違フト思ヒマス、例ヘバ石炭ノ問題ガ大變喧シウゴザイマスガ、石炭ノ問題ニ付テ見マスレバ、或ハ石炭ヲ増産スルニ必要ナ諸資材ガ不足デアルトカ、或ハ杭木ガ足りヌトカ、サウ云フヤウナ事情モアリマセウ、又石炭ニ付テハ戰時中非常ナ能率ヲ發揮シタヤウニ見エルトカ、實ハ石炭ノ何ト申シマスガ、更ニ掘進、新シイ新興ノ用意モナカツタトカ、或ハ資材ノ不足ノ爲ニ十分ニ保安設備ガ行ハレズ、山ガ荒シマシマツタトカ、色々ノ事情モゴザイマセウ、或ハ綿業ノ

振興ノ問題ニ付キマシテモ、原料棉ハ參ツタガ、擬テ之ヲ動カスベキ土場ノ回復ガ十分ニ行カヌ、之ヲ修繕スベキ資材ガ十分デナイ、又巨大ナ資金ガ要リマスノニ資金關係ガ十分デナイ、又勞務者モ、從前ハ紡績女工ノ如キハ非常ニ募集シ易カツタモノガ、最近ハ食糧事情ナドガ中心ニナリ、殊ニ都會ヨリモ農村ノ方ガ寧ロ生産ガ樂デアルト云フヤウニナツテ、人ノ手モ集マリニクイトカ、各ノ事業ニ付テ色々ノ事情モアラウト存ジマス、併シ要スルニ一言ニシテシマスル、誤ツタ戰爭ノ爲ニ日本ノ原料、此ノ原料ヲ入レルベキ植民地的ナ所ヲ失ツテシマツタ、又國內ノ重要ナ資材ヲ生産スベキサウ云フ資源、例ヘバ今ノ石炭ノ如キハ一例デアリマスガ、サウ云フモノヲ荒シテシマツタ、又戰災ニ因ツテ工場ガ燒カレシマツタ、又最近ノ勞働問題ガ工場ノ經營ヲ著シク困難ナラシメテ居ル事情モアリ、各種ノ事情ガ織込シテ居ルデアラウト思ヒマス、要スルニ是カラノ經濟ノ再建、先程ノ御意見ノ中ニモアラレマシタガ、今日直チニ日本ノ經濟ノ再建、日本ノ工業ノ再建ヲ「斯クノ如キ順序ニ依ツテ、斯クノ如キ物ヲ」作ツト、一應的ニ必ズ實行シ得ルヤウナモノヲ今作ツテ差出シ云フコトハ到底不可能デアリマス、何トナリマスレバ、今申シマス通り資源ノ點ニ於キマシテモ、到底日本ノ工業ハ日本ノ固有ノ資源ノミヲ以テシテハ、經營出來ヌ、輸入材料ニ依ツベキモノガ多イ、又日本ノ工場ノ設備、産業ノ是カラ維持シテ行キマス限度ニ付キマシテモ、賠償問題ガ一方ニアル、又補償打切ニ付テ諸種ノ經濟措置ニ依リマ

シテ、工業ノ内容ニ付キマシテモ著シイ變動ガ出來マス

(小島委員長代理退席、委員長著席)

斯様ナ各種ノ内外ノ狀況ヲ考ヘマシテ、ソコニ是カラ日本ノ工業ハ是ハ補償ノ問題モ打切ラレト直グ見當ガ分ル、又賠償打切ニ伴フ經濟ノ色々ナ「バランス」モ一通リ過ギテ見ル、又輸入物資等ニ付テモ漸次見込ガ付イテ來ル、諸種ノサウ云フ客觀的情勢ノ定マルノヲ待ツテ、ソレト見合ヒツ、日本ノ工業ノ再建ヲ、如何ナル順序デドウ云フ風ニ立ツベキカト云フコトガ、經濟安定本部ノ設立セラレマシタ所以デアリマス、マダ設立一箇月デアリマス、若シ經濟安定本部ニ斯クノ如キ案ガゴザルト言ヒマシテ皆標ニ御目ニ付ケタナラバ、是ハ甚ダ心許ナイイコトデア、安定本部ガ出來テ僅カ一箇月間ニ作ルトナレバ、私ノ手許ニモ私ノ廳ノ事務官ノ作リマシタ「チャート」ヲ幾ツカ持ツテ居リマス、サウ云フモノヲ御目ニ掛ケタ所デ希望論カ、或ハ希望の數字ノ羅列カ、作文ニ過ギマセヌ、安定本部ノ斯クノ如キ不安定ヲ基礎ニ依リマシテ計畫ヲ立テタクナイデアアリマシテ、ソレガ爲ニハ過般來色々申上ゲテ居リマスガ、一方ニ日本ノ從來ノ統制經濟ノ誤リハ、一ツハ腰溜の、唯希望の數字ヲ並ベタ、觀念的ノ作文ノ經濟計畫ガ禍ヒヲナシテ居ルト云フコトハ、數次ニ申上ゲタコトデアリマシテ、ソレガ爲ニ經濟安定本部ニ於キマシテハ、總テノ計畫ヲバ數字の、學問的ノ基礎ノ上ニ、科學的ニ立案シヨウト思ヘマシテ、基礎ノ問題カラ掛ツテ居リマス、サウカト云ツテ經濟安定本部ノ中デ全部ノ調査資料、統計ヲ

バ自分ノ手デヤルコトハ、出來ナイイコトハ分ツテ居リマス、併シナガラ日本ノ從來ノ統計及ビ調査デ以テ利用シ得ベキモノヲバ、之ヲ學者ノ方々ヤ實際家ノ檢討ニ依リマシテ、ドウ云フ風ニ實際ノモノガ利用出來ルカト云フ基礎ノ問題カラ、既ニ研究ヲ始メテ居リマス、是ガ爲ニハ大内兵衛博士バ會長トシマスル統計研究會ヲ本部内ニ作りマシテ、色々ノ部門ニ分テ、四ツノ委員會ニ分ケマシテ、基礎數字及ビ此ノ數字ヲ、ドウ云フ風ニ利用スベキカラ綿密ニ研究致シテ居リマス、又各省カラ色々ナ從來ノ研究及ビ資料ヲ集メマシテ、先ツ基礎準備ヲ致シテ居リマス、併シ是等ハ一、二ノ官僚ノ頭ヤ、數人ノ手デツチ上グベキモノデハアリマセヌ、國內ノ各方面ノ人士ヲ巴集メバシタル經濟安定本部、此處デ練ル積リデ居リマス、尙ホ其ノ練ル前ニ於キマシテモ、經濟安定本部ノ機構ハ度々御説明申上ゲマシタガ、從來ノヤウナ官僚ノミデ集マル役所デアアリマセヌ、此處ニ學者、實業家及ビ官吏、此ノ三ツノ者ガ組合ハサレマスル所ノ一ツノ更僚機構ヲ作りマシテ、茲ニ各種ノ研究會、調査會、協議會等ガ安定會議ノ下ニ附屬サレマス、既ニ幾ツカノ會議ガ開カレテ居リマス、斯ツ云フヤウナ所テ出來ルダケ衆智ヲ集メマシテ、ソレト同時ニ今日日本ノ經濟ガ動キツ、アリマス動靜モ研究致シテ居リマス、又將來議和會議ノ出來マスル際ニ、日本ガ世界ノ經濟ノ中ニドウ云フ地位ヲ占メルカト云フコトモ、綿密ノ用意ノ下ニ考慮ヲ重ネナケレバナリマセヌ、是等ノ順序ヲ考ヘマシテ、急ギハシマスレドモ、先程ノ御説ニアリマシタヤウナ空想的ナ計畫デアハ

リマセヌデ、科學的ノ的確ナ計畫ヲ立テテ、日本產業ガ是カラドウ云フ方面ニ行クベキカラ科學的ニ研究シテ、之ヲ天下ノ衆智ヲ集メタ所デ批判シテ戴キマシテ決定致ス積リデゴザイマシテ、此ノ經濟安定本部ガ開カレマシテマダ二週間、三週間、一箇月ノ間ニ御目ニ掛ケマスマデニナリマスノハ、左様ナ順序デ致シテ居ルカラデゴザイマス、又先程ノ御尋ネノ中エ、此ノ法律ダケ出來ルノカト云フコトデゴザイマシタガ、サウデハアリマセヌ、經濟ノ安定ヲ圖リマスル施策ハ、單ニ物ノ動キ融ノ方面ニモアリマス、運輸ノ方面ニモ、物價ノ方面ニモ、勞務ノ方面ニモ、又根本カラノ生産ノ計畫、及ビ生産ノ増強ノ指導ト云フ方面ニモゴザイマス、此ノ法律ノミガ經濟安定ノ唯一ノ基礎デアアリマセヌ、唯其ノ中ノ大キナ部類、部面デアリマシテ、何ヲ申シマシテモ戰後ノ不足ナ物資ヲバ、最モ重點的ニ有効のニ働カセマスノニハ、ヤハリ從前トハ違フ角度デアアリマスルガ、一ツノ計畫的ナ經濟ノ行ハレル必要ガゴザイマスノデ、此ノ法律ノ類キ形ニ於キマシテハ、商工大臣ノ御説明ノヤウニ、又私共モ好マシイコトトハ存ジマセヌ、併シナガラ此ノ經濟ノ動搖ノ際ニ色々ナ事象ニ應ジラレマスヤウニ、此ノ短期間ニ臨時ノ法制ノ御協賛ヲ煩ハシマシテ、物ノ資材ノ、或ハ設備ノ、サウ云フ需給ノ方面ニ遺憾ナイヤウニ致シタイ、詰リ是ガ經濟安定ノ多クノ計畫ノ中ノ全部ノ裏付デハゴザイマスガ、其ノ中ノ重要ナ基礎的ノ一ツノ柱トモ致シタイ、斯ウ云フ積リデ御協賛ヲ煩ハシテ居ル次第デゴザイマス、甚ダ説明ヲ十分ニ申上

ガル時間モアリマセヌガ、御諒承願ヒタイト存ジマス

○加藤(勸)委員 只今多クノ御言葉ヲ以テ御説明ニナリマシタガ、私ノ質問致シタ點點トハ少シク「ピント」ガ外レテ居ル御答ヘダト思フノデス、勿論經濟安定本部ヲ中心トシテ色々ナ御説明デ、私ノ御伺ヒシナカツタコトモ分ツタ點モアリマスガ、私ノ御伺ヒ致シタイノハ、此ノ生産復興ノ困難ナラシメテ居ル原因ノ所在ガ何處ニアルカ、其ノ所在ヲ探求スルコトニ依ツテ、斯ウスレバ是ガ除カレノダ、斯ウ云フ點デアリマスルガ、其ノ點ニ付テ私今日生産復興ノ困難ナラシメテ居ルト見テ居ル要點ヲ申上ゲマスレバ、第一ハ技術的ナ面ニ於ケル障礙ト思ヒマス、第二ハ原料、材料ノ絕對量ノ不足ト其ノ偏在ニアルト思ヒマス、第三ハ社會的原因ニアルト思ヒマス、大別シマシテ此ノ三ツノ原因ガアル、更ニ之ヲ細カク分類シテ見マスレバ、技術的障礙ト言ハレル中ニハ、第一ニ何人ニモ考ヘラレマスコトハ、戰災ニ依リ生産設備ガ失ハレタト云フコト、文戰中餘リニ生産設備ヲ酷使シタリ、或ハ補修ヲ怠ツタコトニ依ツテ、著シク生産力ヲ減退シテ居ル、又設備ガ或ル物ニ於テハ老衰シテ居ルトカ、是等ノコトガ、私ハ技術的ナ障礙トシテ算ヘ上ゲラレルノデハナイカト思フ、勿論先程國務大臣ノ言ハレタヤウニ、個々ノ産業ニ付テ見マスレバ個々ノ特徴ガアリマシテ、或ル生産部面ニハ適用サレテモ、他ノ生産部面ニハ適用サレナイト云フモノモアリマセウガ、日本經濟全般、日本ノ生産全般ノ概觀致シマスル時ニ、私ハ技術的ナ障礙トシテハ、今申上ゲタヤウナ點ヲ指摘スルコ

トガ出來ルノデハナイカ、隨テ如何ニスレバ之ヲ補フコトガ出來ルカト云フコトガ次ニ考ヘラレト思フノデス

第二ニハ原料材料ノ總對量ノ不足、是ハ只今御説明ニアリマシタコトニ依ツテモ能ク分リマスルシ、又何人モ當然考ヘテ居ル點デアリマス、此ノ原料材料ノ總對量ノ不足ト云フコトガ、如何ニ大キナ生産復興ノ障礙ヲナシテ居ルカト云フコトハ、今更申上ゲルマデモナイノデアリマシテ、之ヲ補フノ途ハ、一ツハ先ツ基本産業、例ヘバ今例ニ御引キナリマシタヤウニ、石炭ナラ石炭ト云フ物ヲ取上ゲテ、是ガドウ云フヤウニ充足サレバ宜イカ、又海外カラ輸入ニ俟タナケレバナラナイ物ニ付テハ、聯合國トドウ云フ折衝ニ依ツテ、其ノ不足スル原料材料ノ輸入ノ方法ヲ講ズルカ、斯ウ云フコトガ當然考ヘラレナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレカラ原料、材料ノ偏在ト云フコトガ當面ノ大キナ問題ダト思ヒマス、先程ノ商工大臣ノ御説明ノ中ニモアリマシタガ、私ハ若シ日本ノ現在國內ニ手持サレテ居ル原料、材料ガ適正ニ配給シ直サレマスナラバ、マダコト一年ヤソコノ間、日本ノ生産設備ヲ遊バセナクとも、濟ムノデハナイヲ、即チ原料ガ海外カラ輸入サレルヤウナ時期ニ至ルマデ、偏在スル原料材料適正ニ配給シ直サレタコトガ出來ルナラバ、其ノ期間中十分生産設備ヲ運轉サセルコトガ出來ルノデハナイカ、現在實際ニ於キマシテ、原料ガ或ル工場ニ於テハアリ餘ツテ居ル、アリ餘ツテ居ルト云フト計斷ガアリマスガ、二年、三年分モ殘ツテ居ル、或ハ工場ニ於テハ半年分カ三月分シカナイ、斯ウ云フヤウナコトハ實際ニ我々ガ見ル例デア

リマス、此ノコトハアノ總動員法ノ適用下ニ於ケル戰爭中ニ於テモ見ダ實例ナシデス、私ノ主トシテ言ヒタイコトハ此ノ點デアリマスガ、

(委員長退席、小島委員長代理著席)

戰爭ト云フヤウナ國家ノ運命ヲ懸ケタ重大ナリト下ニ於テスラ、尙且ツ其ノ需給ノ圓滑ヲ缺イテ居ツタ、今日戰ヒニ敗レテ、新シイ立場カラ新シキ日本ヲ産ミ出ス爲ノ經濟復興ニ當リマシテ、總動員法ト更ニ類似ノ此ノ法律ノ適用ニ依ツテ、サウ云フ戰爭中ノ總動員法適用下ニ於テモ、十分ニ目的ヲ達スルコトノ出來ナカッタ備在原材料ノ適正ナル再配置ガ出來ルカドウカ、私ハ政府ノ政治力ノ問題ダト思フ、若シ政府ノ政治力ガアルナラバ、或ハ斯ウ云フ法律ガナクとも旨ク行クカモ知レナイシ、又若シ政府ノ政治力ガナケレバ、如何ニ完全無缺ナル法律ガ制定サレマシテモ、其ノ實現ヲ見ルコトハ非常ニ難カシデハサイカ、私ガ先程確信ガアルカドウカト云フコトヲ御尋ネシタノハ主トシテ此ノ點ニアルノデアリマス、此ノ點ニ付テドウ御考ヘニナソレカラ第三ノ社會的原因ニ付テデ

アリマス、社會的原因トシテ暴ラレマスコトハ、今御説明ニナリマシタヤウニ第一ニ食糧事情ヲ暴ゲルコトガ出來マス、食糧事情ノ不圓滑ノ爲ニ勞働者ノ退職ナリ職職ナリガ行ハレテ、旨ク勞働力ノ調整ガ出來ナイ、是モ尤モダト思ヒマス、隨テ此ノ點ハ何處ニ缺陷ガアルカト云フコトハ自ラ明瞭デアリマスカラ、是ガ補ハレバ此ノ點ハ直チニ矯正出來ルト思ヒマス、其ノ次ハ資本家ノ生産「サボタージュ」デアリマス、資本家ノ生産「サボタージュ」ノ問題ニ付キマシテハ色々議論ガアリマセウガ、私ハ戰ニ敗レタ日本ノ國ノ將來ノ經濟的見透シガ付カナイト云フコト、ソレカラ「インフレーション」ガ、大藏大臣ハ大體頭打チダト仰セラレテ居リマスケレドモ、尙ホドウ云フヤウニ展開シテ行クカ分ラナイト云フコト、ソシテ又若シ「インフレーション」ガ進行レテ行クトシマスレバ、困難ナシヒラシテ物ヲ造ツテ利益ヲ受ケルヨリハ、持ツテ居ル手ノ原材料ノ値上リニ依ツテ利益ヲ受ケタ方ガ、遙カニ金ヲ儲ケヨウト云フ趣旨カラ行クナラバ、簡單デアリマス、サウ云フコトガ勢ヒ資本家トカ生産擔當者ヲシテ仕事ヲ躊躇セシメル、生産設備ガ整ツテ居リ、原料材料ガ不足ナガラモ整ツテ居リ、ソシテ働クベキ勞働者ガ存在シテガ十分ニ働カナイト云フコトハ、明カニ資本家ノ生産「サボタージュ」ノ結果デアリマス、モウ一ツ資本家ガ生産ヲ遅延シテ居ル原因トシテハ、言フマデモ疑シテ居ル原因トシテハ、今日ノ經濟組織ノ主眼デアリマス、利潤ヲ追求スルコトガ經濟組織ノ主眼デアリマス

ナラバ、ドウ云フ方法ニ依ツテデモ金ヲ儲カレバ宜シイト云フコトヲ考ヘラレルノハ、其ノ事業ヲ擔當シテ居ル人ノ從來ノ考ヘ方デアリマス、サウ云フ考ヘ方ヲ持ツタ人ガ、今申シマスヤウナ諸他ノ經濟的見透シノ困難ヤ、或ハ「インフレーション」ノ展開ニ依ル手持原料材料ノ値上リニ依ツテ利益ヲ受ケルコト云フコトヲ考ヘラレルコトモ當然デアリマス、隨テ斯ウ云フコトガ、若シ政府ニ於テモ其ノ原因ノ所在ガ明カニナルト、私共ノ指摘スルヤウナコトニ御同意デアリナラバ、私ハ此ノ原因ヲドウスレバ除クコトガ出來ルカト云フコトガ、自ラソコニ生レテ來ルト思フノデアリマス、其ノ點ニ對シテノ御所見ヲ伺ヒタイ

○陸國務大臣 御答ヘ致シマス、現在生産ノ起ラザル原因トシマシテ技術ノ方面、資材ノ方面、又勞務ノ關係或ハ事業家ノ經營意欲ノ問題等ニ付テ御議論ガゴザイマシタガ、私モ大體ニ於キマシテ同ジヤウナ考ヘヲ持ツテ居リマス、勿論設備及ビ技術ノ缺如ト云ヒマスカ、缺損ト云ヒマスカ、此ノ點ハ中中サウ簡單ニ參ラスト思ヒマスケレドモ、今回例ヘバ一ツノ例ヲ申シマスレバ、補償物資ガ撤去サレマシテ、其ノ後設備ガチグハグニナリマシタヤウナ場合、是ハ本法ノ第一條第一項ノ三號ニ當リマスガ、サウ云フヤウナ場合ニ設備ノ融通等ヲ考ヘテ運用サレルノデアリマス、日本ノ技術ノ指導ト云フヤウナ面ハ、サウ一朝ニシテイカヌト思ヒマスケレドモ、勿論大イニ努メナケレバナラヌ點デアリマス、又資材ノ偏在ノ點デアリマスガ、是ハ二條ノ方面デ自然ト參ツテ行ケルト思フノデアリマスガ、安定本部ハ企畫ノ應デアリマシテ、實施ノ官廳デアリマセスカラ、手ヅカラデハアリマセスケレドモ、只今御指摘ノヤウニ資材ノ偏在ノアルコトハ事實ト存ジマス、從前モ戰時中ニ查察其ノ他ノ方法ニ依リマシタ資材ノ偏在ヲ矯正シヨウトシマシタケレドモ、成功シナカッタコトモ事實ヤウデアリマス、此ノ點ハヤハリ缺乏セル資材ヲバ、重點産業ニ集中スルコト云フ見地カラ申シマシテモ、何トカシナケレバナラヌ問題デ、是モ實際ノ法律ノ適用トシマシテハ、一條ノ一項ノ三號ガ其ノ場合ニ活用サレルノデアリマスガ、如何ナル組織ノ方法デアヤルカト云フコトニ付キマシテハ、私共ノ方デモ各省ト相俟ツテ、ドウ云フ風ニ行ケルカト云フ構想ヲ練ツテ居リマス

ソレカラ第三ノ勞務ノ問題デアリマスガ、現在ノヤウニ一方ニ生産意欲ガアリナガラ、此ノ生産意欲ガ徒ラニ社會ノ一部ノ思想ノ爲ニ本當ニ發揮サレナイ狀態ハ、大イニ心配シナケレバナラヌ問題ト思ヒマス、一方勞働ニ對シマスル保護ノ諸法制ノ完備ト相俟チマシテ、一ツノ勞働ノ面ニ於キマシテモ、ヤハリ勞働ノ意義ト云フカ、責任ト云ヒマスガ、秩序ト云ヒマスガ、サウ云フ方面ハヤハリ之ニ關係シマスル諸方面ト協力致シマシテ、本當ニ勞働力ガ發揮出來マスヤウナ方面ニ付テ、是ハ協力シテ御相談スルト云フカ、デシテ上ゲナケレバナラナイ是レカラノ重要ノ問題ダト思ヒマス、安定本部ノ仕事ノ中ニモ如何ニシテソレガ成立タセ得ルカト云フコトハ、大キイ一ツノ部門ト考ヘテ居リマス

最後ニ事業家ノ所謂「サボタージュ」ノ問題デアリマスガ、是ハ色々提ヘテ見マス、唯單純ニ利益追求、材料値上リヲ待ツテヤラナイト云フ風ナ非難ヲ受ケルヤウナ場合モアリ、中ニハ勞働爭議ガアル爲ニウルサイノデ、モウ仕事ヲ止メテマハウト云フ横着ナノモアリマスガ、私ノ見聞カラ幾ツカノ例ヲ調ベテ見マシテモ、單純ニ解雇ト申シマスガ、何ト申シマスノデ、是ハ去リ得ナイ部門モアリマス、是ハ今度補償打切ニ付キマシテ、工場ノ整備ガ大々的ニ行ハレマシタ其ノ際ニ、新勸定ト暫定ト分離、新勸定ノ方ニハ其ノ工場ノ本來ノ生産ニ必要ナル設備及ビ材料等ガ分類サレテ、其ノ工場ガ本當ニ働クニ必要デナイヤウナ物資ガ、自然ト預備定ニ於テ舊價ノ返濟、其ノ他ノ爲ニ處分サレルヤウナコトニナリマシテ、是ハ此ノ法律ニ關係ハアリマセスケレドモ、今回ノ補償打切ニ付キマスル企業整備ノ法制ガ出來マス、ソレノ適用中ニ、果シテ生産「サボ」ナリヤ否ヤト云フヤウナ事情モ、抜本的ニ判明シテ參ルト思ヒマス、是ハ是等ノ法制ノ運用ト一緒ニ、サウ云フ弊害ガアリマスモノハ之ヲ矯メテ行クト云フコトニ、オ互ヒニ努力シナケレバナラヌカト思ヒマス

(小島委員長代理退席、委員長著席)

マア是等ニ付キマシテハ、色々ノ經濟上ノ事情モアリマセウカラ、一言ニシテ批判シ去リ得ナイト思ヒマスケレドモ、若シ故意ニ仰シヤルヤウナ「サボ」ナンカガアルトスルナラバ、第一項ノ第二號ヲ適用スルカ、或ハ其ノ所有スル設備、或ハ資材等ニ於テ、第三號ニ依リマシテ有用ニ轉換セシメ得ルトカ、此ノ法律ノ適用ニ依リマシテモ、若干ノ補正ガ出來ヨウト思ヒマス、併シナガラ何ヲ申シマシテモ、敗戦後ノ

此ノ片輪ノ日本ノ産業ヲ直シテ行キマ  
スノニハ、一服ノ藥ヲ起死回生ノヤウ  
ナモノガアラウトモ存ゼラレマセヌ、  
色々ノ實際問題ヲ、色々ノ法則ノ力ヲ  
併セテヤツテ行キマス内ニ建直スヨ  
リ已ムヲ得ナイト、斯様ニ存ジマス  
○加藤(勲)委員 私ノ御尋ネシマシタ  
日本ノ生産復興ニ關スル問題ニ付テ  
ハ、ソレヲ困難ナラシメテ居ル原因ノ  
所在ニ付テハ大體御同感ノ意ヲ表サレ  
マシタガ、ドウスレバ其ノ原因ヲ除却  
スルコトガ出來ルカト云フコトニ付テ  
ハ、或ルモノニ付テハ御説明ガアリ、  
或ルモノニ付テハ御説明ガアリマセヌ  
デシタ、私共モ原因ヲ指摘スル以上  
ハ、當然如何ニスレバソレ等ノ原因ヲ  
除却スルコトガ出來ルカト云フコトニ  
付テハ一個ノ見解ヲ持ツテ居リマスガ、  
ソレハ私共ノ意見ニナリマスカヲ止メ  
テ置キマス

次ニ御尋ネシタイコトハ、日本經濟  
ノ再建ニ付キマシテ、是ハ好ムト好マ  
ザルニ拘ラズ、嚴密ナル生産消費ノ均  
衡ニ基テ計畫經濟ヲテケレバナラヌト云  
フコトハ、何人ト雖モ承認セザルヲ得ナ  
イ點ヲ思ヒマス、現ニ吉田内閣ニ於キ  
マシテモ、經濟安定本部ガ構成サレヨ  
ウトシテ、現在資本家階級ニ於テノ  
有力ナ選手デアル緒サシガ總務長官ニ  
オナリニナリマシタガ、最初安定本部ノ  
總務長官ヲ吉田内閣ガ御求メニナラウ  
トシタ時ハ、緒サシハ凡ソ對蹠的ナ  
立場ニアル社會主義學者ノ集團デアリ  
マシタ、其ノ中カニ適任者ヲ御求メニナ  
ラウトシタノデアリマス、是ハ吉田内  
閣ガ社會主義的政策ヲ實現サレヨウト  
スル爲ニ、或ハ計畫サレヨウトスル爲  
ニ御求メニナツタノカ、或ハ無意識ノ  
間ニ、今日サウシタ風潮デナケレバ人

心ヲ把握シ、或ハ安定セシメルコトガ出  
來ヌト御考ヘニナツタ結果カ、ソレハ  
私共ニハ能ク分リマセヌガ何レニシマ  
シテモ社會主義學者ノ「グループ」カラ  
經濟安定本部總務長官ヲ總務長官ノ地  
位ヲ御求メニナラウトシタ點ニ、私共  
カラ見レバ純粹ニ資本家政府ダト思ッ  
テ居リマス吉田内閣ニ於テスラモ、尙  
且ツ此ノヤウナ「ゼスチュア」ト云フ  
カ、態度ト云フカ、或ハ眞劍ト云フカ、  
鬼ノ角御執リニナラナケレバナラナカ  
ツタト云フ所ニ、如何ニ今日社會主義  
的政策、或ハ之ヲ社會主義ト云フ言葉  
ヲ嫌ツテ、社會政策ト云フ言葉ダケヲ  
御用ヒニナル方モアルカト存ジマス  
ガ、サウ云フ用語ノ問題ハ大シタコト  
デナイ、何レニシテモ具體的ナ計畫の  
經濟、是ガ必要デアルガ故ニ、經濟安  
定本部モ、隨テ其ノ具體的計畫經濟  
御立テニナル中心デアルト思ヒマス  
ガ、サウ云フ點カラ見マシテモ私ハ少  
クトモ、生産ニ當ル重要ナル生産手段  
ト云フモノハ、ドウシテモ社會主義的  
ナ立場ニ立タナケレバ、本當ノ生産全  
般ノ復興ハ困難デナイカト思フノデア  
リマス、サウ云フ點カラ私ハ少クトモ  
重要ナ基本産業ノ或ル種ノモノニ付テ  
ハ、第一ニ利潤追求ノ觀念ヲ排スルコ  
ト、如何ニ社會的ニ必要デアリマシテ  
モ——先石炭ノ例ヲ御舉ゲニナリ、  
他ニモ石炭ノ問題ハ屢々取上ラレテ  
居リマスガ、石炭ノヤウナ重要基本産  
業ガ、資本家ノ金ヲ儲ケルト云フコト  
ヲ主眼トシテ經營サレテ居リマス以上  
ハ、金ガ儲カラヌ場合ニ資本家ニ、ソ  
レデモ仕事ヲヤレト云フ譯ニハ行カナ  
イ、勢ヒ現在見テ居リマスヤウナ、今  
年度ノ豫算ニ於キマシテモ、二十億以  
上ノ補助金ガ與ヘラレテ居ルト云フヤ

ウナ實情デアリマシテ、政府ノ補助金  
デ資本家ノ採算ガ辻褄ヲ合ハシテ居ル  
ト云フ狀態デアリマス、此ノ間大體大  
臣ノ説明ニ依リマスレバ、將來ハ此ノ  
補助金、助成金ノ問題ニ付テハ別途ニ  
考ヘルト云フコトデアリマシタガ、其  
ノ別途ノ内容ハ分リマセヌガ、若シ石  
炭生産ニ對スル補助金ガ何等カノ形ニ  
於テ打切ラレルト云フコトニヤリマス  
レバ、今日ノ經濟條件ノ下ニ於キマシ  
テハ、私ハ石炭ハ恐ラク生産ガ停頓シ  
テシマフニ相違ナイト思フデアリマ  
ス、勿論個々ノ炭礦ニ付テ見マスレ  
バ、優秀ニシテ近代ナ設備ヲ持ツタ  
モノモアルシマスカラ、一概ニ全部  
ガ全部赤字ニナルトバカリハ限ラヌデ  
アリマセウガ、サウ云フ個々ノ問題ハ  
別トシテ全體的ニ見レバ、ドウシテモ  
利益ノナイ所、將來ノ見透シナイ所  
ニ、今ノ資本主義經營ノ下ニ於テ、事業  
經營ヲ要請スルコトハ、國家ノ權力ヲ  
以テシテモ私ハ不可能ダト思ヒマス、  
然ラバ其ノ石炭ガ、日本ノ經濟復興、  
生産復興ニソナヤウナ調子デ宜イノ  
カト云フコトニナレバ、ソレハ絕對ニ  
許サレナイコトデアリマス、隨テドウ  
シテモ石炭ト云フモノガナクテハナラ  
ヌ、ナクテハナラヌガ利益ガ舉ラナケ  
レバ資本家ハ之ヲ營マナイ、ソコデ私  
ハ斯ウ云フ基本産業ハ、利潤ノ觀念ニ  
依ツテ經營サレルトデハナク、社會的  
生産ニ應ジテ生産ラヌハ、固ヨリ社會  
主義經濟、即チ國有社會化サレタ經營  
ニ置キマシテモ、平常時ニ於テハ其ノ  
事業自ガ自主的ニ、獨自ニ經營出來  
ルコトガ本旨デアリマスレドモ、  
併シ社會的必要ナル場合ニハ、例ヘ  
バドンナ損失ヲシテモ、ソレハ國家  
ガ負擔スルト云フ意味ニ於テ、必要度

ニ應ジル生産ガ圖ラレナケレバ、私ハ經  
濟全般ノ計畫ヲ立テルコトガ出來ナイ  
ト思ヒマス、是ハ獨リ石炭ニ付テバカ  
リデアリマセヌ、水力ニ付テモ同様ノ  
コトガ言ヘルト思ヒマス、其ノ他ノ生  
產財ノ生産ニ當ル其ノ原料トナルモノ  
ハサウデナケレバナラヌト思フノデア  
リマスガ、第一ニ今申シマスヤウニ  
利潤追求ノ觀念ヲ排シテ、社會的必要  
ニ基テ計畫的ナ生産ガ行ハレナケレバ  
ナラナイト思フト云フコト、ソレカ  
ラ二番目ニハ未利用ノ生産手段、是ハ  
工場設備ガアル、ソレカラ又炭礦ナン  
カニ於キマスレバ、未開發鐵礦ガア  
ル、是ハ現在試掘權ニ依ツテ、鐵業經  
者ニ所有サレテ居ル、今日ノヤウナ經  
濟條件ノ下ニ於キマシテ、恐ラク何處  
ノ炭礦ト雖モ、國家ノ現實ノ經濟上ノ  
保護ガナケレバ、未開發鐵礦ノ開發シ  
ヨウト云フヤウナ心掛ヲ持ツ炭礦會  
社ノ一ツモナイト思ヒマス、一方ニ於  
テハ石炭ハ足ラナイ、現在作業ヲ進行  
シツ、アル炭礦ハ中々利益ノ關係カラ  
出來ナイ、而モ將來石炭ガ相當量ヲ絶  
對ニ必要トスルト云フ場合ニ於キマシ  
テモ、未開發鐵礦ガ其ノ儘ニサレテ居  
ツタノデハドウニモナラナイ、斯ウ云  
フ未開發鐵礦ノ開發スルトカ、或ハ遊  
休設備ヲ社會的必要ニ應ジテ稼働セシ  
メルト云フコトハ、ドウシテモ私ハ國  
有社會化サレタ計畫性ノ下ニ行ハレナ  
ケレバ困難ダト思ヒマス、第三ハ現在  
アリマス中小工業ノ社會化デアリマ  
ス、日本ノ中小工業ガ日本産業ニ占ム  
ル比率ハ戰前若シクハ戰中ニ於テモ  
相當ノ比重ヲ持ツテ居ツタコトモ是レ  
亦常識トシテ何人ニモ知ラレテ居ル所  
デアリマス、商工省カラ御示シナリ

マシタ資料ニ依ツテモ、數字のニモ明  
白ニソレハ出テ居リマス、殊ニ財閥解  
體ニ依ツテ綜合投資資本ガナクナルト  
云フコトニナリマスレバ、先程商工大  
臣モ仰シヤツタヤウニ、重工業部面ヨ  
リモ纖維工業ガ今後ノ日本工業再建ノ  
中樞ニナラナケレバナラヌト云フ點カ  
見マシテ——勿論纖維工業ト雖モ大  
資本ノ大工場生産ニ依ルモノモ澤山ア  
リマスガ、併シ中小工場ノ持ツテ居ル  
比重ト云フモノハ相當大キイノデアリ  
マス、又是等中小工業ニハ得テシテ封  
建的ナ多クノ殘滓ヲ持ツテ居ルノデア  
リマス、斯ウ云フ封建的ナ殘滓ヲ一掃  
シ、此ノ小サイ一ツツノデ見レバ殆ど  
經濟單位トシテ問題ニナラヌヤウナ中  
小工業ヲ、一ツノ組合ニ組織セシメテ  
社會的ニ一經濟單位トスル、勿論此ノ  
委員會ニ併シサレマシタ協同組合法案  
ハサウ云フコトヲ狙ツテオイデニナル  
ト思ヒマス、何レ協同組合法案ガ審議  
サレル時ニ疑義ハ疑義トシテ御尋ネシ  
タイト思ヒマスガ、サウ云フ小サナ、  
而モ日本工業ニ重要ナ比重ヲ占メテ居  
ル是等ノ中小工業、一定ノ條件ノ下  
ニ經濟單位トシテ社會化シテ行ク、斯  
ウ云フコトモ亦明カニ計畫性ニ基カナ  
ケレバ中々難カシイト思ヒマス、ソコ  
デ斯ウ云フ點ヲ考ヘテ見マシテモ、ソ  
レカラ又其ノ次ニハ、今ノ儘デ經濟再  
建ガ斯ウ云フ重要基本産業ニモ圖ラレ  
ルコトニナルトシマスレバ、勢ヒ是等  
ニ對スル投資ノ關係ガ商業資本のニナ  
リテ、生産資本家ヲ苦シメルコトニナ  
ル危險ガ多分ニアルト私ハ思フノデ  
ス、此ノ點ニ付テハ意見ノ相違ニナル  
トイケマセヌカラ、私ハ意見ニハ互ヲ  
條件ニ付テ見マシテモ、又先程申上ゲ

マシタヤウナ國內ニ於ケル生産再建ノ障礙トナル技術的ナ、或ハ社會的ナ原因ヲ排除シテ行クニ付テモ、私ハドウシテモ社會主義的計畫經濟制ニ基ク生産形態ヲ採ラレナクバナラヌト思ヒマス、モウ一ツ此ノ點ニ付テ特ニ私共ノ立場カラ、再建ニ付テ非常ナ大キナ疑義ヲ持ツテ居リマスコトハ、近頃外國資本ヲ容易ニ導入シヨウト云フ意見ガ聞カサレルノデアリマス、モウ既ニ或ル場合ニハ何々會社ニ於テ又何々事業ニ於テドウダト云フヤウナ、半バ具體性ヲ持ツコデ外國資本ノ問題デアリマス、ソコデ外國資本ノ問題デアリマス、勿論原料ヤ材料ヲ海外カラ輸入シナケレバナラヌ、併シ日本ニハ之ニ對スル適當ノ反對給付シテノ見返リ物資ガ乏シイト云フ場合ニハ、勢ヒ原料、材料ノ形ニ於テ外國資本ノ援助ヲ受ケナケレバナリマセヌガ、サウ云フ意味ニ於テ私ハ外國資本ガ日本生産ノ復興ニ入レラレルト云フコトハ當然ダト思ヒマス、又或ル程度ハ已ムヲ得ヌコトダト思ヒマス、併シ若シサウデナクジテ唯單ニ外國資本ヲ日本ノ産業ニ導入スレバ、殊ニ先般來新聞ニ報道サレマシタヤウナ所謂彈丸列車ヲ外國資本ニ依ツテ建設シヨウ、勿論是モ觀方ニ依レバ必ズシモ金ガ來ルノデハナイ、「レール」ナリ機關車ナリ、サウ云フモノニ依ツテ輸入サレルコトニナルデアリマセヌガ、斯ウ云フ彈丸列車ノ資本ヲ若シ輸入シヨウト云フ考ヘ方デ、日本經濟ノ再建ヲ外國資本ノ手ニ依存スルコトニナレバ、私ハ日本經濟ノ再建ハ全然別方面ニ行ツテシマフハ、何モ多分ニアルト思ヒマス、私共ハ飽ノマデモ小サクナレバ小サクナツタ生産ヲ中心トシテ、日本獨自ノ復興ヲ

圖ラレバナラナイ、若シ日本ガ外國資本ヲ容易ニ導入スルコトニ依ツテ、半殖民地的ナ形態ニナルト云フコトニナレバ、私ハ日本ノ經濟復興ハ結局外國資本ヲ受入レヨウトスル中間の支那ノ言葉デ云ヘバ買辦資本的ト云フカ、高利貸資本ノ形態ニ變ツテ、眞面目ナ生産ノ復興ガ非常ニ困難デアル何デモ外國ノ商品ヲ賣捌ク市場ニ轉家サレル、又外國ニ對スル金利支拂ノ爲ニ、日本ノ生産ハ結局外國資本ノ利潤ノ爲ニ生産スルト云フコトニナツテシマフ危險ガ多分ニアルト思フ、況ンヤ鐵道デアルトカ、土地デアルトカ云フモノニ、外國資本ガ導入サレルト云フコトハ、私ハ難テハ其ノ國ノ政治的支配權ニマデ干涉ヲ受ケルコトニナル虞レガ、外國ノ今マデノ殖民地ニ於ケル實情カラ、容易ニ想像出來ルノデアリマス、サウ云フ點カラ等シク外國資本ノ力ヲ借りナケレバナラヌト云フ、言葉ノ形ノ上ニ於テハ同ジデアリマスガ、内容ニ於テハ非常ニ違フト云フ點エ付テ、政府ハドウヤウニ御考ヘニナツテ居リマスカ、一應其ノ點ニ付テ御伺ヒシタイト存ジマス

○勝國務大臣 御尋ネノ點ニ私カラ御答ヘスルノガ不適當ナ問題モアリマスノデ、私ガ自分ノ安定本部ニ關係アルト思フ點ダケニ付テ御答ヘ申上ゲマス、第一番ノ點ハ是カラノ計畫經濟ニ、殊ニ重要産業ニ付テハ利潤追求ト云フ觀念ヲ入レテハイカス、國營銀行ノガ本筋デハナイカト云フ御意見ハ、ヤウニ拜聴致シタノデアリマスガ、安定本部ガ是カラ經濟ノ再建ヲ圖ル際ニハ、何時モ申上ゲデ居リマスガ、私共ハ唯一ツノ理念ヤ「イデオロギー」ダケデモノヲ推論シタクナイ、現在ノ日本

ガ、ドウナルノダ、今日日本ハ別ニ完全ナ、社會主義ノ完成サレタ國家ノ形態デモ、産業ノ形態デモアリマセヌ、又共產主義ノ形ノ今ノ經濟組織デモアリマセヌ、ヤハリ何ヲ申シマシテモ所謂資本主義ト稱スルモノガ、社會政策的カ社會主義的カニ修正サレタ形ダト云フコトガ、現在ノ意味ヲ込メデアリマス、之ニ出渡シシナケレバナラヌコトガ、ツデアリマス、モウ一ツハ現在ノ經濟再建ニ何ガ必要カ、從前、先程御指摘ニナツタ、權力ニ依ル戰爭中ノ計畫經濟之ヲ批評スレバ、極度ノ國家社會主義ト申シテモ宜イダラウト思ヒマス、是デ何ガ誤ラシタカト云フニ、是ハ此ノ前或ル質問ニ申上ゲタノデアリマスガ、人間性ヲ缺イテ居ル點ガ從來ノ統制經濟ノ誤リデアル、利潤追求ト云フ色々仰シヤイマスガ、人ガ自分ノ生活ヲ營ムト云フ目的ノ爲ニ正當ナ利潤ヲ得ル、是ハ當然ノコトデアリマス、子孫ノ爲ニモノヲ考ヘル、限度ハアリマスガ、是モ當然ノコトデアリマス、人間性ヲ捨テナクテ、神樣デアルカノヤウナ氣持ガ總テノ人ニ持ツテ貰ヘルト思ツテ、其ノ基礎ノ上ニヤツタト云フコトガ、從前ノ利潤追求ノ排斥ト云フヤウナ「スローガン」デ、何カシラ一ツノ窮屈ナ、而モ實態ニ於テハ、大ニ滅私奉公ノヤウナ顔ヲシテ居リナガラ、内心ハ非常ナ利潤追求ト云フコトヲヤツテ居ル、サウ云フ觀念論ガ一番誤ツテ居ルト思フ、私ハ何時デモ申スノデアリマスガ、今日日本ハモウ瀕死ノ病人デ死ニサウナノデアアル、耳許ニ來テ斯ウ云フ藥ガ良イト、幾ラ藥ノ講義ヲシテモ、又治療法ノ講義ヲシテモ、病理學ノ講義ヲシテモ、何ニモナラナイト思フ、今日日本ハ漢方醫デモ宜イ、

西洋ノ醫術デモ宜イ、本當ニ日本ノ經濟ヲ建直セル藥ガアルナラバ、私ハ漢方醫デモ西洋醫デモ宜イト思フ、シコデ日本ノヤリタイノハ、觀念ニハ囚ハレタクナイ、假ニ共產主義ト言ハレテ居ル説デモ、好イモノガアツタラ探シテ行ツタラ宜イデバナイカ、デスカラソコデ唯利潤追求ガイカヌト云フ原則カラ出テ、ソレデ國營ガ宜イト云フノニモ、選カニ私共ハ贊同シ難イ、國營ト云フコトハ非常ニ宜イコトノヤウデアリマスケレドモ、其ノ際ニハ此ノ前ニ申シマシタ官更ガヤルト云フコトガ、ドウシテモ必然的ナ條件ナノデ、官營ガ如何ニ非能率デアルカト云フコトハモウ實例ヲ示シテ居ルノデ、私共ハ實際ニ付テ觀念ヲ離ラタイ、今ノ事業ニ必要ナノハ、一面物資生産スルノガ必要ナノデアル、實ヲ言ヘバ生産スルニハ結局數字ノ公式デ言ヘバ、終ヒ結果ガ多イノガ宜イ、詰リ分子ヲ大キクスルカ、分母ヲ大キクスルカト云フコトヲ答ヘ、「イクオール」ノ次ノ答ヘノ數字ヲ大キクスルニハ、分子ヲ大キクスルカ、分母ヲ大キクスルカト云フ問題デ、私共ハ今分配ノ問題ヲ考ヘ、構成ノ問題ヲ考ヘルヨリモ、先ツ生産ヲ少シデモ殖ヤスト云フ方面ヲ考ヘル方ガ宜イデバナイカ、ソレニハ生産意欲ヲ正シク指導スルノガ宜イデハナイカ、斯ウ考ヘマシテ、私ハ安定本部ノ施策ニハ一ツノ或ル狹マツタ理論デナク、本當ニ今日日本ハ死ニ掛ケタ病人ナノデスカラ、耳許デ唯色々ナ理論ヲ言ツタツテ病氣ハ治ラナイノデ、本當ニ效テ藥ヲ飲マセルヤウニ之ヲヤツテ行キタイ、隨テ國營ガ宜イカ惡イカト云フ問題ハ觀念的ニハ決メズニ、一ノ其ノ仕事ニ付テ、本當ニソレガ直

グ實行出來ルモノナラバヤツテモ宜イデハナイカト思フノデアリマスガ、私ハサウ云フヤウナ氣持デ、安定本部ハ物ノ研究ヲシテ参リタイ、斯ウ存ジテ居リマス

次ニ未利用資源ノ御説、私モ御同感ノコトガ多イノデアリマスガ、是ハ一寸略サセテ戴キマス

次ニ中小工業ノ問題デアリマスガ、中小工業ノ社會化ト云フコトガ、私ニハマダ能ク分リマセヌケレドモ、少クトモ私共經濟安定本部ガ、今經濟ノ民主化ト云フ問題ヲ一ツノ課題トシテ取上ゲツ、アリマス、此ノ中ニハ財閥ノ解體ニ付テ後ノ株式ノ問題ナドモアリマスケレドモ、世間デハ今ノ御説ノヤウニ、中小工業ト云フモノヲ、本當ニ日本ノ中堅産業トシテ成立テテ行ク、是ハ日本ノ重大ナ問題ダト思ヒマス、是等ニ付テハ餘リ長クナリマスカラ申上ゲルコトヲ略シマスルガ、本當ニ私共ガ研究シテ參ラナケレバナラヌ點デアラウト存ジマス

次ノ金融資本ガ是等ノ經濟形態ニ、又從前ノヤウナ産業家ヲ壓倒スルヤウナ力ヲ持ツテハナラヌト云フコト、私ハ多ク御同感デアリマス

次ニ外資輸入ノ問題デアリマスガ、是モ色々考ヘヤウモゴザイマスケレドモ、日本ガ立直リマスノニ獨力デ出來ナイト云フコトハ、モウ申上ゲルマデ老ナイコトデアリマシテ、是ガ自由「物ノ買ヘルヤウナ資金ノ形態デ、外カラ「クレデット」ヲ設定スルカ、金ヲ借りルカト云フヤウナ問題ト、物資ヲ入レバ運フトモ言ヘ、似タヤウナコトモアルノデアリマスガ、如何ナル形態デ日本ガ外國ノ經濟ノ力ヲ借り得ルカ

ト云フコトモ、是モ一ツノ公式的ニ考ヘテ決メタル云フコトハ困難デ、ヤハリ是カラノ經濟ノ動キ、殊ニ日本ガドウ云フ風ニ世界經濟ノ貿易ノ中ニ、オ仲間入ガ出來ルカト云フコトニ考ヘテ考ヘテ行クベキ問題カト、斯様ニ存ゼラレマス、御所論ノ多クノ點ニ付キマシテハ、御同感ノ所モ多イト思ヒマスケレドモ、間々全ク考ヘノ違フ所モアリマス、率直ニ申上ゲマシタ

○加藤勸業員 只今ノ御答ヘドウシテモ「ポイント」ガ合ハヌ、是ハ仕方ガナイ、立場ノ相違デスカラ仕方ガアリマセヌガ、併シ社會主義ト云フモノニ對スル世間一般ノ、今日稍且持ツテ居ラレル誤解ヲ其ノ儘、隨サンモ御持チニナツテ居ルト云フコトハ、少クモ經濟安定本部ノ中心トシテ、今後新シキ日本經濟ノ計畫ヲ立テラレヨウトスル時、其ノ偏見ハ私ハ捨テテ觀キタイト思ヒマス私共ノ立場カラ現實ノ總テノ缺陷ヲ見マス場合ニ、勢ヒ是レ是レノ方法ニ依ルノ外ニハ途ガナイノデハナイカト、社會主義ノ立場ニ立テバ、恰モ總テノモノヲ人間性ヲ失ハシメタ、或ル場合ニハ神聖化シタモノニシテシマフ、ソシテ口デ言ウテ居ルコトト實際ニ利潤追求ヲシテ居ルコトトハ違フト云フヤウナコトト、ソレカラモウツハ、國營ニナレバ勢ヒ官營經營ニナル、斯リ云フ點ガ「誤解」シテオイデニナリマス中心ノヤウデアリマシガ、私共ノ唱フル重要産業ノ國有ハ、單ナル國有ニシテ、今政府ガ經營シテ居リマスヤウナ、或ハ鐵道デアルトカ、或ハ專賣事業デアルトカ、或ハ通信事業デアルトカ云フヤウナ、所謂官僚經營ニ任サツト云フノデハナイノデス、今日ノ鐵道ニシマシテモ、通信機

關ノ國營ニシテモ、專賣事業ノ國營ニシテモ、決シテ是ハ本當ノ意味ニ於テノ國有社會化ノ精神ニ於テ行ハレテ居ルノデナク、偶々資本ガ個人資本デアラカ國家資本デアアルカト云フデケノ相違デ、依然トシテ其ノ經營ノ主眼ハ營利主義、詰リ資本主義ノ觀念ニ基イテ行ハレテ居ルノデアリマス、私共ハ決シテ政府ノ觀念論デ、社會主義ガドウトカ、資本主義ガドウトカ、サウ云フ觀念論デ爭フナント云フ考ヘハ今モ持ツテ居リマセヌ、唯現實ノ計畫ヲ立テルノニドノ方式ヲ選バカ、其ノ選バレタル形ガ果シテ是ガ社會主義的ノモノデアアルカ、資本主義的ノモノデアアルカト云フ判斷ヲスルニ過ギナイ、サウ云フ場合ニ今ノ形カラ行キマスレバ、ドウ云フ形ガ形成サレタニシテモ、其ノ根幹ニ流ル、モノハ利潤追求ノ觀念デア

ル、勿論私共社會黨ト雖モ全部ノ生産ヲ——コ、マデ極端ナ誤解ナ今日デハ餘程ナクナツタヤウデアリマスガ、一部ニ尙ホ極端ナ誤解ヲ持ツテ居ル人カアル、社會主義ト云ヘバ、何カ持ツテ居ルモノハ全部持ツテ行カレシマツテ、何モカモ劃一的ニ平等のニヤラレテシマフノデハナイカ、斯ウ云フ誤解ヲ持ツテ居ラレル人ガアリマスガ、サウ云フヤウナ素朴ナ誤解ニ對シテハ別トシマシテ、少クモ社會主義トハ何カシラ生産ニ對スル人ノ創意ヲ失ハシメルト云フヤウナ、大キナ誤解ガアルド私ハ思ヒマスガ、サウ云フ考ヘ方ヲ持ツテ居ル人ガ相當ニアルト思フノデス、私共カラ言ハシムルナラバ、計畫的ナ經濟ニ基イテ、其ノ計畫ノ範圍内ニ於テ、自由ニ個人ノ創意ヲ發揮セシメルト云フ點ニ於テハ、今日ノヤウニ一部ニ如何ニ優秀ナル發明意欲ガアリ

マシテモ、經濟ト云フ觀念ノ爲ニ抑制サレテ、其ノ個人ノ發明創意ト云フモノガ發現出來ナイ又事業經營ニ付テモ同様デアリマス、サウ云フ場合ニ是等ノ個人ノ創意ヲ、自由ニ發揚セシメルト云フコトガ、社會主義經濟ノ本旨デアルト云フコトヲ篤ト此ノ際御承認願ヒタイノデアリマス、サウ云フ意味カラ私共ノ申上ゲルコトハ、決シテソノナ觀念論ヲ申上ゲテ居ルノデハナク、先程モ申シマスルヤウニ兎ニ角實際問題トシテ、此ノ政府ガ社會主義的ナ方針ヲ選バレルカ、選バレヌカハ別トシテ、兎ニ角社會主義ノ經濟意見ヲ持ツタ人ヲ持ツテ來ヨウトサレタ其ノ一點ヲ見マシテモ、私ハサウ云フコトガ人ノ間ニ浸透シテ居ル、今マデノヤウナ觀念ニ基キ形デハ、ソレハ資本主義的デアアルカ「ファッショ」的デアアルカハ姑ク別ニシマシテ、兎ニ角モサウ云フ觀念ニ基キ形態ニ於テハ、ソレガ飽和點ニ達シテ居ル、或ル一定ノ限度ニ達シテ居ル、ソコカラハ新シイモノガ生レテ來ナケレバナラヌト、是ハ先程膳

サンハ、修正サレタ社會政策デアアルカ、資本主義デアアルカ、サウ云フ言葉ハ間ハスト仰シヤイマシタガ、私ハ其ノ、ドウシテモ今マデノ形ガ行ケナクナツタト云フ所ニ、次ノ時代ヘノ移リ變リノ變化カアルト思フノデアリマシ、其ノ變化ヲ稱シテ「我々ハ今勿論今日ノ日本ガ社會主義ノ國タナントハ夢ニモ思フテ居リマセヌ、若シ日本ガ社會主義ノ國デアラナラバ、我々ハ何モ議論スルコトガナイノデアリマシ、サウデナイガ故ニ新日本ノ建設ニ付テ、ドウ云フ方策ガ一番正シク日本ノ國ヲ成長セシメルカ、此ノ一點ニ付テ色々考ヘラレルガ故ニ、我々ハ之ヲ

ヤルニハ此ノ考ヘデナケレバイカヌト云フコトカラ、社會主義ノ意見ヲ申述ベル譯デアリマス、サウ云フ點カラ見マシテ、隨サンノ御答辯ハ私共甚ダ意ニ滿タヌノデアリマスケレドモ、是カラ先ハ意見ニナリマスカラ是モ遠慮シテ置キマス、最早時間モアリマセヌカラ、先程申シマシタヤウニ賛否ノ意見ハ何レ此ノ質疑ガ終リマシタ後ニ、各黨決メラレルト存ジマスルカラ其ノ際ニ譲リマスガ、唯此ノ機會ニ一ツ私共ガドウ云フ考ヘノ下ニ此ノヤウナ質問ヲ發シタカ、此ノ點ヲ明カニ置キタイト思ヒマス、ソレハ一口ニ申シマスレバ、社會主義的ナ經濟再建ニ付テ政府ハドウ思ハレルカ、斯ウ云フ質問デアリマスルガ、是ハ今ノ隨サンノ御答ヘデ略々知ルコトガ出來マシタカラ、強ヒテ御答ヘヲ求メヨウトハ思ヒマセヌ、唯私共トシテハ、第一ニ社會主義的經濟再建ニ對シテ、反對論トシテ我々ガ耳ニ聞ケル所ノモノヲ指摘シテ、ソレガ如何ニ誤解ニ基キモノデアアルカト云フコトヲ明カニシタイ

第一ハ社會主義ニ對スル誤解ガ依然トシテ殘ツテ居ルコトハ今申上ゲタ通りデス、マダ都會地ニ於ケマシテハソレ程デアリマセヌガ、農村ニ行ク程相當強ニ誤解ガ殘ツテ居リマス、是ハ社會主義ニ對スル正シイ理解ガ缺ケテ居ルト云フ點ガバカリデアリマセヌ、御承知ノ通り日本ニ社會主義運動ガ起リマシテ以來、古ク言ヘバ明治二十年以前、新シイ形ニ於ケマシテモ大正年代カラデアリマスガ、其ノ間、時ノ政權ヲ中心トシタ支配者ハ、如何ニ社會主義ト云フモノヲ一般大衆ニ誤解セシメルヤウニ宣傳是レ努メラレタカト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、又

時ニハ權力ニ依ツテ彈壓サレタコトモ御承知ノ通りデアリマス、サウ云フコトカラ社會主義ト言ヘバ何カ恐シイモノデアルト云フヤウナ觀念ガ、強ク廣ク植付ケラレタコトモ御承知ノ通りデアリマス、所ガ漸ク今度戰爭ニ負ケタコトニ依ツテ、初メテ成程社會主義者ガ言ツテ居ツタコトハ本當ダワイ、斯ウ云フコトガ相當廣ク浸透シテ來タガ、是ハ今度ノ選舉ニ於ケマシテ社會黨ガ社會主義ヲ眞向ニ振擧シテ、現在ノ勢力ヲ占メタコトニ依ツテ明カデア

ル、勿論國民ノ大多數ガサウデアルトハ申シマセヌガ、過去ニ比ベタナラバ如何ニ多ク、廣ク、正シク理解サレルヤウニナツタカト云フコトガ證明サレマスガ、尙ホ強ク誤解ガ殘ツテ居ル、ダカラ其ノ誤解ガ不知不識ノ間ニ、政治家ノ間ニモ政府ノ間ニモ染ツテ、尙ホ經濟政策ニ付テ、社會主義經濟政策ヲ唱ヘルト、何カシラ異端者デアアルカノ如ク、何カ別ノ觀念ニ依ツテ觀念ヲ弄ブモノデアアルガ如クニ、錯亂ニ依ツテ色々ト議論ガ派生のニ生レテ來ルト云フコトハ、社會主義トシテハ、又私共トシテハ本當ニ宣傳ガ足リナイト云フ點カラ、私共自身反省モシ、又今後宣傳ニ努メケレバナラヌト思ヒマス、サウ云フ點ガ一ツデアリマス

第二ニハ社會主義者ハ現在ノ經濟機

構ニ對シテハ批判ヲ討論ハスルケレドモ、建設的ナ構想ヲ持ツテ居ラス、斯ウ云フ意見ヲ屢々聞クノデアリマス、御承知ノ通り、社會主義ノ意見ハ現在ノ資本主義制度其ノモノノ批判カラ生レテ來タノデアリマス、隨ツテ我々ハ決シテ木ニ竹ヲ接イダヤウニ、資本主義經濟カラ社會主義經濟ガ一足跳ビニ出來ル、又違ツタ性質ノモノガ生レテ

來ルト、ソシテ夢見タヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデハナイノデアリマシテ、當然ハ資本主義ト云フモノガ封建制度ノ後ヲ引繼イデ、歴史の一定ノ役割ヲチヤント果シテ居ル、此ノ資本主義ノ發展ハ國々ニ依ツテ多少ノ條件ガ違ヒマスガ、資本主義ガ其ノ國ニ於テ其ノ人口ヲ十分ニ養フコトガ出來レバ、マダ資本主義ハ發展ノ餘地ガアルシ、存續ノ意義ガアル、併シ段々抑詰ツテ、其ノ形デハドウシテモ一定ノ人口ヲ養フテ行クコトガ出來ナイ、其ノ國ノ内部矛盾ガ擴大シテ來テドウニモナラヌ、社會秩序ハ維持出來ヌト云フコトニナレバ、勢ヒ好ムト好マザルトニ拘ラズ次ノ時代ニ移リナケレバナラヌ、サウ云フコトヲ綿密ニ科學的ニ檢討シタノガ社會主義ノ意見デアリマシテ、隨ツテ木ニ竹ヲ接イダヤウニ、忽然トシテ社會主義經濟形態ハ生レルノデナク、資本主義ノ地盤ノ上ニ社會主義經濟ノ形ガ生レテ來ルノデアリマスカラ、此ノ點ニ對スル批判モ、唯批判ダケデナク當然其ノ批判ハ、即チ總テシテ建設ト同意義ノモノデアリ、私共ハ何時デモ現在ノ資本主義經濟機構ノ中カラ社會主義經濟機構ヲ建設スル建設的意圖ヲ持ツテ居リマス、併シ尙ホサウ云フ非常ニ大キナ誤解ト言ヒマスカ、非難ガアリマス、ソレモ我々トシテハ非常ニ残念デアリマスケレドモ、尙ホ現在ノ所ハ已ムヲ得ナイ

第三番ニハ、社會主義ノ基礎勢力デアリ労働者階級ガ全體トシテマダ新シイ經濟組織ヲ擔當スルダケノ訓練ヲ經テ居ナイ、又總テノ點ニ於テ未成熟デアリ、斯ウ云フ非難デアリマス、是ハ總テ此ノ非難ハ我々モ受ケナケレバナリマセヌガ、之ニ付テハ色々ナ原因ガアリマセウ、今日マダ實際労働者ガ經營ニ參畫スルコト云フヤウナコトハ、戰爭前ニハ夢ニモ考ヘラレナカッタト云アリマス、辛ウジテ或ハ工場委員會トカ、或ハ團體契約トカ云フコトニ依ツテ、人員ノ一部分ニ關與スル者ニアリマシテモ、經營ノ面ニ、人事ノ面ニ、全面的ニ労働者ガ「タッチ」スルコト云フヤウナコトハ夢ニモ考ヘラレナカッタ、全然一箇ノ賃金奴隷トシテ、労働者商品トシテ扱ハレテ來タ、其ノ商品ノ賣取リトシテシカ存在シナカッタ労働者ニ其ノ經驗ガナイト云フコト、總テノ點ガ未成熟デアルト云フ非難ガ浴セラレルノハ、一面カラ言ヘバ已ムヲ得ナイコトデアリマスガ、一面カラ言ヘバサウ云フ非難ヲ浴セル人ノレ自體ガ、労働者ヲシテ未成熟、不訓練ノ狀態ニ置イテオイトデアリマス、今後ハ此ノ民主化ノ時代ニ適應スルガ如ク、本當ニ個人ノ人格ヲ基礎トシテ、お互ニ相手ノ立場ヲ理解シテ尊重シツ、労働者ニ於テモ經濟機構ニ關與シテ、其ノ能力ヲ持ツテ居ルコトガ實際ニ示サレルト思フノデアリマスガ、全體トシテ言ハレタ場合ニ、尙ホ訓練ガ足ラナイ、未成熟デアルト云フコトハ我々ハ甘シジテ其ノ非難ハ受ケマス、同時に我々ハバカラト云フツレニ甘シジテ居ルノデハナク、今申上ガタヤウニ當然我々ハ、努メテ何時デモ經濟機構ヲ擔當スルコトガ出來ルヤウニ努メタイト思フノデアリマス、大體サウ云フ點ニ於テ、尙ホ幾シカノ點ニ付テ御質問致シタイシ、ソレカラ條文ノ具體的ナ點ニ付テモ御尋ネシタイ何箇所カヲ指摘シテ置キマシタガ、時間モアリマセヌシ、既ニ他ノ御方モ御聽キニナルコトト存ジマスノデ、私

ハ大體此ノヤウニ私ノ疑義ヲ申上ゲマシテ、是デ私ノ質問ヲ打切りタイト思ヒマス

○竹田委員長 諸國務大臣ニ御相談致シマスガ、川崎秀二君、加藤鐵造君外マダ三、四名アリマス、アナタハ午後何カ御差支ヘノヤウデアリマスガ、全部アナタヘノ御要求ガアリマスシ、大分委員諸君モ御勉強デゴザイマスカラ、一時四十分カラ開イテ、二時間デ濟ムト思ヒマスガ、御臨席願ヘマセウカ

○國務大臣 一寸已ムヲ得ナイ用事ガアリマスノデ、二時位カラ御願ヒ出來マスマイカ

○竹田委員長 承知致シマシタ、ソレデハ二時カラ開クコトニ致シマシテ、暫時休憩致シマス

午後一時一分休憩

午後二時五分開議

○竹田委員長 會議ヲ開キマス——井田友平君

○井田委員 我ハ吉田政府委員ニ一寸伺ヒタイノデスカ、此ノ頂戴シマシタ書類ノ中ニ、統制ノ枠ニ入レテ統制シタイト云フ物ノ表ガアリマス、私ハ便宜上資源工業ト製品工業トニ分ケテ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、此ノ資源工業ノ方ニハ大體重要ナモノガ含マレテ居ルヤウデ、製品工業ノ方ニハ日用品ガ極少數列記シテアルヤウデスカ、是デ統制シヨウト云フ御積リカ、或ハ是ハ唯單ニ斯ウ書イダゲケデ、マダ此ノ外ニアルノデスカ、之ヲ一寸御伺ヒシマス

○吉田(博)政府委員 此ノ日用品ノ關係ノ品物ノ方ガ少クテ、基礎的ナ方面ノ品物ヲ澤山舉ゲテ居リマスノハ御話ノ通りデアリマス、是ハ此ノ需給調整

ノ適用ヲ致シマシテ、法規ノ裏付ニ依ツテ需給調整ヲヤツテ行カウト思ヒマスル品物ヲ、茲ニ舉ゲタ譯デゴザイマス、主トシテ先ヅ原材料ノ方ニ強力ナル統制ヲヤツテ行カウト云フ意味デゴザイマシテ、加工致シマス所ノ日用品工業等ニ於キマシテハ、最小限ノモノヲ此ノ法規ノ適用ノ下ニ作ツテ行ク、ソレ以外ノモノハ原材料ノ配給ハスルケレドモ、大體製造ニ付テハ自治統制ノ各組合ト云フモノガゴザイマスノデ、其ノ組合ノ自治統制ニ之ヲ御願ヒスル、斯ウ云フ建前デ此ノ品目ノ表カラハ澤山ノモノガ落テテ居ル譯デゴザイマス

○井田委員 其ノ點ハ分リマシタ、スルト大體此處ニ舉ゲテ居ルモノデケハ強力ニ統制シテ、後ハ自治統制ニ任セル、斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○吉田(博)政府委員 左様デゴザイマス、若シ其ノ統制ガ自治統制デ不十分デアル場合ニハ、此ノ統制ノ中ニ改メテ採リ入レルト云フ譯デゴザイマス

○井田委員 分リマシタ、ソレカラ配給ノ表ノ一番下ニ入ツテ居ル配給協議會ト云フモノガゴザイマスガ、是ハドウ云フ組織デ御作リニナルノデスカ、眞中ノ段ニアル會社ニ隸屬サセル協議會デスカ、或ハ末端ノ配給ヲ受ケル所ノ組合ト云フヤウナモノニ隸屬サセルノデスカ

○吉田(博)政府委員 配給ノヤリ方ニ付キマシテ、二色考ヘテ居リマス、一ツハ統制會社、從來ハ統制會社ト申シマシタガ、最近ハ之ヲ普通ノ株式會社ニ組織更テ致シテ居リマスガ、サウ云フ會社ニ一手買取ヲ致シマシテ、サウシテソレヲ又一手ニ販賣スル斯ウ云フ配給ノ機構ノヤリ方ヲ考ヘテ居ルノ

ガ一ツデゴザイマス、其ノ次ノ配給ノ方法ト致シマシテ、配給協議會ト云フ形ヲ取ツテ居ルモノガアルノデゴザイマス、配給協議會ノ方ハ、是ハ色々物ニ依ツテ違ヒマス譯デアリマスガ、常ノ場合ハサウ云フ品物ヲ生産スル方ヲ勿論レマシマスシ、其ノ外ニ配給關係ノ業者、又物ニ依ツテハ消費者モ入レマシテ、一ツノ所謂協議會ヲ作リマシテ、ソコデ其ノ品物ヲ何處ニ幾ラ廻ハスカト云フ配給ノ制當ト申シマスカ、ドノ工場ノ製品ヲドノ消費工場ニ流レ方ヲ指圖スル譯デアリマス

○井田委員 サウスルト結局指導ト云フコトハ、管理役デモドツチデモ宜イノデアリマスガ、配給協議會ノ世話役ト云フモノハ主管者デアルノデスカ、ドウ云フ方面デアルノデスカ

○吉田(博)政府委員 先程説明ガ少シ足リマセヌデシタノデ補ツテ置キマス、第二條ニ於キマス産業團體、是ハ各同業者ノ團體デゴザイマスガ、是ハ其ノ團體ノ所屬ノ會員ニ企業別ノ割當ヲスル譯デゴザイマス、其ノ割當方決マリマス、一方配給ノ方ノ團體、物ガ實際流レテ參リマス方ノ團體ニ於キマシテハ、其ノ割當ニ基キマシテ、例ヘバ「セメント」「ナタ」「セメント」ノ例ヲ取リマスレバ、或ル機械ナラ機械ノ産業團體ヘ「セメント」ノ割當ヲ致シマス、例ヘバ「鉄」ヘ「セメント」ノ「セメント」ノ「セメント」ヲ幾ラ、合計「一千」「トン」トシマスレバ合計「一千」「トン」トシマス、斯ウ云フコトヲ配給協議會デ物ノ流レヲ示ス譯デアリマス、隨ヒマシテ此ノ配給協議會ノ「メンバ」ハ、今申シマシタヤウニ生産業者ノ方、或ハ

中繼ヲ致シテ居リマス開墾業者ノ方、  
又場合ニ依リマシテハ消費者ノ代表モ  
入レマシテ組織サレテ居ルノデアリマ  
シテ、是ハ專ラ名前ノ通り協議會デ  
ザイマシテ、其ノ流レハ同業者ノ方々  
ノ自治的統制ニ依ル物ノ流レヲ示ス譯  
デアリマス、輸送ノ方面其ノ他色々考  
ヘマシテ、經濟上最も有利ナ流シ方ヲ  
スル、斯ウ云フ考ヘ方デアリマシテ、  
一般的ナ指導ヲ致シマシテハソレト、  
ノ主務大臣ガ致ス譯デアリマスガ、實  
際ノ仕事ノ當テレマシテモ、其ノ  
協議會ヲ組織シテ居ル「メンバー」ノ  
方、及ビ「メンバー」ノ方ノ選舉サレタ  
機關、斯ウ云フモノガ實際ノ仕事ヲス  
ル譯デアリマス

○井田委員 從來統制ノ缺陷トシテ、  
配給サレタ材料ヲ、目的ノ物ニ使用セ  
ズシテ非常ニ横流シテ、是ハ戰時中  
モ斯ウ云フ弊害ハ非常ニ多カッタノデ  
アリマス、今後ハ特ニ是ガ多イレデヤ  
ナイカ、何故ナラバ戰時中ヨリハ今ノ  
方ガ非常ニ物價が高イ、目的ノ用途ニ使  
ツテ仕舞フシテ利潤ヲ擧ゲルヨリモ、  
材料其ノ物價流シタ方ガ非常ニ利益ガ  
アルト云フコトハ、モウハツキリシテ  
居ルノデ、斯ウ云フ經濟狀態カラ言  
ハスレバ益々其ノ傾向ハヒドクナルノ  
デハナイカ、ソコデソレヲ完全ニ防  
止シテ目的ノ用途ニ使用サセルト云  
フ方面ノコトハ、是ハ何處ニモアル  
譯デアリマス、自治的統制ト云フコ  
トヲ今仰シヤイマシタガ、業者ノ自  
治的統制ト云ヒマス、サウ云フ面ガ  
非常ニ澤山出テ來ルノデハナイカト思  
ヒマスガ、是ハ主ニ何處ノ機關サレ  
オヤリニナル積リカ、自治統制ナラ自  
治的統制ノ中ニ斯ウ云ツタヤウナ機構  
ヲ作ルノカ、一寸伺ヒタイノデアリマ  
ス

○吉田(傳)政府委員 先ヅ此ノ法律ノ  
適用サレテ居ル産業ニ付テ申シマス  
ト、大體原材料ヲ割當テマス場合ニ、  
ドウ云フモノヲ幾ラ造ルカ、一萬「ト  
ン」ノ鐵ヲ幾ラ配給スル、斯ウ云フ  
割當ヲ考ヘテ行キタイと思ヒマス、隨  
ヒマシテ其ノ目的ノ物ヲ造ラヌ、例  
ハ他ニ寧ろ儲カル物ガアリマス爲ニ、  
割當ノ目的デアリマス所ノ品物ヲ造ラ  
スト云フ場合ガ起ルカモ知レマセヌ  
ガ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、次  
ノ機會ニ於キマスル割當ヲ減ストガ、  
何トカ云フヤウナ、ヤハリ一種ノソレ  
ニ對スル制約ヲ考ヘマシテ、目的ノ物  
ヲ造ルヤウニ履行シテ行キタイと思ヒマ  
ス、唯其ノ限ツテ居リマスモノガ、  
現在ノ關係關係カラ申シマシテ特ニ緊  
要ナモノデアリマス場合ニ於テ、其ノ  
原材料ヲ他ニ横流シタルト云フヤウ  
ナ處ノアリマス場合ハ、是ハ所謂第  
二號ノ生産命令ト云フ形デ命令ヲ致ス  
譯デアリマス、ソレカラ自治統制デヤ  
ツテ居ルモノニ付テハドウスルカト云  
フ御尋ネデアリマスガ、是モヤハリ  
自治統制デハゴザイマスルケレドモ、  
一應ハ原材料ヲ割當テマス場合ニド  
ウ云フモノヲ幾ラ造ルト云フ規定ヲ致  
シマシテ、割當ヲ致シテ參ル積リデア  
リマシテ、同ジヤウニ目的ノモノガ出  
來ヌ場合ニハ、次ノ機會ニ於ケル割當  
ヲ調整スルト云フコトデ參リタイト考  
ヘテ居リマス、サウシテソレガ旨ク行  
カヌ場合ハ更ニ此ノ關係調整法ヲ適用  
致シマシテ、其ノ割當ヲ繼續付ケル、  
斯ウ云フコトニ致シテ參リタイト考  
ヘテ居リマス

○井田委員 其ノ儘ニシテ置ケバ旨ク  
行カナイト云フコトハ當然ナゾデア  
リマスガ、旨ク行カヌ場合ニハ此ノ調整  
法ヲ適用スル、斯ウ仰シタルノデア  
ルケレドモ、無暗ニ此ノ法ヲヤタラニ擴  
ゲテ適用サレルト、ヤハリ戰時統制ノ  
ヤウナ總テ皆強力ナ枠ノ中ニ入レテシ  
マフ、斯ウナツテ來ルト結局又ソコニ  
非常ナ弊害ガ出テ來テ、生産意欲ガナ  
クナルトカ色々弊害ハ出テ來ルノデ  
ス、結局此ノ統制ガサウ云フ風ニ、今  
ノ目的以外ニ餘リ手ヲ擴ゲレバ必ズ失  
敗スル、斯ウ云フコトヲ我々ハ憂ヘル  
ノデスガ、何等カソコニアナタ方ノ方  
デ、自治的ニヤラセルナラヤラセル方  
ハアルト思フ、結局重點のニ此ノ製品  
ハ此ノ工場デヤラセルトカ何トカ指定  
ト云フコトニシテ、良心的ニ目的ニ向  
ツテヤラセル、誓ツテ變ナコトヲシナ  
イト云フヤウナ工場ヲ選定シテ、サウ  
シテソレヲヤラセルト云フヤウナ方法モ  
アリシ、又其ノ自治的統制機關ノ中ニ、  
材料ハ幾ラ入ツテ幾ラ造ツタト云フヤ  
ウナ組織ヲ作ルトカ何トカ、サウ云フ  
方法デヤツタナラバ出來ルノデハナイ  
カ、餘リ調整法ヲヤタラニ擴ゲルト云  
フコトハ、我々ハ必ズ是ガ假ニ履行サ  
レルトシテモ、非常ニ反對ナンデス、  
ダカラサウ云フモノヲ使ハズシテ、完  
全ニ重要ナ材料ガ國民生活ノ上ニ現ハ  
レルト云フヤウナ方法ヲ十分考ヘテヤ  
ツテ置キマス、私ノ質問ハ是デ終リマス  
○竹田委員長 厚東君、一寸注意致シ  
マスガ、正田君並ニ小野君カラノ御發  
言ノコトモアリマスルシ、成ルベク質  
問ハダブラナイヤウニ御願ヒ致シマ  
ス——厚東君

○厚東委員 我々極ク簡單ニ應國務相  
ニ質問致シマスガ、過日十日デアリマ  
シタカ、同僚議員カラ地代家賃統制ヲ  
維持ツテ居ルノデアリマス、實ハ戰時  
中ハ軍閥、官僚ノ横暴ノ爲ニ、自分ガ  
法律ヲ作ツテ居ツテ軍閥、官僚ハ一ツ  
モ守ラナカッタ、サウシテ國民ヲ非常  
ニ傷メタモノデアリマス、アノ法律ヲ  
御繼ケニナルト云フコトニナリマスル  
ト、善良ナル國民ガ非常ニ迷惑スル  
ノデアリマス、善良ナル國民ト云フ  
ハ、我々ノ地方ニモ澤山アリマスケレ  
ドモ、日支事變前ニ貸シタ家賃デ今尙  
ホ家ヲ貸シテ居ルノデアリマス、例  
ハ十二坪ノ建物ガ建具、建付カラ風呂  
ヲ付テ居リマシテ、六圓カラ五圓  
五十錢デ貸シテ居ル家主ガ澤山アル  
デアリマス、此ノ頃六坪二合五勺ノ家  
ガ約五千圓掛リマス、家賃ハ建具モ  
ナク、繰リハ板張りノモノガ三十圓モ  
シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマ  
ス、又建築費モ一萬圓モ二萬圓モ掛  
ル時デアリマスガ、其ノ善良ナル家主ハ  
九、一八ノ禁止ニ掛リマシタ以前ニ家  
ヲ貸シテ居ツテ、今尙ホ此ノ法ガ切レ  
ルノヲ待ツテ居ルノデアリマス、サウ  
云フ者ハアノ法ガ繼續致シマスト救  
コトハ出來ナイノデアリマス、ソレハ  
婦人ガ多イシ、眞面目ニ法律ヲ守ツタ  
者ガ之ニ掛ツテ居ル、又アノ法律ガ出  
テ之ニ掛ル、若シ是ガ出テ家賃ガ少シ  
上ダレルト云フコトニナリマシテ  
モ、其ノ手續ガ實ニ素暗シイモノデア  
リマス、少々ノ手續デハ其ノ値ガ上ダ  
ラレナイ、市役所ヲ經由シ、縣廳ニ行  
キマシテ、縣廳カラ又コチラヘ來タリ  
シテ、連モ婦人ナドノ力デハ値ガ上ダ  
ラレナイノデアリマシテ、アノ法律ノ  
續ク以上ハ、アノ法律ノ中ニハサウ云  
フ者ヲ救フコトハナイノデアリマスガ  
ラトソレデハ眞面目ナ國ノ法律ヲ守ツ  
タ者ハ非常ニ迷惑ヲシ、守ラナカッタ

者ハ非常ニ利益ヲスル、實ハ斯ウ云フ懸隔ヲ來タスノデアリマス、デアリマスカラハ法律ハ御止メニナリマシテ、惡地主、惡家主ノ取締ダケナラ、別ニソレニ然ルベキ所ノ法律ヲ御排ヘニナツテハ如何デアリマス、之ニ付テ御伺ヒ致シマス

○勝國務大臣 私が從前ニ引續イテト申シマシタノハ、地代及ビ家賃ノ統制ヲ引續イテヤル、斯ウ云フ意味ニ御諒承ヲ願ヒタイ、勿論九、一八ノ時分カラノ諸物價ノ騰貴其ノ他ニ見合ヒマシテ、正當ナ家賃地代ノ改訂ノアルノハ當然ノコトデアリマス、色々ナ機會ヲ利用シマシテ、非合法ナ不當ナ家賃及ビ地代並ニ之ニ關聯シテ、諸種ノ名目ヲ以テマシテ料金ヲ取ルト云フヤウナモノヲ取締ル精神ナノデアリマシテ、時勢ノ變化ニモ拘ラズ之ヲ九、一八ニ釘付シテ、徒ニ正當ナ正直ナ人ヲ困ラセルヤウナ意味合ノ考ヘハ持ツテ居リマセヌ、此ノ統制ハ續ケルケレドモ内容ニ於テハ餘程變ツテ運用サレルコトト御諒承願ヒタウゾイマス

○厚東委員 從來官價統制ノ弊害ニ斯ウ云フコトガアルノデス、宅地ノ坪ノ賃賃價格ヲ政府ガ一圓二十錢ナラ一圓二十錢ニ決メテ居リマシテ、或ル事情ノ下ニ四十錢位ヲ賃シテ居ルノデアリマス、四十錢位ヲ賃シテ居リマスカラ、物ガ高クナツタカラ八十錢位ニ値ラ上ゲテ居レナイカト云フト、値上ゲラサセナイ、政府ハ賃賃價格ヲ一圓二十錢トシテ税金ヲ取ツテ、貸ス方ノ人ハ四十錢ノモノヲ六十錢、七十錢ニ上ゲテ呉レト云ツテモ許可シナイト云フヤウナ例ガ實際ニアル、我々モ其ノ害ヲ蒙ツテ居ルノデアリマスガ、政府ハ坪一圓二十錢ノ賃賃價格ヲ決メテ居ッ

テ課税ヲシテ來ル、其ノ一圓二十錢モ許可モ何モアツタモノデヤナイ、許可ヲ取ツテ然ルベキモノデヤナイ、手續ヲ致シマシテモ、九、一八ノ條例ガアル爲ニ上ゲサセテ呉レナイト云フコトガアリマス、今後ハ賃賃價格ヨリ以上ニ行ク所モアルカモ知レナイ、時勢ガ變リマシタカラ、先ヅ以テ私ハ賃賃價格代貸ストカ何ト云フ政府ノ設定シタ賃賃價格ヲ貸ス所ニハ、許可トカ何ト云フモノハ要ラナイト云フコトニスル、許可ヲ取ルト云フコトガ既ニ宜シウナイカラ、此ノ法ハ存續ナサルニ致シマシテモ出主主張デヤツテ、屈出タモノガ適法デナイ場合ハ説諭スルトカ、或ハ罰スルトカ云フヤウナコトニスル、從來ノヤウニ許可制デハ婦人ヤ何カニ非常ニ迷惑ヲ掛ケル、色々ナ書類ガ要ツテ、書類ヲ作ルニシテモ少々ノ金デハ書類ガ出來ヌノデアリマスカラ、サウ云フコトヲ除去スル御考ヘハアリマセヌカ

○勝國務大臣 只今御指摘ニナリマシタ手續ガ煩瑣デアルトカ、或ハ正當ナル地代及ビ家賃ノ自然ノ昂騰ニ對シテ、適當ニ之ヲ抑ヘルト云フコトナキヲ期シタイト思ヒマス、尙ホ手續等ニ付キマシテハ、出來ルダケ只今御指摘ノアリマシタ弊ノアリマス所ハ編メタイト存ジマス、併シ此ノ家賃ノ拂底シテ居リマス際ニ、敷金、家賃ナドモ全法的ナモノデナクシテ別ノ名目デ相當ノ惡德ヲナス向キモノキニシモアラストハ多ク聞ク所デアリマシテ、直チニ許可認可ノ枠ヲ外スコトハイカヌカト存ゼラレマス、マダソコマデノ踏切リニハ行ツテ居リマセヌ、併シナガラ之ニ無理ノナイ運用ヲ致シタイ、斯様ニ思ツテ居リマス

○厚東委員 ソレデハ私御參考マデニ申上ゲテ置キマス、大正十一年ノ風水害以來、五圓五十錢、木間ト云ツタヤウナ家賃デ澤山貸シテ居ル人ハ、今以テ修理モ何モ出來ナイ、其ノ儘持ツテ居ルヤウナ次第デ、其ノ一枚六圓モ十圓モスル、大工ノ雇ツテモ、六圓ノ家賃ナラ一年デ七十二圓デアリマスガ、七十二圓ノ錢ガ一日デ大工ヤ左官ニ要ツテマフノ非常ニ困ツテ居ル、ダカラ法律ヲ改正ナサルト同時ニ、九、一八ノ規則ヲ立派ニ守ツテコ、マデヤツテ來タ諸君ニ對シマシテハ、政府ニ於キマシテモ善良ノ思想ヲ涵養サセル爲ニ、ソレ等ノ家賃ハ十圓以下ハ何倍、二十圓以下ハ何倍、三十圓以下ハ何倍、四十圓以下ハ何倍、先ヅ五十圓マデノ程度ニ區切ツテ上ゲル、價格モ從來ノヲ補フ爲ニシツカリ上ゲテヤラネバ、到底此ノ拂底シテ居ル所ノ住宅ヲ建設スルコトハ出來ナイ、私等ノ地方デハ住宅ハ澤山出來マスガ、ドウ云フ所ニ出來ヌ所ノ痛ガアルカト申シマス、此ノ頃臺所ガ一つト云フノハ非常ニ嫌フ、臺所サハ別ニ出來レバ、住宅ハ一軒デ五軒モ十軒モ出來ル、臺所ノ雪隠ガ一個デアルト云フコトデ、非常ニ住宅難ニ困ツテ居ルガ、之ヲ拵ヘルニシテモ大變ナ金ガ掛ル、ソレヨ一許可ヲ取ラネバ家賃ガ上ゲテラストカ、出來ヌトカ云フコトデ、私ノ地方ハ住宅難ニ陷ツテ居リマス、斯ウ云フコトモ一ツ御勸案ニナリマシテ、適當ナル案ガ出來ヌコトヲ希望致シマス、私ハ是ニテ終リマス

○竹田委員長 川崎君 著ヲ致シタカタノデ、諸君ニ御尋ネスルノハ少シ門違ヒト思フノガアリマスガ、先般實施サレテ居ツタ飲食品ノ九公ノ問題デアリマス、飲食稅ノ引上問題ト併行シテ、先頃議會デ附帶決議ヲ致シマシタ新九公ノ實施ニ付テハ、其ノ後ドウ云フコトニナツテ居ルカ御伺ヒ致シタイ

○勝國務大臣 飲食稅ノ免稅限度ガ上リマシタ、ソレト相關聯シマシテ此ノ料理代ノ標準ノ改訂ト云フ問題ガアリマシテ、深ク考究スルノデアリマスガ、實ハ正直ニ申シマス、多少事務ノ打合せノ手續ニ不十分ノ點ガアリマシテ、稅法ノ改正ト同時ニ是ガ改正サレテ施行サレナカッタノハ、大變手續上遺憾ニ思ツテ居リマス、目下一定ノ標準ノ下ニ、大體五十四圓マデ制限ヲバ引上ゲタイ、是モ考ヘヤウニ依リマスルト、或ハ東京、大阪ト云フヤウナ都會ニ於テハ適當デアリマスルケレドモ、地方的ニハ或ハ如何カト云フヤウナ問題モアツテ、地方的ニ之ヲ決メヨウカト云フ考ヘモ持ツテ居ルノデアリマスガ、是モ色々ノ物價問題ト同ジヤウニ、諒解ヲ求メル必要ノ向キモアリマス、今ソレ等ノ標準ト共ニ打合セ中デアリマス、尙ホ考ヘト致シマシテハ、大體諸物價ノ見合等カラ思ヒマシテ、只今申上ゲマシタヤウニ修正スルノガ適當デハナイカ、斯ウ云フ考ヘデ目下研究中ト申シマス、手續ヲ致シテ居リマス、御諒承願ヒタウ存ジマス

○川崎委員 短ク切ツテ御答辯ノ願ヒタイト思ヒマス、私モ少シツツ申上ゲマス、實施ハ概ネ何時頃ニナル見透シデアリマス、又今率直ニ内部事情ヲ申サレタケレドモ、私ハ大體ソレヲ想像シテ居ツタ、一箇月前カラ院議デ決マツテ居ルモノヲ、「マツカーサー」司令部ト稱中中等ト云フコトニ藉口シテ、事實ハ最近司令部方面ト折衝ヲ開始シタト云フヤウニ、是ハモウ事實確證ヲ揭ツテ居ルノデスガ、其ノ點ニ關スル大臣ノ忌憚ナキ意見ヲ私ハ聽キタイト思フノデアリマス

○勝國務大臣 役所ノ手續ニモ打合セ十分デナイ點モアリマシテ、思ツタヨリモ後レテ居リマスコトハ事實デアリマス、併シ只今申上ゲマシタヤウニ折角手續中デアリマシテ、近ク決定シヨウト思ヒマス

○川崎委員 其ノ間ノ經緯ニ互ツテ一ツ重大ナ見逃セバカラザルコトガアルノデアリマス、是ハ私ハ現場ニ居リマセヌデシタシ、其ノ後人ノ風聞ニ依ツテ傳ハツテ居ルコトデアリマス、コ、デ斷言ハ致シマセヌ、先般關係ノ者ガ本會議ノ席上デ失言致シテ居リマス、私ハ用心ヲシテ申上ゲタイノデアリマスガ、物價問題ノ極メテ重要ナ地位ニアル人ガ、料理店飲食業者ガ早ク之ヲ實施シテ欲シイト云フ陳情ヲ致シタ場合——是ハ正確ニ申上ゲタイト思フノデスガ、近頃政黨ナドト云フヤウナヤカマシイモノガ出テ洵ニ困ツタモノダ、大藏大臣ガアノヤウナ新九公ノ改訂ヲ言ツタガ爲ニ、其ノ方面ニ於テモ困ツテ居ルト同時ニ、政黨側カラノデ、實ハ非常ニ弱ツテ居ルノダ、實際ノ物價水準カラ言ヘバ、是ハ上ゲラレナイノガ本當ト云フヤウナコトヲ言明シタコトガアルト我々ハ聞イテ居ルノデアリマスガ、大臣ニ於テハサウ云フコトヲ知ツテ居ラレカドウカ、又風聞デモサウ云フコトハ聞カレテ是正ヲサレタコトガアルカドウカ、廳内ノコトデアリマスガ、忌憚ナク御伺ヒ

シタイ

○勝國務大臣 何モ今仰セノヤウナコトハ風聞ニモ、又直接ニモ實ハ承ツタコトガゴザイマセヌ

○川崎委員 院議ヲ尊重シナイ役人ガ今日居ルコト云フコトハ、洵ニ民主主義ノ政治下ニ於テ遺憾千萬ダト思フテ居ルノデアリマス、是カラ段々私ガ檢討致サント致シテ居リマス需給調整法案其ノモノモ、委員ノ皆サンガ異口同音ニ言ハレタヤウニ、官僚獨善ノ案デアリカト云フコト同時ニ、今私ガ申上

ガタヤウナ事實ガ現ニアツタト云フコトヲ、是ハ皆サンノ前ニ公開致シテモ差支ヘナイノデアリカト考ヘテ居ルノデアリマス

本論ニ入リマス、此ノ法案ガ委員會ニ掛ケラレマシテ以來、殆ド全部ノ委員カラ申サレマシタコトハ、此ノ法案ガ總動員法ノ民主的偽裝デハナイカト云フ意見デアリマスガ、ソレヲ兎ヤ角申スノデアリマセヌ、ソコデ其ノ是正ノ仕方ヲ我々ハ何處ヘ求メナケレバナラヌカト云コトデ、今ヤ之ヲ修正スルカ、或ハ無修正デ通スニシテモ、ドウ云フ所ヘ結論ヲ持ツテ行カト云フコトニアルノデアリカト思フノデアリマス、ソコデ經濟安定本部ノ總裁ハ、此ノ法案第一條ニ依ルト、必要ナ命令ヲナスコトガ出來ル、而シテ政府ノ屢屢ノ答辯ニ依リマスルト、割當等臨時物資需給調整法案ニ於ケル重要事務ハ、各省ニ於テ原案ヲ作製スルヤウデアリマス、斯クノ如クナリマスレバ、往年ニ於キマス資源局或ハ企畫院等ニ見ラレタ所ノ、内閣機關各省トノ摩擦相廻ハ免レヌ所デハナイカト考ヘルノデアリマス、是デハ全ク安定本部ガ意メ政策ヲ實行スル段取ヲナツテ、其ノ

醜狀ヲ天下ニ曝スノデアリカト、甚ダ其ノ成行ヲ憂ヘザルヲ得ナイノデアリマス、屢々委員ノ質問ニ答ヘラレテ曰ク、經濟安定會議ノ外ニハ物資需給調整審議會ト云フヤウナ、過小ナルモトヲ設ケナイト云フコトヲ言ハレテ居ルノデアリマスガ、ドウシテモ私ハ此ノ官僚獨善ノ統制ト云フモノヲ補正シテ行ク機關ガ必要ダ、而モソレハ法令ヲ出ス度ニ、其ノ事前ニ知ツテ居ル所ノ委員會ガ必要ダト云フコトヲ強ク申上

ガタイノデアリマス、今日只今委員會ノ空氣ガ、壓制的ニ物資需給調整委員會ト云フヤウナ此ノ法案ト「フオロー」スルヤウナ、本當ニクツ付イテ行クヤウナ委員會ノ設立ヲ要望シテ居ルニ拘ラズ、今日尙ホ否認サレルモノデアアルカドウカ、サウ云フ氣持ガ政府ニナイモノデアアルカドウカト云フコトヲ尙ツテ置キタイト思フノデアリマス

○勝國務大臣 本法ヲ民主的ニ運用スルニ付キマシテハ、色々ノ方面カラモ御安心ノ行クヤウナ途ヲ執リタイト思フテ居リマス、今御尋ネニナリマシタヤウナ、本法ニ直接ニ「フオロー」スル特別ナ委員會制度ヲ作リマシテ、之ヲ運用シテハドウカト云フ御意見、左様ニモ考ヘテ宜イト存ジマス、唯安定會議ト云フモノガ既ニ豫定サレテ、モウ決定ノ事實トナツタアルノデアリマシテ、或ハ之ニ屋上屋重ネルノデアリカト云フヤウナ心配モ出來ルノデアリマシテ、率直ニ私ノ希望ト申シマスカ、考ヘテ申上デマスナラバ、此ノ安定本部ト云フモノニ、議會關係ノ御方々ノ御參加モ願フノデアリマシテ、是ガ今御話ノヤウナ一ツノ働キガナシ得レバ、所謂屋上屋ト云フヤウナ、何ト申シマスカ、識リモ免レ得ラレルノ

デハナイカト存ズルノデアリマス、併シ此ノ問題ハ、要スルニ此ノ立法ソレ自身ガ甚ダ無理ナモノデアアリ、何ト申シマスカ、通常ノ形デアリマセヌノデ、尙ホ其ノ點ニ付テハ、十分考ヘテ見タイト、斯様ニ存ジテ居リマス

○川崎委員 其ノヤウナ委員會ノ設立モ考ヘラレルト云フ御答辯ガアリマシタノデ、私ハ此ノ經濟安定本部ノ權限トシテ、此ノ間大臣モ言明サレ、又新開ガ之ヲ觀測シテ居ツタ權限ガ非常ニ廣汎ナ範圍ニ互ルノデ、物資需給基本計畫並ニ業種別需給計畫ノ決定ト云フヤウナ面ニ此ノ新シク設ケラルベキ委員會ガ「フル・パーセント」ノ活動ヲスルヤウナ考ヘラレタ宜イノデヤナ

イカ、經濟安定會議ヲ根本策ヲ決メテ、ソレニ從ツテヤルト云フヤウナ御答辯デ今マデハアツタノデアリマスガ、サウスルト、實際命令ヲ出ス場合ニハ、事前ニ斯ウ云フヤウナ命令ガ出ルンダト云フコトヲ、的確ニ安定會議ガ知り得ナイ場合ガ私ハアルト思フ、ソコデ斯ウ云フコトヲ私ハ申上ゲタコトヲ御諒願ヒタイト思ヒマス、ソコデ今度ハ、本法案ノ第二條、「民主的に組織された産業團體に、その構成員の議決に基いて」ト云フコトガアリマス、議決ニ基イテ物資ノ割當ヲスルト云フノデアリマスガ、割當ノ時期ヲ異ニ致シマスと數百、或ハ數千ニ及ブ各種物資ノ割當ヲ致ス場合ニ、其ノ都度構成員ノ議決ヲ要スルコトニナリマス、其ノ職務ト云フモノハ極メテ繁雜ニナリマシテ、且ツ時期ヲ失スルコトガ非常ニ多イト私ハ思フノデアリマス、ソコデ此ノ構成員ノ議決ト云フモノノ内容ヲ、玆デ分析ヲシナケレバナラナイト思ヒマスガ、大臣ガ考ヘテ

居ラレル構成員ノ議決ト云フモノハ、一年ニ一回位當ツテヤル議決デ宜イノカ、或ハ其ノ都度ヤルコトデアアルカ、其ノ輪廓ヲ明カニシテ貰ヒタイノデアリマス

○勝國務大臣 此ノ團體ノ運営ハ専ラ主務大臣ガゾレト、運用シテ戴キマスノデ、私カラ申上ゲルヨリ政府委員カラ御答辯申上デマス

○吉田(樺)政府委員 第二條ノ其ノ構成員ノ議決ニ基イテト云フ言葉ノ實行ノ方法デゴザイマスガ、只今仰セノ通りニ毎月々々斯ウ云フ議決ヲ繰返シテ居リマシテハ、此ノ全國カラ集マツテ來ル方々ニ大變ナコトデアリマスノデ、ヤハリ是ハ割當ノ基準ト云フモノヲ決メテ置イテ戴キマシテ、ソレヲ議決シテ戴ク、斯ウ云フコトニ致シタイト思フテ居リマス、其ノ基準ガ非常ニ立チニクイ時ニ於キマシテハ、少數ノ委員制度ト云ツタヤウナモノデ割當ヲスルヤウナ、大體ノ基本的ナコトヲ御決メニナルコトヲ、此ノ議決ト云フコトデヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス

○川崎委員 サウシマス、此ノ物資調整法ノ狹ヒトスル所ハ、官僚統制ヲ脱却シテ、成ベクハ民主的ニ組織サレタ産業團體ノ自治的ナ解決ニ俟チタイト云フコトガ、私ハ狙ヒデアアルト云フヤウニ解釋ヲ致シテ居ルモノデアリマス、ソレハ獨リ配割當ト云フヤウナ部面ノミデハナク、會社、工場ノ生産計畫ト云フモノモ、産業團體ニ逐次移行シテ行クコトヲ考ヘラレテ居ルカドウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○吉田(樺)政府委員 物資需給調整法ノ狙ツテ居リマスルコトハ、經濟安定本部ガ基本的ナ計畫ヲ作ルノデアリマス、

隨ヒマシテ此ノ計畫ニハ、幾ラ位作ルト云フコトガ、計畫ノ内容ヲナスノデアラウト思フノデアリマス、之ヲ工場別ニ幾ラ作ツテ行カト云フコトハ、原則的ニハ勿論、其ノ産業團體ノ御調査ニ依ツテ、最モ能率的ニ時代ヲ背景トシテ作ツテ行クコトニナラウト思ヒマスノデ、基本的ナ計畫ヲ實施スルト云フ方法デゴザイマスレバ、當然産業團體ガ之ヲ決メテ行クモノデアアルト考ヘテ居リマス

○川崎委員 只今ノ御答辯ニ關スル限リハ満足ヲ致シタノデアリマスガ、此ノ法案ハ非常ニ官僚統制ノ嫌ヒガアルト云フコトヲ言ハレテ居リマス、原因ハヤハリ今申サレタ所ノ産業團體ガ自主的ニモノヲ解決シテ行ク、其ノ能力ヲ今後ハ信頼シテ行カドウカト云フコト、ソレカラ又議會「タツチ」ト云フモノニ對シテ、大幅ナ權限ヲ持タスカドウカト云フコトニ、此ノ法案ノ民主的ナ解決ノ方途ガ一ニ懸ツテ居ルト私ハ思フテ居ル、此ノ法案ハ、私ラシテ言ハセバ、全ク日本ノ内幕其ノ儘ヲ表現シテ居ル議會ニ於テ、是ハ同僚諸君ト共ニ卑下ヲ致スノデアリマスガ、豫算總會其ノ他ニ於テ、財政並ニ經濟知識ニ關スル洵ニ貧弱ナコトヲ露呈シタト、今度ノ議會ハ批評サレテ居リマス、其ノ批評ハ私共ハ今日ハ甘受ラシナケレバナラヌ部面モアル、又經濟團體ノ方ニハ、實際ニハ實體ヲ把握シテ居リナガラ、之ヲ政治的ニ解決スル途ヲ知ラズシテ、政治部門ニ於ケル所ノ活動ガ足リナイ、其ノ間隙ニ乘ジテ、彼等ガ行政的ナ力ダケデハナシニ、政治的ナ力ト又經濟實體ヲ方ノ兩方持ツタヤウナ顔ヲシテノサバツテ

居ルノガ、此ノ物資需給調整法ノ現ハ  
レタ姿デハナイカト私ハ正直ニ申上  
ルトサウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデア  
リマス、其ノ時期ガ長ケレバ長イ程、私  
ハ日本ノ不幸ハ増スト云フ風ニ考ヘテ  
居リマス、隨テ此ノ物資需給調整法ト  
云フモノガ、相當長ク此ノ儘ノ形デ續  
クト云フコトハ、是レ亦同時ニ日本ノ  
不幸デアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス  
ガ、大臣ハサウ云フ點ニ對シテドウ云  
フ構想ヲ持ツテ、又考ヘテ持タレテ居  
ルカ

○膳國務大臣 毎々申上ゲマスヤウ  
ニ、現在ノ經濟事象ヲ見シテ、マア已  
ムヲ得ズ斯クノ如キ形ノ法律ノ御協贊  
ヲ願ヒマス譯デ、私共ノ考ヘデ經濟安  
定ガ出來マスレバ、一體物ノ需給ノ統  
制ナドト云フコトハ、マア出來ルダケ  
早ク必要ノナイモノカラ外シテ行クノ  
ガ宜イト思フ、サウカト言ヒマシテ、  
此ノ一兩年中ニ全部ノ斯ウ云フ物資ノ  
調整ノ統制ヲ外スト云フ譯ニモ無論行  
キマセヌノデ、安定本部ノ存在シテ居  
リマスル或ル短イ期間、此ノヤウナモ  
ノ施行ヲ御許シテ願フテ、尙ホ其ノ  
後ハ、何時モ商工大臣モ私モ御答辯申  
上ゲマスヤウニ、ソレハ、ノ物資ノ種  
類、ソレカラ又統制ノ方法ニ依リマシ  
テ、石炭及ビ「ゴークス」ノ統制法ノ如  
キ單獨法ヲ出シテ、若シ統制ヲ必要ト  
スルナラバ、ソレニ基イテ統制ヲ行ヒ  
タイ、斯クノ如キ法律ハ出來ルダケ早  
ク形ヲ變ヘテ参リタイ、本當ノ臨時ノ  
立法デアルト云フ風ニ御諒承ヲ願ヒタ  
イト思ツテ居リマス

○川崎委員 膳國務大臣ニ對スル質問  
ヲ終ルニ當リマシテ、私ハ先般來膳國  
務大臣ハ本會議並ニ委員會ニ於テ、極  
メテ率直ニ意見ヲ吐露サレマシテ、殆

ド資本家ノ「チャンピオン」デアルト  
カ、或ハ從來ノ膳氏ニ對スル觀念ヲ以  
テ我々ノ同僚ガ臨シテ居ルコトヲ遺憾  
ト思ツテ居リマス、實際問題トシテ日  
本ノ産業ヲ如何ニシテ回復スルカト云  
フコトニ對スル計畫の「プラン」ト云フ  
モノガ、一番大切デアラウト思フ、其  
ノ人ガ過去ニ於テ資本主義ノ「ライシ  
ン」ニアツタカ、或ハ社會主義ノ「ライ  
ン」ニアツタカト云フコトハ別問題トシ  
テ、實際ノ經濟ノ土臺ト云フモノヲ把  
握シテ、之ヲ解決シテ行クコトノ信念  
ト學理ヲ持ツタ人ガ、今日ハ一番重要  
デハナイカト考ヘテ居ル、先程社會黨  
ノ加藤勘十氏ハ、此ノ安定部長官ノ尻  
ヲ追廻シタト云フヤウサコトヲ言ハレ  
タケレドモ、其ノ社會主義者ト見ラレ  
タ人ガ、事實ハ最近ノ座談會ニ於テ、  
今ノ經濟ヲ建直シテ行クニハ、獨リ資  
本主義ト云フヤウナ觀念、或ハ社會主  
義ト云フヤウナ觀念デハ駄目ダト其ノ  
人ハ妙ナコトヲ言フ、資本主義ガ半分  
デ社會主義ガ半分ト云フヤウナコトヲ  
言ツテ、今日理論の陳腐カラ反響サ  
レテ居ルケレドモ、實際ニ日本經濟ノ  
實體ヲ握ツテ居ルサウ云フ社會主義的  
ナ觀念ヲ持ツカノ如ク見ラレタ人々ノ  
考ヘ方ト云フモノガ、今日ハ變ツテ來  
テ居リマス、私ハサウ云フ意味ニ於テ  
膳國務大臣ノ建論ヲ切ニ祈リマシテ、  
商工大臣ニ對スル質問ハ留保致シマス

○金子(益)委員 安定本部ノ膳サシニ  
御伺ヒ致シマス、兎モ角占領地下ニア  
ツテ、而モ敗戦ノ憂目ヲ見テ居ル日本  
ノ産業再建ト云ヒ、經濟ノ安定ヲ期ス  
ト云フコトハ、是ハ只今ノ委員ノ方ガ  
仰セニナツタヤウニ、社會主義デ行ク

カ、資本主義デ行クカト云フコトハ別  
トシテ、兎モ角重大ナ問題デアリ困難  
ナ問題デアルト考ヘテ居マス、ソコデ  
凡ユル産業ノ再建ニ際シマシテモ、又  
經濟安定ヲ圖ルニ付キマシテモ、其ノ  
一番根據ナルモノハ食物ノ問題デア  
ナイカト考ヘテ居リマスガ、特ニ六  
月、七月、八月ノ食糧危機ガ、辛ウジ  
テ突破出來タト云フコトハ私モ喜ンデ  
居リマスガ、最近地方ニ歸リマシテ農  
民諸君ノ痛切ナ叫ビヲ聞キマス、早  
場米ヲ出シナガラモ、一體今年ノ米價  
ハドウ云フコトニナルダラウカト云フ  
コトニ對シマシテ、非常ナ心配ヲシテ  
居ルノガ實情デアリマス、此ノ際ニ當  
リマシテ過日政府ガ米價一石六百圓ト  
云フヤウナコトヲ決定シタト傳ヘラ  
レ、其ノ後ニ於テ決定シタノデハナイ  
ト云フ風ニ言明セラレテ居リマスガ、  
此ノ六百圓說ガ本當デアルカ、ナイカ  
ハ別ト致シマシテ、兎モ角アレヲ發表  
スル時ニ、各新聞社ノ方ノ報道ニ依リ  
マス、農林省ハ勿論ノコト、商工  
省、經濟安定本部モ之ニ參照シテ、六  
百圓說ト云フモノヲ編出シタト云フヤ  
ウナ報道ガアツタノデアリマス、凡ユ  
ル物價ト說ミ合セテ考ヘマシテモ、米  
價ノ問題ハ非常ニ重要デアリマス、ソ  
コデ經濟安定ニ關シ、産業再建ニ關シ  
マシテ重要ナ役割ヲ持ツ經濟安定本部  
ト致シマシテ、今日ノ米價ヲ下ノ程度  
ニ落著ケルコトガ妥當ナモノカ、一日  
モ早ク之ヲ發表シテ農民諸君ニ安心ヲ  
與ヘ、其ノ生産意欲又供出意欲ト云フ  
モノヲ旺盛ニセシムルコトガ緊急ノ事  
柄デアリナイカト、私ハ考ヘテ居ルノデ  
アリマスガ、農民ノ氣持モ一ツ御察シ  
下サイマシテ、經濟安定本部ト致シマ  
シテハ、下ノ程度ニ一體米價ヲ落著ケ

○膳國務大臣 正直ニ申シマスガ、米  
價問題ニ付テハ經濟安定本部トシテ色  
色所見モゴザイマスケレドモ、今此ノ  
問題ガ將ニ決定ニナラントシテ居ル時  
デアリマシテ、他ノ何レカノ機會ニ申  
サセテ戴キタイト思ヒマス、色々ナコ  
トニ支障ヲ生ズル心配ガアリマスノデ  
本日ハ御容赦ヲ願ヒマス

○竹田委員長 此ノ場合運輸大臣カ  
ラ、本日開カレテ居ル唯一ノ委員會ト  
云フノデ、特ニ緊急ノ御發言ガアルサ  
ウデアリマス

○平塚國務大臣 國有鐵道ノ爭議ニ付  
テハ、長イ間國民ニ御心配ヲ掛ケテ居  
ッタノデアリマスガ、幸ニシテ昨晩カ  
ラ連續の二會議ヲ致シマシテ、双方ノ  
面目ノ立ツ範圍ニ於テ協定ガ成立致シ  
マシタ(拍手)唯委員會決定ヲ見タノ  
デアリマシテ、更ニ委員ハ國爭委員會  
ニ掛ケテ之ヲ決定シテ、初メテ本廳リ  
ニナルノデアリマスガ、大體ニ於テ國  
爭委員會ガ之ヲ承認スルト云フ内容デ  
アリマス、昨日社會黨カラモ白紙ニ還  
ツテト云フ御話モアツタ、又從業員モ  
一切ヲ取消シテ白紙ニ戻レト云フ要求  
デアツタノデアリマスケレドモ、昨日  
ノ議會ナリ、又政府ノ方針ハ、何處マ  
デモ經營ノ合理化ヲスルコトヲ方針ノ  
變更ハナイト云フコトヲ、強ク聲明シ  
テ居ツタノデアリマス、隨テ私共ノ考

ヘタ通り、大體ニ於テアチラノ顔モ立  
チマスルシ、私共ノ主張モ容レラレタ  
ノデアリマシテ、直チニ「ゼネスト」モ  
全國的ニ取消スコトニ相成ツタノデア  
リマス、此ノ機會ニ此ノ席ヲ拜借シ  
テ、長イ間御心配ヲ掛ケマシタコトニ  
對シマシテ、厚ク感謝ノ意ヲ表スルカ  
第デアリマス(拍手)

○金子(益)委員 只今ノ膳國務大臣ノ  
御話デハ、近ク決定サレラカラ御容赦  
ヲ願ヒタイト云フ御話デアリマスガ、  
デハ大體此ノ議會開會中位マデニ、此  
ノ問題ガ解決付ク見透シデアリスカ、  
或ハモット早急ニ其ノ問題ガ解決付ク  
見透シデゴザイマスカ

○膳國務大臣 目下折角各方面ト折衝  
中デアリマシテ、近ク決定スルモノト  
存ジテ居リマス、唯何時ト云フコトハ  
申上ゲ難ネマス

○金子(益)委員 ソコデモウツ聽キ  
タイコトガアリマス、先程農林省ノ方  
ノ方ノ御話ニ依リマス、三合配給ハ  
中々困難デアルト云フコトニ對シマシ  
テ、其ノ見透シニ付キマシテハ我々ニ  
安心ヲ與ヘル見透シガ傳ヘラレテ居リ  
マスケレドモ、勿論米ヲ輸入シナケレ  
バ三合程度ニ行カスト云フコトハ我々  
モ知ツテ居リマスガ、併シ實際ノ問題  
カラ言ヒマシテ、此ノ問題ハ唯單ニ數  
字ノ下カラ算盤ヲ彈イテ居ラナイデ、  
一ツノ大キナ政治的手腕ヲ發揮致シマ  
シテ、與ヘルベキモノヲ與ヘ、十二分  
ニ食ベサシテ、十分ニ活動サシテ、増  
産ニ邁進サセルト云フコトガ必要デハ  
ナイカト思フノデアリマス、而モ本年  
ニ於キマシテモ、兎モ角足ラナイデ到  
ル處デ運配配出云フコトガ行ハレテ  
居ル、併シ閣下買出シニ参リマスレ  
バ、或ル程度マデハ食ベテ居ラレト

云フ實情ヲ見マシテモ、ソコニ何等カノ政治の手ヲ打チマスナレバ、本年ノ米ノ共出ノ問題ニモ關聯致シマシテ、或ル程度、三合程度マデハ行クノデハナイカト考ヘテ居リマス、サウ云フ意味ニ於テ一ツ大膽率直ナ政府ノ政治的手段、手ト云フモノヲ打チマスナラバ、三合配給ハ可能デハナイカトモ考ヘテ居リマスガ、併シソレガ聯合國ノ方面トノ色々關係上、今後ノ食糧ノ輸入問題ニ關聯致シマシテ、サウ云フコトハ言明出來ナイ致シマスナラバ、例ヘバ斯ウ云フ點ニ一ツ安心ヲサセテ戴キタイ、ソレハ米ヲ輸入シテ戴クナラバ大體三合ノ配給ハ出來ルノデハナイカ、デハ其ノ三合配給程度マデニナル輸入米ヲ、イツノ頃マデニ入ラセルヲ勿論見返リ物資ガ出來ルノデアルカ、勿論見返リ物資ガ出來ナケレバ米ガ十二分ニ入ツテ來ナイトハ考ヘテ居リマスガ、併シ兎モ角三合程度ノモノヲ食ベサセテ貰ハナケレバ、十二分ナル活動ハ出來ナイト云フコトハ、是ハモウ事實デアリマス、デアリマスカラ此ノ三合配給ニ至ルマデノ外米輸入、ソレニ對スル見返リ物資ノ生産ハ、一體イツノ頃、來年ノ春頃マデニハ其ノ見返リ物資ガ出來テ、サウシタ物ノ入ル見込ガ付イテ居リマスカ、又其ノ計畫デオヤリニナツテ居ルカ、ソレヲ一ツ聽カセテ戴キタイ

○膳國務大臣 一寸速記ヲ止メテ戴キタイト思ヒマス

○竹田委員長 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○竹田委員長 速記ヲ始めテ下サイ

○膳國務大臣 安定本部トシマシテハ、食糧問題ハ非常ニ重大デアリマス、只今御尋ネノヤウニ、兎ニ角、日

本デ三合ノ米ヲ得ルコトガ困難ナノカ、是デハ永イ間食糧問題ヲ解決シ得ナイデハナイカト云フコトハ、全ク御同感デアリマス、是ハ政府ノ全體ノ人ハ違フカモ知レマセウガ、安定本部ノ構想ノ中ノ一ツトシテ、日本ノ食生活ヲ變ヘナクテハイケンナイノダト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、ドウモ日本ノ人口ハ八千萬人デス、之ニ四合、年ニ一石ノ米ガ必要ダトスレバ八千萬石要ルノデ、此ノ國土ノ中デ出來ル管ハナイ、餘リニ、何ト云フマスカ、少シ言葉ガ下品デスケレドモ、胃擴張性ノ滿腹感バカリヲ考ヘル日本ノ食生活ト云フモノハ、モウ改メナケレバナラヌデヤナイカ、寧ロモウ米ハ三千萬石デモ四千萬石デモ宜イノダト云フ食生活ニ一時ニハ參リマセスケレドモ、努力スル必要ガアルノデハナイカ、我々何ヨリノ示唆ヲ與ヘタモノハ、アノ進駐軍ノ食糧デアリマス、アノ中ニ含水炭素ト云フモノガドレダケアルカ、モウアレデ十分ナンダ、アレデ日本ノ俘虜モ、海外デ俘虜生活ヲシテ居ル間ニ相當ノ滿腹感以上ノ營養ヲ攝ツテ居ルノデアリマシテ、是カラノ日本人ノ食生活ハ此ノ狭イ國土ニ多勢ノ人口ヲ抱ヘテ、山ノ上マデ開墾シテ水田ヲ造ツタ所デ、到底米デ滿腹感ヲ得ル食生活ハ與ヘラレナイ、又サウ云フ胃擴張的ナ滿腹感バカリヲアテニスル食生活ハ情ナイノデ、是ヨリモ實ノ食生活ニ導イテ行ク必要ガアルノデハナイカ、實ハ安定本部ノ中デモサウ云フ考ヘモアリマシテ、折角是カラ研究シヨウト思ツテ居リマス

○竹田委員長 金子君、アナタノ御質問モ時間ヲ超過シテ居ルヤウデスガ、尙ホ加藤鐵造君ノ質問ニ食ヒ込ミマスカラ、簡單ニ願ヒマス

○金子(益)委員 只今膳サンノ非常ニ誠意ノアル、又示唆ニ富ミテ御答辨ヲ得マシテ非常ニ心強ク思ツテ居リマス、私共モ實ハ米バカリ食ヘルコトハイケンナイ、ソコデ農業ニ於テモ多角經營、或ハ又畜產農業ト云フモノヲ非常ニ盛ンシナケレバイカヌト云フハ、サウ云フ意味ヲ含ンデノコトデ、今農村方面ニ於テモ其ノ問題デ驅ケ廻ツテ居リマスガ、ソレハ別ト致シマシテ、是ハ農林省ノ方ニ御願ヒシタイノデスガ、居ラレマセウカ、安定本部ノ方ニ一ツ御願ヒシテ置キタイト思ヒマス、大膽率直ニ申シマスレバ、今年ノ諸ハ輸送關係カラ半分腐リマス、是ハ過日農林大臣ガ此ノ席ニ於キマシテモ、陸路ハ輸送關係アル、併シ此ノ點ニ對シテハ萬遺漏ナイ對策ヲ執ルト言明シテ居リマスガ、是レ亦最近各方面ノ農民組合ノ發會式ヲ何カニ參リマシテ、實際ノ實情カラ見マストドンドン積ンデ居リマス、茨城地方デハ澱粉ガ少クテ水分ガ大部分ヲ占メテ居リマスガ、斯ウ云フモノガ何千俵トナク今積重ツテ居リマス、所ガ其ノ諸ガ何時一體發送サレルノカ一ツモ今見送シガ付イテ居ナイ、付イテ居ルカモ知レマセスケレドモ、付イタト致シマシテモ十日カ十五日經ツテ付キマスレバ諸ハ腐ツテシマヒマス、實際諸ノ問題ハ早急ニ解決シマセウナラバ、相當數量ノ諸ト云フモノハ腐ツテシマヒマス、茲デ私ハ政府ニ御願ヒシテ置キタイコトハ、只今膳ブロックニ致シマシテモ、例ヘバ茨城縣、栃木縣、群馬縣、千葉縣、斯ウツタ方面ノ薩摩諸ノ一番供出ノ盛シナ時ヲ見計ラヒマシテ、一週間ナリ或ハ十日間ナリ輸送機

關ヲ甘諸ノ輸送ニ集中スル、消費地ニ諸ノ山ヲ築ク、各家庭ニ之ヲ與ヘマスレバ各家庭ハ之ヲ切ツテ乾シテ取ツテ置クトカ、或ハ又其ノ他ノ加工ヲ致シマシテ、之ヲ貯蓄スルノデアリマスケレドモ、之ヲ農村ノ農業倉庫或ハ其ノ他ノ倉庫ニ積ンデ置クト、特ニ又停車場ナドニ積ンデ置キマスレバ、雨ガ降ツテ、去年ノ如クニ下カラノドン腐ツテシマヒマス、之ヲシナイヤウニ今年ハ一ツ甘諸ノ非常輸送週間ト云フモノヲ計畫致シマシテ、サウシテ今言ツタヤウニ一週間ナリ十日間ナリ、重要ナラザル輸送方面ハ一時止メテモ諸ノ非常輸送ヲ致シマシテ、足ラザル所ノ食糧ノ補給ヲ致シタナラバドウカト實ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ儘デ居リマスレバ誰ガ何ト申シマセウトモ、大増產ヲ致シテ居リマス所ノ諸ノ約半分ト云フモノガ腐リマス、腐ラセナイト云フヤウナコトヲ政府ハ言ツテ居リマススケレドモ、續々ト腐ツテ參リマス、デスカラ此ノ輸送ノ問題ニ關シマシテ、一ツ大膽ナル手ヲ打ツテ戴キタイ、サウ致シマスレバ都會ニ於テ、各地方ノ消費地ト云フモノガ非常ニ食糧ニ對スル安全感ヲ持ツテ、闇買ヒガ出テ參リマセウシ、闇買ヒガ出テ參ラナケレバ、ソレデ作業者ガ十二分ニ力ガ盡セル譯デアリマス、諸デモ結構ダト皆叫ンデ居ルノデアリマス、此ノ諸ガ非常ニ増產デスカラ、此ノ増產シタ諸ヲ腐ラセナイ爲ニ、非常輸送ト云フモノヲ御計畫ナサツテ戴キタイト思フノデアリマスガ、政府ハ之ニ對シマシテ、特ニ經濟安定本部ト致シマシテ——安定本部ダケニ御願ヒスルコトハドウカト思ヒマススケレドモ、之ヲ一ツ是非トモ計畫シテ戴

キタイト思フノデアリマス

○膳國務大臣 御同感デアリマス

○竹田委員長 加藤鐵造君

○加藤(鐵)委員 本委員會ヲ通ジテ產業ノ振興ノ基本的ナ方策ト云フモノヲ、私共ハ遂ニ聞クコトハ出來マセウデシタ、結局我々ハ白紙委任狀ニ判ラ捺スコトニナリマスガ、私ハ其ノ點ニ付テ甚ダ納得致シ難イ氣持ガアルノデアリマス、本日實ハ陸國務相ニ、モウ一度其ノ基本的ナ問題ニ付テ御伺ヒ致ス積リデ居リマシタガ、午前中ニ我ガ黨ノ加藤勘十君カラ詳細ナ質問ガアリマシタノデ、重複致シマスカラ其ノ點ニテ置キタイコトハ、先程川崎君カラ、所謂社會黨ハ社會主義公式論ヲ振廻ハスト云フ御意見ガゴザイマシタガ、私共ハ決シテサウシタ公式論ニ捉ハレテ主張シテ居ルノデハナイコトハ、我々ガ繰返シ質問シマシタ過程ニ於キマシテ、知ル人ハ知ツテ戴ケルト思フノデアリマス、即チ資本主義經濟ノ缺陷、資本主義經濟ノ行キ詰リト云フモノ、今日日本ノ再建ヲ致スニ付キマシテ、何故社會主義經濟デナケレバイケナイカト云フコトハ、既ニ十分申述ベタ通りデアリマス、先程膳國務相ハ出來ルダケ統制ノ枠外シタイト云フコトヲ仰シヤイマシタ、若シ政府ガ今日心カラサウ云フ氣持ヲ持ツテオイデニナルト致シマスルナラバ——單ニ自由黨、進歩黨ニ對スル「ゼスチュア」ニ過ギナイナラバ何ヲカ言ハンヤデアリマスガ、心カラサウ云フ氣持ヲ以テ、日本ノ産業ノ再建ヲ致サウトナサアルト云フコトヲ、一言此ノ際申上ガ

テ置キタイと思フノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ十分心シテ、日本ノ産業ノ再建ニ付テ計畫ヲ樹テ戴キタイト云フコトヲ、騰國務相ニ私ハ強ク要求致シテ置クノゾゴザイマス、質問ハ申上ゲマセヌガ其ノ點ハ強ク希望致シテ置キマス

ソレカラ商工大臣ニ對シマシテ時間ノ關係ガアリマス、極メテ簡單ニ重要ナ二三ノ點ヲ質問致シテ見タイと思ヒマスガ、第一ハ賠償物資ノ撤去ノ問題デアリマス、既ニ賠償物資ノ物件ノ内容モ發表サレマシタシ、政府モ既ニ其ノ豫算モ概算デアリマセウケレドモ發表ニナリマシタ、是ハ第一ニ賠償物資ノ撤去ト云フ問題ノ目的ガ、那邊ニアルカト云フコトヲハツキリシテ戴カナケレバナラナイと思フノデアリマス、聯合側ハ日本ノ平和經濟ヲ維持シテ行ク上ニ於テ必要ナ施設ヲ殘シテ、後ハ撤去スルト言ツテ居リマス、サウ致シマスルトハ、單ニ日本ノ戰力ヲ殺グト云フ目的ノミデアルカ、或ハ撤去シテソレヲ聯合側ニ持ツテ行ツテ活用スル目的デアルカ、此ノ點ヲハツキリシテ戴カナイト、此ノ賠償ノ問題ガ明瞭ニナリマセヌノデ、一應ソレヲ御伺ヒ致シマス

○星島國務大臣 賠償ノ問題ニ付キマシテハ、臺「ボレー」大使ガ日本ニ見エラレテ、其ノ當時ノ聲明モアリマス、又其ノ後諸種ノ情報ニ依ツテ察シマスルノニ、只今仰セノ如キ目的ヲ以テ、全ク日本ノ平和の民衆生活ニ必要ナ産業ニ關スルモノハ決シテ潰ス譯デハナイ、斯様ナコトヲ度々聲明サレテ居ル譯デアリマス、併シ一面撤去ノ精神カラ言ヒマスレバ、賠償ト云フコトハ、詰リ此ノ賠償ト云フ文字ヲ解

釋シマスレバ、ヤハリ只今仰セノ後者トモ考ヘラレマスガ、併シノ飛行機ノ製造工場、兵器工場全部ガ撤去サレル所ヲ見マスレバ、ソレ等ヲ以テ賠償ノ金ニ代ヘテ他ニ持ツテ行クト云フ目的デハナクシテ、一面兵器ノ製造等ノ處レガアル、或ハ將來戰爭ヲ誘致スルト云フヤウナ處レガアルモノハ、撤去ノ中ヘ加ヘラレル所ヲ見マスレバ、是ハ「ボレー」大使ガ言ハレタコトデハアリマセヌケレドモ、大體今私ハ全ク兩方ノ意味ガ加ハツテ居ルモノダト、斯ウ解釋シナガラ之ニ臨ンデ然ルベキデアルト思ヒマス、ソコデ本當ニ將來日本ノ平和産業ニ困ルモノガアル、一時計ノ工場ハ兵器ヲヤツテ居ツテ、是ガ兵器ヲヤツテ居ツタカラト言ツテ全部取外セト云フコトデアツテハ、洵ニ時計ノ如キハ平和産業デアリ殊ニ是ハ日本人ニハ向イタ工業デアルト思ヒマスガ、斯ウ云フモノハ是非殘シテ欲シト云フコトデ、正面カラ懇請ヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、大體ニ於キマシテノ線ハ、常識のニ考ヘマシテモ兩方ノ意味ガアルト考ヘテ居リマス、線ハ何處マデモ日本ノ産業ヲ潰ス意味デハナイト考ヘテ居リマス、濃硫酸製造ト普通ノ硫酸ノ製造ニ於テモ區別ガ設ケラレテアルノヲ見マス

ト、濃硫酸ハ薄メレバ直グ稀硫酸ニナル譯デアリマス、是ハ肥料ノ製造ニハ直グ要ルデアリマスガ、今回濃硫酸ノ方ハ全部撤去ヲ命ゼラレテ居リマス、是等ハ如何ニモ火藥等ノ製造ニ、餘リニモ近ク利用サレルト云フヤウナコトヲ以テ危惧シテ居ルノデハナイカ知ラント、斯ウ云フ風ニ自分ハ忖度シテ居ルノデアリマス、併シ是ハ餘リニモ嚴シ過ギ、肥料ノ生産ニ困リマスカラ、或ル部分ニ付テハ少シ寛大ニ願ヒタイト、斯様ニ懇請ヲ今致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、左様御諒承願ヒタイと思ヒマス

○加藤(鐵)委員 日本ノ經濟再建ニ必要ナモノハ懇請シテ出來ルダケ存置スルヤウニシタイ、其ノ努力ヲスルト云フ商工大臣ノ御言葉ハ非常ニ頼モシク感ズル譯デゴザイマス、是非ソレヲ一ツ政府當局ハ熱意ヲ持ツテヤツテ戴キタイと思ヒマス、例ヘバ日本ガ單ニ經濟力ノ回復ヲ圖ルノミデナクシテ、文化國家ヲ建設スル上カラ考ヘマシテモ、製鐵設備ヲ五割以上失フト云フノデアリマス、成程製鐵設備ハ軍需産業ト關係ノ深いモノデアリマスルケレドモ、併シナガラ今私ノ申シマシタヤウナ建前カラ日本ノ産業再建ノ上カラモ必要ナ計畫ヲ立テテ、出來ルダケ存置シ得ルヤウナ努力ヲシテ貰ヒタイ、其ノ理由ハ、先程ノ商工大臣ノ御答辭デ分リマシタガ、撤去物資ハ必ズシモ聯合側ヘ持ツテ行ツテ活用スル目的デアリト云フヤウナ御話デゴザイマシタ、サウ致シマスルト、結局製鐵ノ設備ハ消エテナクナツテシマフ、假ニ又活用スル目的デアルト致シマシテモ、恐ラク持ツテ行ク先ハ中華民國デアラウト思ヒマスルケレドモ、現在ノ日本ノ製鐵設備ハ中華民國ヘ持ツテ行キマシテモ、直チニソレガ向フデ活用サレルカドウカト云フコトハ甚ダ疑問デアリマス

〔竹田委員長退席、加藤(一)委員長代理著席〕

サウ云フ場合ニ此ノ設備ヲ存置シテ、製品ニシテ聯合側ヘ渡スト云フヤウナ契約モ、非常ニ困難デアリマセウガ、出來ナイコトモナイと思フノデアリマス、私ハサウ云フ點デ、必要ナ設備ハ指定サレタ中カラモ、出來ルダケ存置シ得ルヤウナ努力ヲ願ヒタイと思ヒマス

次ニ所謂賠償物資ノ撤去ト云フコトヘ、實ニ大キナ事業デアリマス、政府モ其ノ經費四百億ト既ニ發表サレテ居リマスルガ、其ノ撤去ノ仕方ニ依ツテハ、之ヲ單ニ叩キ毀スダケナラバソレ程費用ハ掛ラナイデアリマウケレドモ、之ヲ其ノ儘何處ニ持ツテ行ツテモ直チニ使用出來ルヤウニ撤去シヨウトスルナラバ、高度ナ技術ト非常ナル經費ガ要ルと思フノデアリマス、恐ラク政府ノ見積リノ四百億ヲ、今日ノ物價水準カラ行ケバ遙カニ突破スルト思フノデアリマス、サウスルト、是ガ一ツノ大キナ「インフレーション」助長ノ原因トナルコトハ申スマデモナイノデアリマス、ソコデ私ハ政府ニハツキリト御伺ヒ致シタイコトハ、此ノ撤去作業ヲ行フニ付テ或ハ是ハ先程議會ニ於テモ、豫算ニ於テ既ニ盛ラレマシタ所ノ、進駐軍ノ爲ノ土建事業ニ付テモ等シク云ハレルコトデアリマスガ、其ノ工事ノ請負ト云フコトヲ如何ナル形ニ於テヤルカト云フトデアリマス、之ヲ從來ノヤウナ放漫ナル請負制度ニ依ツテ行フノデアラツタナラバ、是ハ實ニ龐大ナル費用ガ要ルノデアラ、殊ニ事業ノ技術ノナイ者ガ、何等カノ政治的ノ工作ヲ以テ請負ノ權利ヲ取得スル、其ノ下ニ請負出來、又其ノ下ニ請負出來ルト云フコトニナリマスルト、實ニ龐大ナル經費ガ要ルト思フノデアリマス、政府當局ハ今日ノ請負業者ノ利得ト云フモノガ、ドノ程度ノモノデアルカト云フコトヲ御存ジデアルカドウカ、今日何レノ請負ニ致シマシテモ、請負業者ノ利

得ト云フモノハ、其ノ請負金額ノ過半數ヲ占メテ居ルノデアリマス、サウ云フ實情カラ見マスルト、從來ノヤウナ放漫ナ請負制度デヤツタナラバ、是ハ實ニ國家ノ一大損失トナルノデアリマスカラ、是ハ實際ニ技術能力ヲ持ツタ者ガ直接請負フ、斯ウ云フ行キ方デナケレバナラナイと思ヒマスガ、此ノ點政府ノ御方針ヲ御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○星島國務大臣 撤去ノ點ニ付キマシテハ、仰セノヤウニ大變ナ木材モ要ルシ、色々ナ梱包資材ニモ困リマス、或ハ若干ノ失業救済ニハナルカモ知レマセタガ、マダ最後ノ線ハ決マリマセヌケレドモ、一時九百萬ト云フヤウナコトモ推定セラレタノデアリマシテ、之ヲ懇請致シマシテ、多少少クナリマシテモ、是ガ迎ホ半分ニナルト云フヤウナコトハナイと思ヒマス、ソレニシテモ、「一トン」一萬圓モ掛ルカモ知レナイト云フヤウナ話モアル、或ハ今ノヤウナ物價水準デアルト、現在豫想シテ居ル以上ニナルノデハナイカト心配致シテ居ルノデアリマス、隨テ是ガ惡性「インフレーション」助長ニナルト云フヤウナコトモ考ヘラレマスノデ、努メテサウ云フ方面ノ方策ヲ講ジケレバナラス、厚生省ノ失業對策トシテ失業シテ國家ノ保護法デ以テ養フヤウナ人ガ果シテ働ケルカドウカ疑問デアリマスケレドモ、兎ニ角其ノ邊マデ考ヘテ之ニ善處シナケレバナリマセヌ、尙又G・H・Qノ方カラ日本ノ請負制度其ノ他ニ對シテ、改組スベキ色々ナ注文モ來テ居リマスノデ、ソレ等ニ對シテ善處シテ、從來ノ良サトソレカラ從來ノ弊害ト、兩方ヲ能ク考ヘテ將來ニ臨ミタイト考ヘテ居リマス

○加藤總務大臣 尙ホ産業ノ振興ニ付テ其體の特色ナリ而テ捉ヘテ質問致シタイト思ヒマスガ、ソレヲ一々申上ゲル時間ガアリマセヌカラ、唯一、二ダケ例ヲ擧ゲ、今日ノ統制經濟ト云フモノガ非常ニ弛緩シテ居ルト云フコトニ付テ御檢討ヲ願ヒタイト思ヒマス

一ツノ例ヲ申上ゲマス、石炭ガ足リナイ、其ノ爲ニ産業ノ振興ガ出來ナリト云フコトガ今議會ヲ通ジテノ問題デアリマス、所ガ石炭ガ無クニ使ハレテ居ル、或ハ是ガ重要デナイ部面ニ使ハレテ居ルト云フヤウナ幾多ノ例ガアルノデアリマス、一ツノ例ヲ取ツテ見ルト、今日硝子工業ト云フモノハ我々ノ豫想以上ニ相當回復シテ居ル、所ガ其ノ製品ヲ見ルニ食器類、化粧品ノ容器ト云フヤウナモノガ多イ、實際ニ今日困ツテ居ル板硝子、或ハ工業資材トシテノ硝子ノ生産ガ行ハレテ居ナイ、勿論食器類、化粧品ノ容器モ必要デアリマセウケレドモ、斯ウ云フモノハ戰時中ハ例ヘバ陶磁器其ノ他ノ代替品ノ生産ニ合ハセテ居タノデアリマスカラ、國內資源ノナイ時、硝子工業ノ如キハヤリ板硝子、或ハ工業資材方面ニ重點の生産ヲ行ハセナケレバナラスト考ヘマスガ、此ノ點ニ付テ政府ハドウ云フ御見解ヲ持ツテ居レマスカ、伺ヒマス

○星島國務大臣 仰セノ如ク諸物資ニ付テハ本法ヲ十分適用シテ重點のニ考ヘナケレバナリマセヌ、所ガソレガ行過ギルト又弊害モアリマス、ソコデ今丁度前ノ統制型ト新シイ自費シタル統制型ノ切替時デアリマスカラ、或ハ若干敏捷ヲ缺クヤウナコトモアラウト思ヒマス、是ハ或ル程度已ムヲ得マセヌガ、努メテ戰時型カラ脱却シテ、本當ニ民主

的ナ創意ニ依ル方法ニ依ツテ統制ヲスル、私ハ此ノ法律ノ名前ニシテモ統制ト云フコトヲ避ケテ調整ト云フ文字ヲ用ヒタ、是ハ英文ニ譯セバ何レニシテモ「コントロール」ニ相違ナイノデアリマスガ、是ハサウ云フ意味カラデアリマスカラ、一寸ソコニ間ヌルイ感ジガアラレルト思フノデアリマス、ケレドモ、今後オモヒガ眞ニ目覺メテ、例ヘバ石炭ニ致シマシテモ無暗ニ配炭ノ取合ヲヤツタリスルヨリモ、先ヅ「トレン」デモ、「スコープ」ノ燃シ方デモ注意シテ、其ノ能率ヲ出スト云ウヤウナ所マデ皆目覺メナケレバナラスノデスガ、今日ハ其ノ邊ガ非常ニ誤ツテ居ルヤウモ私ハ思ヒマス、是ハ國民全體ガ今日ノヤウナ場合——ニ勞働爭議「ゼネスト」ナドガナシニ濟ンデ洵ニ安心シマシタガ、全體ガ噓ヲ言ハヌト、ソレカラ本當ニ物ヲ節約シテヤルコトトカ、全部ガ奮ヒ起ツヤウナ氣持ニナルヤウニ精神ヲ與ハスルコトガ、私ハ政治ノ先決問題ダト思フノデアリマス、法律ナドハ其ノ末デアル、斯樣ニ考ヘテ居ルノデアリマス、只今申サレタヤウニ、日本ガ將來見返リ物資ト致シマシテモ「ガラス」ノ如キハ必要デアリ、目下ノ戰災復興ノ爲ニハ最も必要デアリマセヌカラ、是等ニ付キマシテモ極メデ重點のニ考ヘテ善處シタイト思ツテ居リマス

○加藤（一）委員長代理 加藤君ニ御相談致シマスガ、持時間モ經過致シマシタガ……

○加藤總務大臣 尙モ他ニ用事ガアリマスカラ、省略シテ最後ニ一ツダケ御伺ヒ致シマス、是ハ實ハ大藏大臣ニ御伺ヒシタイト思ツテ居リマシタガ御伺ヒデニナリマセヌデ、商工大臣ニ御伺

ビ致シマス、今日新圖ガ偏在シテ居リマシテ、非常ニ經濟ノ再建ヲ妨ゲテ居ルコトハ申スマデモナイノデアリマスガ、企業ヲ行フニ當リマシテ新圖ヲ通シテスルノト、借入ニ依ル正直ナ業者トノ間ニ、大キナ「ハンディ・キャップ」ガアルト思フノデアリマス、具體的ニ申シマス、今日封鎖小切手ノ百五十圓ガ現金百圓ニ換ヘラレルト云フヤウナ狀態デ、非常ニソコニ正直ナ企業家ヲ不當ニ壓迫スルヤウナコトニナツテ居ル、此ノ點ニ對シテ政府ハ——商工大臣ニ對シテ伺ヒタイコトハ、中小企業家ノ金融ニ對シテ何カ特別ナ考慮ヲ拂ハナイト、正直ナ企業家ト云フモノハ立ツテ行ケナイ、此ノ點ヲ御伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ是ト關聯シタ問題デアリマスガ、此ノ新圖ガ現在第三國人ノ手ニ相當多額ニ入ツテ居ルト云フコトハ想像シ得ルト思フノデアリマス、今日ハ是等ノ第三國人ハ、單ニ「ローカー」ヲヤツテ居ル程度デアラウト思ヒマセウケレドモ、是ガ一度日本ノ産業ノ面、企業ノ面ニ進出シテ參リマシタナラバ、非常ニ重大ナ問題デアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ政府ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルカ御伺ヒシタイ

○星島國務大臣 新圖デナクテハ中小企業ノ方ガ餘程仕事ガシニクイダラウト云フコトハ御察シノ通りデアリマスガ、一面カラ言ヘバヤリ新圖ノ信用ヲ繋イデ財界ノ整理ガ出來、ソレガ新圖主義ト云フコトニナツテ行ケバ、是ハ平價ノ切下論モ能クアリマスガ、大體三割乃至ソレ以上デ封鎖ト差ガ付ク云フコトガ事實上ニアラシイノデアリマス、是ハ困ツタヤウナモノノ、一面カラ見レバ、ソレモ新圖ノ信用ヲ保

持スル一ツノ行キ方ダラウト云フヤウニ考ヘマス、大藏大臣ガ新圖ハ何處マデモ再封鎖トカサウ云フコトヲシナイデ、新圖一本デ行クト、ソナコトヲ言ヘバ言フ程誤解ヲ招イテ、ヤハリ相當階級ノ人ニ傳ハツテ居ルコトハ甚ダ遺憾デアリマセウケレドモ、是ハ事實ヲ以テ見ナケレバ仕樣ガナイト思ヒマス、ソコデ中小工業方面ニ對シマシテハ此ノ新圖ガ相當流レテ行カナケレバ仕事ハ出來ヌダラウ、何ヲ一ツ買フノニモ皆新圖デアラレテ居リマスカラ、政府ニ於テモ大體小賣方面ニ流レテ來ル新圖ノ何「パーセント」カハ必ズ生産方面ニ廻ルヤウニ、ソレノ「處置」致シテ居ル譯デアリマス、基本産業ニシテモ、假ニ石炭ニシテモ、何「パーセント」カハ新圖デ拂ヘ、斯ウ云フヤウナ調子デヤツテ居リマス、殊ニ中小工業ニ對スル貸出、今度出來マス復興金融庫カラ色々末端ノ機關ヲ通シテ出シマスモノハ、皆自由財金デアリ、新圖デアル譯デアリマスカラ、斯ウ云フ方面ニハ十分氣ヲ配ツテヤル譯デアリマス

○加藤（一）委員長 新圖ヲ出來ルダケ直面目ナ事業家ニ廻ス方法ヲ講ジテ居ルト言ハレマスガ、今商工大臣ノ仰シヤツタ所謂或ル程度新圖デ拂アツト云フヤリ方ハ、結局新圖「ローカー」ト云フモノガ跋扈スル、所謂封鎖小切手ヲ新圖ニ換ヘル場合ニ、先程申シマシタヤウナ割合デ今日盛ニ換ヘラレテ居ルト云フモノガ跋扈スルコトニナリマシテ、決シテ業者ニ對シハ好イ影響ヲ致シテ居リマセヌ、サウ云フ點ハ如何ニ考ヘラレマスカ

○星島國務大臣 新圖ノ價值ヲ尊重スル所ニ一種ノ狙ヒガアルト申シマス、デアリマシテ、若干ソコニ「ローカー」モ出テ來マセウ、又非日本人ノ跋扈ハ夥シイト云フコトデアリマスガ、併シ是モ推定デアツテ、案外想像スル程多クナイノデハナイカトモ思ヒマス、勿論之ニ對シテハ十分ニ警戒ヲ加ヘテ行カナケレバナリマセヌ、ソコデ中小工業ニ對スル新圖ノ政策ハ、私ハ大藏大臣ノ方ニモ又閣議ニ於テモ要望シテ居リマス、早ク財產稅ヲ徵ル、ソレカラ早ク此ノ整理ヲ終ツテ、サウシテ新圖モ封鎖モナイ所ニ成ベク早ク持ツテ行ク、ソレマデハ當然私ハサウ云フコトハアルト思ヒマスガ、大キナ材料見マスレバ、之ヲ取急イデ年内位ニ整理ヲ終ツテ、ヤハリ來春アタリカラハ新圖、舊圖ノナイ所ニ持ツテ行クノガ本筋デアル、是ハ一ツ是非其ノ邊マデ早ク進行シテ參リタイ、斯樣ニ思ヒマス、ソレ以外ハ末梢ノ小サナ政策ニナツテ、大シタ問題デハナイト思ヒマス

○川崎委員 留保致シテ居リマシタ商工大臣ニ對スル質問ヲ私ハ四時マデニ幕ヲ下スコトニ致シマシテ、簡單ニ伺ヒマス、第一ニ伺ヒタ「ローカー」ハ石炭ノ價格差補給金打切りノ問題デアリマス、一昨日大藏大臣ハ記者團會見ニ於テ此ノコトヲ言明サレマシタシ、昨日前中ノ會議ニ於テ商工大臣ハ之ヲ裏付ケラレマシタ、然ラバ其ノ後ノ増産對策ハドウ云フ線デヤルノカ、商工大臣ハ屢々今同ノ石炭國營化ノ問題ガ非常ニ「センセーショナル」ニ取扱ハシテ、各方面ニ迷惑ヲ及ボシタト云フコトヲ言ツテ居ラレル、併シ此ノ問題ハハツキリシテ置カナケレバナラスノデアリマスガ、今後ノ増産對策ニ付テ別

途ノ方法ト云フノハ如何ナル方法デア  
ルカ、此ノ際言明ガ出来レバ御言明ヲ  
戴キタイ、又言明スルコトガ出来ナイ  
ト云フナラバ、考ヘラレル方途トシ  
テ、ドノヤウナ方途ヲ考ヘラレテ居  
カト云フコトダケデモ此ノ際御示願  
ヒタイ

○星島國務大臣 増産對策ト補助金ノ  
問題ハ、無論關聯致シマスケレドモ、  
必ズシモ増産對策ノ爲ニ補助金ノ制度  
ヲ考慮スルコト云フコト、ハ一寸運フ  
思ヒマス、補助金ノ制度ハ、物價ノ中  
デ石炭ナリ米ト云フモノハ餘リニモ色  
色ノ方面ニ影響ガアリマスノデ、消費  
者ノ爲ニト云ヒマスカ、消費價格ト云  
ヒマスカ、補助金制度デヤツテ居ル  
デ、山元ノ方ハ算盤ガ合ヘバ宜イ譯デ  
アリマスカラ、所謂石炭ノ買入價格ヲ  
若干上ゲルコトニ依ツテ、今ノ赤字ヲ  
補填セヨウト云フ程度ノ問題ガ今起  
ツテ居ルノデアリマシテ、補助金ハ米  
ト云ヒ石炭ト云ヒ、商工省ノ如キハ九  
十何「パーセント」ガ殆ド其ノ方ノ金  
デ、本省自ラノ經費ハ僅カナモノデア  
ルト云フコトニナツテ居ルノデゴザイ  
マスガ、餘リニモ不自然デアル、ソコ  
デ全體カラ言ヒマシテ、國家ノ補助  
金、助成金制度ト云フモノハ、必ズシ  
モ宜イ制度デアナイカラ、之ヲ再檢討  
シヨウ、然ラバドウスルカト云ヘバ、  
ソレハ率直ニ言ヘバマダ結論ガ付イテ  
居ナイノデアリマス、安定本部會議ニ  
附シマシテ、十分之ヲ一ツ檢討シテ結  
論ヲ見ナケレバナリマセヌガ、何レニ  
シテモ今算盤デハ合ハナイノデスカ  
ラ、補助金ヲ出サナカタナラバ、全  
部ノ消費費ノ負擔ニスルカト云フコ  
トニ付テハ非常ノ問題デアリマセウ、  
併シナガラ大口ノ消費費、即チ鐵道デ

アルトカ或ハ瓦斯會社トカ、斯ウ云フ  
モノニ一定ノ助成ヲシテ 鐵道省ハ  
國家ノモノデスカラ助成ヲスル必要ハ  
ナイト思ヒマスガ、赤字ノ補填ヲ認メ  
ルト云フコトニナレバソレデ宜イト思  
ヒマス

(加藤) (一)委員長代理退席、竹田  
委員長著席

ソレデ行クノガ宜イカ或ハソレトモ本  
當ニ石炭ヲ今少シク澤山出ルヤウニ致  
シテ、助成ノ仕方ヲ補助金デヤラナイ  
デ、或ハ坑木ヲ、或ハ運搬ノ爲ニ、或ハ  
切羽ヲ開ク爲ニ、其ノ他等々ノコトヲ  
助成シテ行クト云フヤウナ行キ方モド  
ウデアラウカ、色々ナコトガ考ヘラレ  
ルノデアリマスガ、新シイ山ヲ開ク場  
合ニハ是ダケノコトヲシテヤル、或ハ  
條件ノ惡イ山ニ對シテハ、斯ウシテヤ  
ルト云フヤウナコト、サウ云フ行キ方  
デ若干考ヘラレテ居リマスノデ、之ヲ  
專門ノ委員會ニ掛ケマシテ、最後ノ結  
論ヲ得テ、サウシテ兎ニ角十月終リマ  
デハ仕様ガアリマセヌカラ今ノ儘デヤ  
リマスガ、十一月カラハ其ノ新方式デ  
一ツヤツテ見タイト云フコトヲ今考ヘ  
テ居ル譯デアリマス、議會ガ忙シクテ  
結論ヲ得マセヌガ、議會ガ終リマシタ  
ラ早々結論ヲ得マシテ、皆樣ト御相談  
スルコトガ出来ルト考ヘテ居リマス  
○川崎委員 サウスルト經濟安定會議  
ニ掛ケテ、十月中ニハ次ノ増産對策ニ  
付テハ決定ヲスルト云フコトデゴザイ  
マス

案ハ又經濟安定會議ニ掛ケテ實施ニ移  
シタイト考ヘテ居ルノデアリマス  
○川崎委員 先頃來開カレマシタ對日  
理事會ニ、洵ニ突如トシテ石炭ノ國有  
化問題ト云フモノガ掛ケラレタ、併シ  
果シテ商工大臣ハ、石炭ノ國有化スベ  
キコトヲ本旨トシテ、司令部カラ對日  
理事會ニ提出サレタヤウニ思ハレテ居  
ルカ、或ハ現在ノ補助金制度ト云フモ  
ノガ實際、増産對策ニナツテ居ラナ  
イ、此ノ面ヲ改良スル爲ニ、一ツノ試  
案トシテ國有化ト云フ方向ニ進ンデ行  
クカ、或ハ此ノ際思切ツテ他ノ方策ヲ  
用ヒルト云フコトニ對スル一ツノ提議  
デアツタカ、ドチラノヤウニ御解釋ヲ  
ナサイマス

○星島國務大臣 當時新聞ニモ若干其  
ノ内容ガ洩レテ居リマスガ、國有ト云  
フヤウナコトハ、一ツノ考ヘ方トシテ、  
英國ノ國有モドノ程度ノ國有デア  
ルカドウカ、能ク分ラヌ點モアリマス  
ガ、兎モ角日本ノヤリ方ヲ見ルト、政  
府ノ補助金ト云フモノハ、非常ナ多額  
ヲ要シテ居ルノデ、是レ程助成スルニ  
ハモット考ヘ方ヲ變ヘテ行カナクチャ  
ナラヌノデヤナイカ、英國デハ國有ヲ  
ヤツタガ、日本ニハドウデアルカト云  
フヤウナ言葉ガ、議論ノ際ニ或ル委員  
ノ人カラ出サウデアリマスガ、決シ  
テ司令部自ラガ發案ヲシテ、國有ノ是  
非ヲ委員會ニ掛ケタト云フヤウナコト  
ハナイヤウデアリマス、ソレハ確カ  
筋カラ情報ヲ得テ居リマス、又我々モ  
二日ニ一遍位ハ石炭問題ニ付テ司令部  
ノ經濟科學部ノ方ト折衝ヲシテ居リマ  
スガ、補助金ハ不自然ダ、是ハ何トカ  
解決シヨウト云フコトガ議論ノ種ニナ  
シテ居リマスカラ、只今私ガザツト申

上ゲタヤウナコト餘リ——多分是ハ  
公開サレテ居ルト思ヒマスガ、詳シイ  
情報ハ當時何カ印刷物ニ依ツテ見タコ  
トガアルヤウニ思ヒマスノデ、此ノ際  
申上ゲタ次第デアリマス  
○川崎委員 私モ其ノ正式ナモノハ見  
タコトガナイノデ、新聞デ承知スル以  
外ニナイノデアリマスガ、席上「アメ  
リカ」ノ經濟科學局「リデ」ト云フ  
人ガ、非常ニ此ノ問題ニ付テ言ハレタ  
ヤウデアリマス、之ニ對シテ「イギリ  
ス」ノ「マクマホン・ボール」ト云フ代  
表カラ、モット資料ガ欲シイ、日本ノ  
石炭ノ増産ハマダ企業ノ範圍ヲ出テ居  
ナイト云フヤウナコトカラ、意外ニモ  
「イギリス」ノ代表カラ、自國ノ例カラ  
行ケバ直接國營ニ進ムベキ考ヘ方ヲ持  
ツテ居ラレルカノ如ク見ラレル人々  
ガ、逆ナ反問ヲサレテ居ルノデ、私ハ  
是ハ少シク「ジャーナリズム」ガ「セン  
セーショナル」ニ取扱ヒ過ギテ居ツタ  
ノデハナイカト考ヘテ居ツタ、所ガ本  
日商工大臣ノ御話デ、大體ツトスルコ  
トガ出来マシタ、ソコデ私ハ此ノ方面  
デハ素人デアリマスガ、「イギリス」ノ  
炭礦國有ト云フコト、日本ノ現在ニ  
於ケル石炭ノ國有問題トハ、可ナリ距  
離ガアリハシナイカト云フコトヲ考ヘ  
ルノデアリマス、私見ヲ申スナラバ、  
第一「イギリス」ノ炭礦ハ數十年ニ互  
ツテ炭礦ガ錯綜ヲシテ、又非常ニ炭礦  
ノ層モ厚ク、又今度ノ歐洲大戰後ニ於  
ケル石炭ノ輸出ガ必要デアルト云フ關  
係カラ、ドウシテモ國營ニ進マナケレ  
バナナイ必然ノ傾向ガアツタト私  
ハ思フノデアリマス、之ニ反シテ日本  
ノ石炭鑛業界ガ面シテ居ル一番大キナ  
問題ハ、何トシテモ増産ヲシナケレバ  
ナラヌト云フコトデアリマス、何トカ

シテ産業再建ノ爲ノ石炭ヲ出サナケレ  
バナラヌト云フコトガ問題デアツテ、  
其ノ爲ニ補助金ノ問題ガ一番焦點ニナ  
ツテ來タ譯デアリマス、日本ニ於テ若  
シ炭礦ヲ直ク國營ニ致シマシテモ、其  
ノ過程ニ起ツテ來ル色々ナ難關ハ、寧  
ロ今日之ヲ斷行スルコトニ依ツテ「プ  
ラス」スル面ヨリ、「マイナス」ニナル  
面ノ方ガ多イノデアリマシタト私ハ考ヘ  
ル、先頃來本委員會ニ於テ社會黨ノ諸  
君カラ、頻リニ石炭國營ノ問題ガ擧  
ラレタノデアリマスガ、私ハ是等ノ點  
カラ、今日日本ノ石炭問題ハ寧ろ強力  
ノ國家管理ヲ斷行シテ、其ノ下ニ於ケ  
ル所ノ民營ノ正シイ發展ヲ考フベキ段  
階ニアルト思フノデアリマス、國營必  
ズシモ増産ニナラズト云フ所信ヲ披瀝  
サレタ商工大臣ハ、此ノ點ニ關シテド  
ウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ラレル  
カ、御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○星島國務大臣 此ノ問題ニ付キマシ  
テハ、私ハ本會議ニ於キマシテモ水谷  
君ノ御質問ニ御答辯致シ、又當委員會  
ニ於キマシテモ度々申上ゲテ居リマス  
通り、政府ト致シマシテハ暫ク増産第  
一主義デ進ミタイ、併シナガラ今日  
ノ石炭ノ問題ハ、其ノ管理方式カラ言ヒ  
マシテモ、殆ド國有ニ近イヤウナ所ニ  
マデ參ツテ居リマス、西村君ヲ加藤君  
ノ御所論ヲ聽キマス、我々ガ理解シ  
テ居ツタ社會主義ト云フモノガ最近ニ  
於テハ餘程修正サレテ、資本主義修正  
ト云フヤウナ所ニ隨分接近シタヤウニ  
モ考ヘラレルノデアリマス、我々ハ所  
謂「イデオロギー」ニ囚ハレナイデ、或  
ル部面ニ於キマシテ礦業ノ調整等ヲ致  
シマスレバ、殆ド國有ノ方策ニ近イ所  
マデ持ツテ行クコトガ出来マセウシ、  
サウ云フ點カラ言ヘバ、大分政府モ國

有化シタト云フヤウナ批評モ受ケルカ  
モ知レマセヌ、ケレドモ今ハ増産本位  
デアリマシテ、今國有ニスレバ代償ヲ  
拂ハナケレバナラヌ、賠償トカ補償打  
切リトカ言ツテ居ル時ニ、石炭山ニソ  
レ等ノ色々ナコトヲヤリマシテ、ソレ  
自體カラ色々混亂致シマスヨリモ、暫  
ク三千萬「トン」以上モ平均ニ出ルヤウ  
ニナリマスマデ、國有ナンカ考ヘナイ  
デ、兎ニ角増産第一デ進ンデ行キタイ  
ト、斯様ニ言明致シテ居ル次第デアリ  
マス

○川崎委員 最後ニ希望ヲ述ベマシテ  
終リマス、「イギリス」ノ勞働黨ハ三十  
年來此ノ石炭國有ノ問題ニ付テ、野  
ニ在ツテモ、又朝ニ在ツテモ闘ツテ  
來テ居ル、小規模經營ノ改善ヲ實現  
スルコトガ勞働黨ノ大ギナ目標デア  
リマス、是等ノ機運モ熟サズ、今商工大臣ガ  
言ハレタヤウニ、何トシテモ今日ハ國  
家管理ヲ強力ニシテ行ク段階デアルト  
云フコトハ、私モ亦左様ニ思フノデア  
リマス、商工大臣ハ本會議、委員會ヲ  
通ジテ極メテ率直ニ、且ツ我々ノ意ノ  
アル所ト表裏一體ノ言明ヲナサレテ居  
ルコトハ感謝ニ堪ヘマセヌガ、實態ニ  
當リマシテハ、力強ク又具體的ニ實際  
ノ經濟ヲ把握シテ、此ノ段階ヲ眞ニ産  
業再建ノ曙光ヲシムルヤウニ御努力  
アラシコトヲ切望シテ私ノ質問ヲ終リ  
マス

○竹田委員長 稲田健治君

○稲田(健)委員 私モ時間ノ關係デ簡  
單ニ申上ゲマスガ、農務大臣ハ本日  
先程カラ、石炭ノ國營ニ關シマシテ、  
官吏ニ全部ヲ任スコトハ宜イコトデハ  
ナイト仰シヤツタノデアリマス、私モ  
同感デアリマス、併シナガラ過去ニ於

キマシテ總動員法ト云フ法律ガアリマ  
シテ、之ニ據ル官吏ノ獨善ノ結果、敗  
戰ニ導イタノデアリマス、今又ソレト  
同様ナ法律ガ出マシテ、此ノ法律ガナ  
クレバ政治ガ行ハレナイト云フガ如キ  
ハ、再び茲ニ官僚獨善ニ陥ルノデハナ  
イカト云フコトヲ憂フルモノデアリマ  
ス、此ノ點ニ付キマシテ御答辯ヲ願ヒ  
タイノデアリマス

更ニ本法案ガ食糧ノ増産ニ最も關係  
ノ多い肥料ノ増産ニ適用サレト云フ  
コトヲ聽イタノデアリマスガ、果シテ  
此ノ法案ニ依ツテドウ云フ方法デ肥料ノ  
増産ヲ期セラレレバ、斯ウ云フ點デア  
リマス、引續イテ其ノ増産ノ目標額ト  
云フモノハドレデカ、一年ニ幾ラ、  
又幾ラマデ増産スレバ廢メカ、ソレ  
ハ何年後ノコトデアルカ、ソレカラ其  
ノ増産サレマシタ肥料ノ次年度ノ配給  
時期、是モ一ツ伺ヒタイノデアリマス  
○勝國務大臣 一寸初メノ御質問ガ聽  
取レナカッタノデアリマスガ、一方ニ  
於テ私ガ官僚ニ依ル運營——國營ト云  
フ問題ニ非常ニ大キナ、何ト言ヒマス  
カ、缺點ガアルト云フテ居ルモノニ、本  
法ハ官僚獨善ノ風ヲ胎スヤウニ見エ  
ルガ、其ノ間ニ矛盾ハナイカト云フ意味  
ノ御尋ネダト思ヒマス、是モ屢々申上  
ゲマスヤウニ、本法ハ形ハ官ガ之ヲ  
實施スルヤウデアリマスケレドモ、  
其ノ官ト申シマスモノガ、從前ノ構  
想ニ依リマスル統制ノ場合ト全ク違  
ヒマシテ、何時モ説明ノ出マス安定  
本部ノ會議ニ於キマス決定ノ方法、  
又安定本部ノ色々ノ立案等ノ際ニ當  
リマス者ガ、純然タル官吏デアリマ  
スデ、官吏ト民間人ト學者ト云フ  
ヤウナ人達ノ、極ク民主的ナ研究ヲ本

ニシテノ運營デアルト云フコトモ申上  
ゲ、又實際ノ運營ガ從來ノ指導者原理  
ニ依ル組合ノヤウナモノデナクテ、本  
當ノ民主的ノ團體デアルト云フヤウナ  
意味合デ、形ハ官ノ統制ノヤウニ見エ  
マスケレドモ、内容ハ全ク違ツテ居  
モノダ、斯ウ何時モ申上ゲタノデアリ  
マスガ、詳細ニ申上ゲマセヌ、左様ナ  
意味ニ御諒察ガ願ヒタウゴザイマス  
又肥料ノ増産ガ本法ニ依ツテドウ云フ  
風ニ運營セラレレバト云フ問題デアリ  
マスガ、今政府ハ本法ヲ直ニ使用シマシ  
テ、生産命令ヲ出シテ生産ノ増加ヲ圖  
ト云フコトハ、策ノ得タモノトモ思ツテ  
居リマセヌ、要スルニ本法ノ精神ハ含  
ミマスケレドモ、増産ニ付テハ資材設  
備、資金等、各種ノ方面カラノ便宜ヲ與  
ヘマシテ、業者及ビ勞務者ノ生産意欲ノ  
増加——旺盛ナル生産意欲ト色々々々  
宜供與ニ依リマシテ生産ノ増加ヲ圖リ  
タイ、併シナガラ若シ其ノ點ニ付テ、  
或ハ今度ノ賠償等ニ依ツテ、設備ノ一  
部分ガ取除カレテ、設備ガ破ニナルヤ  
ウナ場合ニハ、本法第一條第一項第三  
號ノ命令ヲ適用シマシテ、設備ノ保護  
等ヲ命ズル場合モゴザイマセウシ、又  
生産命令ヲ出スノニ支障ノアリマス場  
合ニハ、本法第一條第一項第二號ノ生  
産命令ニ依ル場合モアリマセウガ、生  
産ノ方面ニハ強權發動デナク、成ベク今  
技術上ノ獎勵ニ依リマシテ行キタイ、  
出來マシタモノニ付テハ、第一號ニ基  
キマシテ適當ナル配給計畫ヲ立テタ  
イ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

尙ホドウ云フ工場デドウ云フ風ニ生  
産ノ増強ガ出來ルカ、其ノ數字等ノコ  
トニ付テハ、私其ノ一部門ノ細カイコ  
トハ承知致シテ居リマセヌ、又他日ノ

機會ニ專門ノ政府委員ニ、ソレハ説  
明シテ戴クヤウニ御願ヒシタイト存  
ジマス

○稲田(健)委員 日本ニ於キマシテハ  
窒素肥料ガ少クトモ二百萬「トン」位必  
要ナノデアリマス、今日日本デ製造シ  
テ居ルノハ僅カニ其ノ五分ノ一デアリ  
マス、更ニ又機敏肥料デアリマスガ、  
是ハ殆ド出來テ居ナイノデアリマス、  
外國カラ輸入スル見込モアルノカ、ナ  
イノカ、此ノ點モ一ツ承リタイノデア  
リマス、加里肥料ニ付キマシテハ二十  
五萬「トン」位必要ナ斯ニ持ツテ行ツ  
テ、僅カニ其ノ一割位シカ日本ニナ  
イノデアリマスガ、サウ云フ點ニ付キマ  
シテモ今後此ノ法令ニ基イテ——此ノ  
法令ガ外國ニマデ及ンデ外國カラ輸入  
出來ルカドウカ、若シ出來ルモノトス  
レバ、聯合國ニ要請シマスレバ、ドノ  
位ノ量ガ本年度ニ於テ外國カラ輸入サ  
レマスカ、是モ承リタイノデアリマス  
○勝國務大臣 今ノ肥料ノ輸出入等ノ  
數字ノ說明ハ、私材料ヲ持參シテ居  
リマセヌノデ説明ヲ申上ゲラレマセヌ  
ガ、他ノ機會ニ於キマシテ適當ナル政  
府委員カラ御答ヘ申上ゲルヤウニシ  
イト存ジマス

○稲田(健)委員 是ハ農林省ニ屬シテ

居ルコトカモ知レマセヌノデ、ソレデ  
ハ已ムヲ得マセヌガ、茲ニ一ツ——是  
モ大藏省ニ屬スルコトカモ知レマセヌ  
ガ、安定本部ト關聯シテ居リマス、  
デ、御伺ヒシテ置クノデアリマス、終  
戰後陸軍ガ非常ニ不足シマシタノデ、國  
民ガ憤シタノデアリマス、之ニ付キマ  
シテ政府ハ製鹽業者ニ對シマシテハ、  
其ノ設備費ノ金額ヲ補助シテヤラウト  
云フノデ獎勵サレタノデアリマス、國  
民ハソレヲ眞面目ニ受取リマシテ、海

岸ノ津々浦々ニ電氣製鹽ト、  
ノ方法ニ依リマシテ製鹽事業ガ始マツ  
タノデアリマス、之ニ依ツテ非常ニ多  
クノ國民ガ助カツテ居ルコトハ事實デ  
アリマス、最近ニ等ノ事業ニ對シマシ  
テ約束ニ近イ所ノ補助指令ガ行ツタノ  
デアリマス、ニモ拘ラズ、指令ガ來テ  
居ルケレドモ、言フ左右ニシテ現金ノ  
支拂ヲシナイト云フ反面ニ、何カ最近  
出來マシタ安定本部ガ之ヲ諒解ヲ與  
ヘスカラ支拂ガ出來ヌノデアルト云フコ  
トガアルノデアリマスガ、此ノ點モ一  
ツ當局カラ承リタイノデアリマス

○勝國務大臣 左様ナコトニ付テハ安  
定本部ガ關與シタコトモナク、又何モ  
問題ヲ聞イテモ居リマセヌ、何カト聞  
違ヒカモ知レマセヌ、尙ホ今ノ御問ヒ  
ノコトハ能ク大藏省ノ政府委員ニ尋ネ  
テ、適當ノ機會ニ御答ヘ申上ゲルヤウ  
ニシタイト思ヒマス

○稲田(健)委員 非常ニ私ノ聽キタイ  
所ガ點ケナイノデ残念デアリマス、四  
條カラ六條ノ罰則デアリマスガ、此ノ  
罰則ヲ舉ゲマスルト非常ニ官吏ガ國民  
ヲ信ジ切レナイノデアリマス、國民ニ  
信ヲ置カナイ政治デアルト云フコトハ  
非常ニ不可能デアリマスノデ……  
〔私語スル者アリ〕  
○竹田委員長 私語ヲ禁ジマス、稲田  
君續ケテ下サイ  
○稲田委員 官吏ガ國民ヲ信ジテ賈ヒ  
タイノデアリマス、サウシテ人ノ人格  
ヲ重シジナケレバナリマセヌ、例ヘテ  
申シマスト風呂屋ニ參リマシテアノ風  
呂屋ノ看板ヲ見マス時ニ、男女ノ區別  
ガ書イテアリマス、アノ場合合ト云フ  
ト誰デモ男ト云フ待遇デ、「ルンペン」  
ト同等ノ資格デ入ラナケレバナラナ  
イ、女ノ場合ハ大臣ノ奥様デモ、女ト

云フ待遇デ「ルンペン」ノ女ト共ニ入ラナケレバナラヌ、此ノ場合モウ少シ國民ノ人格ヲ尊重サレマシテ、男ト云フノ紳士ト云ヒ、女ト云フノ淑女ト云ヒ書イタラ、「ルンペン」デモ紳士トシテ待遇受ケテ其處ニ入ルノデ、自ラ態度モ慎ンデ紳士ノ態度ヲ執ラナケレバナラヌヤウニナル、又淑女ト書イタ風呂ニ於テハ「ルンペン」ノ女デモ淑女ト云フ待遇受ケルノデ、態度モ改メナケレバナラヌト云フコトニナル、政府ハ其ノ點ニ付テ官僚獨善ト言ハウカ、依然トシテ罰金トカ、十年以下ノ懲役トカ、十萬圓以下ノ罰金トカ云フコトデ、半惡喝のニ、サウシテ國民ヲ非常ニ疑フテ居ルコトハ洵ニ遺憾デアリマス、斯ウ云フコトヲモウ少シ御改メニナル御意思ガアルカドウカ承リタイノデアリマス

○星島國務大臣 御趣旨ハ私モ同感デアリマス、罰則デ以テ、刑罰主義デ以テ世ノ中ハ律シタケナイノデアリマス、其ノ代リ日本ノ刑法ノ良サハ、實際ニ執行猶豫ト云フコトモアリマスシ、減刑モアリマスシ、假出獄モアリマスシ、ソノナコトデ可成リ發達シテ居ル現在デアリマス、唯如何セシ日本ニハ、如何ニ罰金多イカ、如何ニ不正直ノ者ガ多イカ、是等ニ對シテハ一面斯ウ云フモノデ以テヤルト云フコトハ、或ハ一ツノ行キ方カモ知レマセヌ、併シハ從來ノ法律技術ト言ヒマスカ、他ノ法律デモ既ニ斯ウ云フヤウナ程度ニナツテ居ルトシマスレバ、ソレト均衡上、ヤハリ此ノ程度デ宜カラウト云フコトモアリマスノデ、單ニ此ノ法律デカカラ考ヘマスト如何ニモ是ハ重サウニ見エラレデアリマスガ、ソレデモ恐レズヤル奴ガアルノデアリ

マス、併シナガラ御趣旨ニ於キマシテハ、所謂刑罰主義デ以テ斯ウ云フモノニ臨ムト云フコトハイカニコトデアリマス、何處マデモ國民ハ紳士デアリ淑女デアルト云フ考ヘデ行クベキデアルト考ヘデ居リマス

○稻田(健)委員 能ク分リマシタ、今日ハ官僚獨善政治ノ時代ト變リマシテ、民主主義ノ政治ニ移ツタノデアリマス、然ラバ官僚ガ此ノ臨時物資需給調整法ヲ運用スルニ當リマシテ誤マツタ場合、官吏ニ何カ之ニ對スル處罰ヲスル法ガアルノデアリマス

○星島國務大臣 此ノ法律ノ實施ハ全部官僚デアル譯デアリマス、セヌシ、一部官僚デアル譯デアリマス、セヌシ、一面色々ナ委員會ガ上下ニアル譯デアリマス、又民主主義ノ團體ト云フモノハ、全部民間ノ人ニナツタ譯デアリマス、唯基本ノ行キ方ヲ此ノ法律デ施行スルト云フ譯デアリマス、而モ尙ホ誤ガアレバ、是ハ斷乎トシテ或ハ官吏服務紀律ガアリマスシ、或ハ憲法ニ依ツテ行ク法律モアリマスシ、或ハ刑法ニ依ツテ行ク法律モアリマスシ、ソレ等デ以テドシ、處罰シテ行クヤウニシナケレバナラヌト思ヒマス

○稻田(健)委員 此ノ臨時物資需給調整法ト云フモノハ、今度日本デ初メテ行ハレタノデアリマスガ、先ニ聯合國ノ側ニモ之ニ似タ所ノ法令ガアルト云フコトデアリマシタガ、其ノ點如何デアリマス

○星島國務大臣 此ノ法律ハ言葉カラ言ヘバ初メテデアリマスガ、必ズシモサウデハアリマセヌ、之ニ似タヤウナモノハ從來輸入臨時措置法等澤山ナモノガアリマス、其ノ中最モ似テ多少非デアリマスケレドモ、稍、體裁ヲ同ジウスルモノガ所謂動員法デアリマ

ス、今同平和時ニナツテ初メテ出マスル所謂白紙委任狀式ナモノト云フ御説ガアリマシタガ、是ハ今同初メテデアリマス、或ハ聯合國ノ方ヲ調ベマセヌノデハツキリハ分リマセヌガ、併シ相當之ニ似タヤウナモノハ、何處ノ國ニモ非常ニ需給ノ不均衡ガアリマスシ、不均衡ハ如何ニ物資豐富ナ「アメリカ」ト雖モ、是ハ調ベタコトデアリマセヌガ、アルコトダト思ヒマス、是ハ大體相談ヲテ來テ居ルモノデアリマスカラ、多分アルコトダラウト思ヒマス

○稻田(健)委員 我ハ過去ニ於キマシテ統制經濟ガ「ドイツ」ノモノヲ其ノ儘日本ガ丸吞ミシタ、其ノ結果敗戦ニ導キ、國民ガ餓死線上ヲ彷徨ヒ、今日又「インフレ」ニ繼ンデ居ルノデアリマスガ、此ノ臨時物資調整法ニ於キマシテモ、外部ノモノヲ若シ眞似ラレル場合ニ於キマシテモ、丸吞ミヲシナイヤウニシテ戴キタイ、私等ノオ爺サンノ頃ニ初メテ「バナナ」ト云フモノガ輸入サレタサウデアリマス、アレハ「チョコ」ノオ爺サンガ、チョコ「醬」ニ對付ケテヤツテ居タ人ニ、「バナナ」ハ榮養價值ノアルモノデゴザルト云フテ「丸吞ミ」シタ、ソレデソツト嚙ンデ吞ンダ、所ガ筋ガ残ツタ、是ハ筋ノ多イモノデゴザル、又澤山食ツテ下痢ヲシタ、「バナナ」ト云フモノハ通ジ藥デゴザルト云ツテ感心シタト云フ話ガアル、若シ之ヲ西洋ノモノダ、舶來品ダト云ツテ丸吞ミニシテ、國民全體ガ下痢ヲシナイヤウニ、皮ヲ剝イテ要ラヌ所ハ拾テテ、適當ノ所デ食ハセルヤウニ御願ヒシタイ、更ニ序デアリマスガ、此ノ法令デモ、又其ノ他ノ民間ニ對スル福利ノ法令ハ十分注意シテ貰ヒタイ、官吏ハ、例ヘバ沙漠ノ河ノヤウ

ニ、上流ノ方ハ非常ニ廣イケレドモ、下流ニ行ツテ其ノ河ハナクナツテシマフ、末端ノ官吏ノ所ニ行クト、チツトモ法ノ恩惠ニ浴セナイ關係ニナツテ居ル、所ガ過去ニ於ケル官僚ノ時代今日又或ル種ノ命令ニナリマス、上流ハ非常ニ狹イ、水ハ非常ニ少イノデアリマス、斯ウ云フコトハ大イニ慎ンデ貰ヒタイ、斯ウ云フコトヲ御願スルデアリマス

更ニ又今日日本ハ非常ニ「インフレ」ニ繼ンデ居ル、ドウカシテ元ノ日本ニシタイト云フ、國民舉ゲテ努力シテ居リマスガ、之ニ似寄ツタ問題デ、昭和ノ五、六年ニ非常ニ米價ガ下落シテ、其ノ當時ノ政府ハ元ノ價格ヲ維持シタイ、今度ノハ下ゲナケレバナラナイノダガ、此ノ時ハ上ゲタイト云ツタノデアリマス、今ト逆デアリマスガ、其ノ時ニ何ガ斯クセシメタカ、ソレハ餘リニモ食糧品ヲ増産シタカラデアル、其ノ多イ部分デケラ太平洋ニ持ッテ行ツテ捨テタナラバ、元ノ價格ガ維持出來ルト云フ結論ニナリマスシテ、ソレハ實際捨テタカ捨テタカ知リマセヌガ、東京灣口マデ持ッテ行ツタト云フ話ヲ聞イテ居リマス、私ハ之ト思ヒ合ハセマシテ今日尙ホ日本ガ元ノ價格ヲ望ンデ居ルガ、ドウシテ斯ウナツタカト云フ時ニ、私ハ最モ餘ルモノハ役人デアルト思フノデアリマス、官吏ガ最モ餘ル、事變前ノ役人ノ數ト今日ノ數トヲ御調ベニナツタ時ニ、二倍或ハ三倍ニナツテ居ル、サウイレバ餘ル役人ヲ太平洋ノ真中ニ、米ト一緒ニ捨テルト云フコトハ穩ヤカデアリマセヌシ、捨テル譯ニモ行キマセヌガ、何トカ之ヲ處分セラレテ戰前ノ數ニセラレタナ

ラバ日本ノ「インフレ」ト云フモノハ防止セラレルト思フ、本當ニソレコソ安定ノアル所ノ生活ガ出來ルノデアリマス、今此ノ儘デ如何ニサレマシテモ、安定法デヤナク不安定法デヤナイカ、斯樣ニ考ヘルノデゴザイマスガ、此ノ點ニ付キマシテ大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○星島國務大臣 色々御説ヲ面白ク拜聽シマシタ

○竹田委員長 質疑ハ全部終了致シマシタ

○西村(榮)委員 質疑ガ終了シタヲ討論ニ入ルコトヲ動議トシテ提出致シマス、理由ハ本朝カラ質問ノ形ニ於テ川崎君ガ既ニ討論ニ入ツテ居ル、私ハ自由、進歩黨ノ立場トシテノ御説ヲ能ク拜聽致シマシタ、社會黨ハ引續キ議事進行ニ名ヲ藉リテ申上ゲヨウト思ツタケレドモ、是ハ當然討論ニ入ツタモノダト思ツテ、私ハ討論ノ機會ヲ待ツテ居ツタ、私ノ方ノ意見ハ全員其ノ方針デ居リマス、既ニソレデ討論ニ御入りニナツタカドウカ……

○竹田委員長 御諮リスル前ニ川崎君ノ御質疑中ニ不當ノコトガアレバ委員長ニ於テ適當ニ處理致シタイト思ヒマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス、只今ノ御動議ハドウカ本委員會ヲ圓滿ニ運営致シマス爲メ御撤回セラレンコトヲ切ニ御願ヒ致シマス、若シ不當ナ點ガアレバ、私ニ於テ適當ニ處置致シマスカラ、是非御願ヒ致シマス(拍手)

○西村(榮)委員 委員長ノ苦衷ヲ諒察致シマシテ、互諒 精神ヲ以テ撤回致シマス

○竹田委員長 有難ウゴザイマス、就キマシテハ次回ノ委員會ハ公報ヲ以テ御通知致スコトニ致シマス、是ニテ散會致シマス

午後四時十一分散會